

令和7年

決算特別委員会

9月9日

豊明市議会

決 算 特 別 委 員 会 会 議 録

令和7年9月9日

午前10時00分 開議

午後7時00分 閉会

1. 出席委員

委員長	中 堀 りゅういち	副委員長	郷右近 修
委員	岡 島 ゆみこ	委員	青 木 けんじ
委員	鈴 木 智 和	委員	浅 井 たかお
委員	こんどう のぶお	委員	鶉 飼 貞 雄
委員	いとう ひろし	委員	武 谷 としお
委員	林 ゆきひろ	委員	毛 受 明 宏
委員	月 岡 修 一	委員	一 色 美智子
委員	堀 内 ち ほ	委員	清 水 義 昭
委員	ふじえ 真理子		
議長	近 藤 ひろひで		

2. 欠席委員

なし

3. 職務のため出席した議会事務局職員の職、氏名

議会事務局長	加 藤 健 治	議事課長	深 草 広 治
庶務担当係長	福 田 悦 子	議事担当係長	矢 野 佑 輔

4. 説明のため出席した者の職、氏名

市長	小 浮 正 典	副市長	小 串 真 美
教育長	藤 井 和 久	行政経営部長	伊 藤 正 弘
市民生活部長	川 島 康 孝	健康福祉部長	塚 本 由 佳
経済建設部長	星 子 恭 士	教育部長	浅 井 俊 一
秘書広報課長	伊 藤 克 代	企画政策課長	萩 野 昭 久
公共施設管理課長	北 川 宜 志	情報システム課長	長 野 直 之
財政課長	浦 倫 彰	総務課長	田 木 勇
防災防犯対策課長	中 野 忠 之	税務課長	堅 田 直 寛
債権管理課長	高 垣 茂 晴	共生社会課長	松 本 小 牧

市民課長	杉浦由季	地域福祉課長	小野寺良夫
長寿課長	今枝翼	健康推進課長	川原静恵
こども保育課長	小川正寿	指導保育士	柴田美由紀
保険医療課長	近藤有紀子	子育て支援課長	松村清子
産業支援課長	塚谷友昭	農業政策課長	加藤直美
土木課長	外山紀元	都市計画課長	中田勝次
下水道課長	青山康德	環境課長	松本裕介
会計管理者 兼出納室長	相羽敏明	学校教育課長	秋永亘正
学校給食センター所長	矢野優	学校支援室長	奥平剛
生涯学習課長	山田隆貴	図書館長	水野美樹
監査委員事務局長	平下義之	重層支援センター主幹	岩佐智幸
指導保育士	鈴木祐見	秘書広報課長補佐	西森裕記
財政担当課長補佐	後藤明紀	監査委員	井上新
監査委員	服部龍一		

5. 傍聴議員

三浦桂司

6. 傍聴者

一般傍聴者 1名

午前10時開議

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） おはようございます。ただいまから本日の決算特別委員会を開会いたします。

本日の傍聴については、申合せに従い15名以内とし、委員長において一般傍聴者の入室を許可いたします。

それでは、会議に入ります。

認定議案第1号から認定議案第8号までを一括議題といたします。

会議の進め方については、昨日と同様に、一般会計は款別に所管の部長等により説明を受けた後に質疑を行い、特別会計、企業会計については各会計別に進めます。

なお、一般会計の各款別の質疑終了後に総括質疑を行います。

討論については、特別会計、企業会計の質疑終了後に一括して、採決は認定議案番号順に行いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、昨日に引き続き、8款 土木費について説明をお願いいたします。

星子部長。

○経済建設部長（星子恭士君） それでは、8款 土木費の決算概要を実績報告書に基づき説明いたします。

実績報告書の65ページをお願いいたします。

1項2目 維持管理総務費は、前年比はほぼ同額でございます。道路台帳補正業務を行っております。

2項1目 道路維持費は、前年度比約6,817万円の増額です。主な事業といたしまして、橋梁定期点検業務委託を実施しております。なお、道路等維持修繕工事費には、令和5年度繰越明許分として、国庫補助事業、前後駅前広場デッキ整備工事費を含んでおります。

次に、66ページをお願いします。

2項2目 道路新設改良費は、前年度ほぼ同額です。区長要望工事を中心に約計15件の道路側溝改良工事などを実施しております。

3目 交通安全施設費は、前年度比約72万円の減額です。通学路交通安全プログラムに基づく安全施設整備の工事などを実施し、交通安全施設整備事業全体で計44件の整備工事を実施しております。

3項1目 河川新設改良費は、前年度比約2,058万円の増額でございます。河川改修事業では、防災調整池詳細設計業務及び排水路基本・詳細設計業務を実施しております。

また、田んぼダム治水対策事業といたしまして、約計8件の申請者に補助を行っております。

次に、67ページをお願いします。

3項2目 河川維持費は、前年度比約3,133万円の増額です。令和6年度は、前年度に引き続き、普通河川若王子川において、河川浚渫工事を実施しております。

なお、河川維持修繕工事費には、令和5年度繰越明許分としまして、河川敷広場整備工事費を含んでおります。

4項1目 都市計画総務費は、前年度比約3,491万円の減額です。減額の主な理由は、5年に1回実施しております都市計画基本図修正作業業務の委託が完了したことによるものです。

なお、工事請負費には、令和5年度繰越明許分としまして、特定空家解体工事費を含んでおります。

次に、68ページをお願いします。

4項2目 市街地開発費は、前年度比約1億9,350万円の増額です。増額の理由は、間米南部土地区画整理に対する補助額で、主に公共施設工事や移転補償に伴うものでございます。

次に、69ページをお願いします。

3目 街路事業費は、前年度比約2,442万円の増額です。増額の理由は、都市計画道路桜ヶ丘沓掛線の用地取得に係る用地調査業務委託を行ったためでございます。

なお、調査測量設計委託料には、令和5年度繰越明許分として、道路予備修正設計業務委託を含んでおります。

4項4目 公園事業費は、前年度比約3,495万円の増額です。増額の理由は、三崎水辺公園の施設改修工事によるものです。

次に、70ページをお願いします。

5目 都市下水路費は、前年度比約4,654万円の増額です。これは、下水道事業会計の繰出事業で、詳細につきましては、下水道事業会計で御説明いたします。

6目 緑化事業費は、前年度比約203万円の増額です。増額の主な理由は、グリーンフェスタ開催に係る委託料が増加したためでございます。

7目 有料駐車場事業費は、前年度比約28万円の減額です。減額の理由は、特別会計からの移行に伴い公課費が、昨年度限りの計上であったためでございます。

以上で8款の土木費、説明を終わります。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） よろしいですね。

説明は終わりました。

8款 土木費の質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告書の65ページ、8款 維持管理総務費ですね。道路台帳管理事業、これの中の道路台帳補正業務委託料ですか、これは、何路線で何キロになるのでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 令和6年度におきましては、99路線、7,500メートル、7.5キロの修正を行っております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 道路台帳補正業務がありますけど、これ、7.5キロ、これに伴っての交付税の影響額は、どのくらいでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） これには、台帳の修正につきましては、基本的には影響はございません。交付税の額は、把握はしておりませんが、他の議案等で認定廃止とかすると交付税に影響あると思いますが、今回は台帳の修正でございますので、交付税の影響にはないと考えております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 影響ないっていうのは入っていないってことでいいんですよね。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） こちらは、台帳を修正する委託でございますので、影響はございません。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 清水委員。

○清水義昭委員 同じところなんですけれども、この道路台帳が、たしかシステム化されてコンピューター上でできるようになったっていうようなことでしばらくたちますけども、今回のその修正業務ですね、どんなような修正業務が……。最も頻度の高かったもの、お願いします。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） こちらは、道路側溝改良等を行うと道路の形態、側溝の形態等が変わりまして、そういったものを直すものが主なんでございますが、6年度につきましては、間米地区につきましても19路線修正しておりますので、そちらが3,300メートルほどありますので、そちらの修正が大きいところでございます。

あと、パソコンですとかスマホで見える図面データですけども、そちらの修正も含んでおります。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 その下の道路維持費の調査測量設計等委託料です。これの中の横断歩道橋の定期点検って言うの、これは、何年に1回するんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 他の橋梁と同じく、5年に1回でございます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 その中で危険な歩道橋とかはあったんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） すぐに緊急で直さなければいけないという段階ではございませんでした。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書の69ページの街路事業費の桜ヶ丘沓掛線の延伸についてですけども、資料ナンバー4の9、今回、これの用地の調査測量ということなんですけども、今回のこの委託で、工事のスケジュールであったりとか、あと、用地買収は、何か進んだところはあるんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 中田都市計画課長。

○都市計画課長（中田勝次君） スケジュールは、以前の一般質問を含めて、一般質問のときも御答弁させていただきましたが、この後はまだ未定で、名岡線の関係もありますので、未定でございます。

用地買収につきましても、まだ1件もまだ終了はしておりません。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告書の65ページの一番下のとこの道路管理事業ですか、ここでの調査測量設計委託料ですね、その中の用地寄付っていうのがあるんですけど、これは何件あったんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） すみません、把握しておりません。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 実績報告書の66ページの田んぼダムのところ、一番下のところ、補助件数が8件ってということで、今年の3月の本会議場でのやり取りで25件とかってあったんですが、何か累計では、何件になるんですか。8件ですかね。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 田んぼダムの申請者は、8名、8件の申請がございました。1件の申請で、3つ、ますをつけたり、4つ、ますをつけたりというのがございまして、排水ますの数としては25件ございます。ということで、8件の申請ですが、箇所としては25か所の設置という形になります。

以上です。

（関連での声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 面積的には、どんな感じになるんですか。

それと、全体の面積のうち、どのぐらいを占めてますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 全体、面積的には、田んぼの面積を拾うと約3ヘクタール、そうですね、3ヘクタール、3.1ヘクタールほどでございます。

全体、すみません。

（後で教えての声あり）

○土木課長（外山紀元君） はい、後ほど、じゃ、お答えします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

（関連の声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 すみません、ちょっと関連で。田んぼダムですけども、もともと目標の件数があったと思うんですけども、これ、50件ぐらいでしたっけね。そのうち、この8件なのか、それとも、前年度もやってて、累積で、今、どうなってるかっていうことを確認したいです。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） ちょっと整理した後ほどお答えいたします。すみません。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 すみません、先ほどの65ページの一番下の官民境界確定測量等37件ってあるんですけど、これは、市がやるものなんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 私どもの道路改良等で事前に境界確定、境界確認、それから、復元測量というのがございますが、そうですね、こちらに金額が上がっているものは市のほうで払っている委託の業務でございます。

以上、測量等の業務でございます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 ここに官民境界と書いてあるんですけども、全額、これ、全件、市が負担してるんですかね。それとも、折半とかそういうものもあるんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 民間からの申出によりますと、市の持ち出しがないものもございます。私どもの工事によって境界確認が必要なものについては、私どもの委託で支払いをしております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 この確定測量の委託ですけども、これ、契約は、随意契約ですかね。

あと、単価ってというのは、どういうふうに決めていますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 単価契約をしております、随契、公嘱協会と随契をしております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 多分、その鑑定というか調査の協会があるかなと思うんですけども、そこに入ってない設計事務所等もあると思うんですけども、これ、なぜ、入札してないのか、どうなんですかね。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁できますかね。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 私どもと契約してるのは、愛知県の公嘱協会、土地家屋調査士協会でございます、豊明市で決められた資格を持った者と契約をしている形になります。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 協会へ入ってない設計事務所もある、ありますよねっていう、まず確認と、それなのに、なぜそこだけ単独で随意契約になってるのかっていうことを説明していただきたいです。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） ちょっと後ほどお答えいたします。すみません。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） これは、持ち越しじゃなくして、お答えがもうできないで終わりですよろしかったですかね。

（いやいや、後ほどの声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 後ほどって聞いた。分かりました。

ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 66ページになります、道路新設改良費の道路新設改良事業の区長要望等が15件という実績で、残りの要望は、何件ぐらいあるんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 毎年、区長要望、出てきまして、年次計画に組み入れるものもございしますが、何件と……。

ちょっとお待ちください。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） けど、これ、一応6年度だから、6年度だけの件数で。

○土木課長（外山紀元君） 6年度に予定してた15件は、全て発注いたしました。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 清水委員。

○清水義昭委員 消えちゃった、ごめんなさい。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） いいですか。

○清水義昭委員 同じとこですね、区長要望の工事ですけども、これ、令和6年度は、要望がどれぐらいあって、採択したのがどれぐらいありますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） ちょっとお待ちください。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） もしかしたら中間ぐらいにあるかもしれないよ、中間ぐらいに。

（発言する者あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 後ほどにしますか。

○土木課長（外山紀元君） はい、じゃ、後ほど、お願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 後ほどで。

ほかにございませんか。

鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 じゃ、ちょっと空気を変えまして、実績報告書68ページですね、木造住宅の耐震のほうですけども、8戸800万円の実績です。内訳としては、どうでしょう、耐震シェルターとかの割合の多いんでしょうか、そのあたり、つかんでますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） この8戸に関しましては、耐震改修ですので、シェルターは含まれておりません。

終わります。

（え、本当。シェルターもあるんじゃないのの声あり）

（それ、別予算の声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ちょっと待ってください。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） シェルターは、申請がございませんでした。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） じゃ、あれ、入ってはいるんですよね、改修に。

鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 耐震改修補助事業は、シェルターも当然対象になってたと思うので、そのあたり、どうなんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 失礼いたしました。補助要綱の中にはシェルターも入っておりますが、この件数につきましては、耐震改修のみでございます。失礼しました。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 岡島委員。

○岡島ゆみこ委員 実績の68ページなんですけれども、木造住宅耐震診断委託料、昨年、令和5年度は19件で、今年、6年度は44件で、倍以上伸びてるんですけれども、これは要因が分かりますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） これは、推測なんですけど、令和6年1月1日に発生しました能登半島地震の影響と思われます。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 今の木造住宅の耐震のところですけども、この昭和60年以前の旧工法で造られた住宅が、これ、市内にどれだけあって、どれぐらい診断が済んだんでしょうか。

（昭和56年の声あり）

○林 ゆきひろ委員 昭和56年、はい、すみません。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁できますか。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） まず、昭和56年5月31日以前が、まず旧耐震であるということと、現在、令和6年度の推測なんですけど、これは、あくまで共同住宅等を棟数というカウントをしますと、まだ……。

戸数ですね、ごめんなさい。

共同住宅の戸も全部戸数というカウントをしますと、現在、残りは3,000棟、3,000戸前後と思われま。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 およそでいいんですけど、市内にどれぐらいあって、どれぐらい診断が済んでるかっていうのは分かりますか。

（発言する者あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 前回の一般質問のときの回答させていただきましたが、推測、推計ですが、89.9%が耐震化率と、住宅の耐震化率と我々は推察しております。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 よろしいです。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 大丈夫ですか。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） すみません、先ほど答えられなかった件ですが、まず、田んぼダムの対象としている面積ですが、全体で計画上では220ヘクタールございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） だって。そのうち、何ヘクタールですか、2ヘクタールぐらいでしたか。

あとはよろしかったですか。

（続きまして、いいですかねの声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 区長要望工事の要望件数、採択件数ですが、6年度につきましては73件の要望がございまして、34件採用しております。維持で直した分も含めての34件という採択になっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） あと、協会か何かに入ってる土地……。

まだですね。いいです、分かり次第で大丈夫です。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今のちょっと田んぼダムのことでちょっと確認で、目標値が220ヘクタールで、今まで補助出してできたのが3ヘクタールっていうことでしたっけ。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） いや、これ、6年の分だけで結構です。答え

てください。

○林 ゆきひろ委員 累積でお願いします。6年度の決算の終わった時点で。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 6年度、試しにつけたところありますけれども、本格的につけたのは6年度から始まりまして、3ヘクタールぐらい済んだということでございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 1.5パーセント。

清水委員。

○清水義昭委員 同じ田んぼダムなんですけども、これ、予算のときに年間100筆を目指すというようなことでお話がありましたけども、この8件というのは、何筆ぐらいになるんでしょうかね。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 大丈夫でしょうかね。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） ますの数が1筆と考えるので、25筆という考えでございませう。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 毛受委員。

○毛受明宏委員 実績報告書の66ページの下の土木費の河川新設改良工事というところで、防災調整池の詳細設計の業務委託ということで、今回は、これ、井堰川排水区におけるということなので、井堰川排水区っていうのは、たしか、調整池プラス、ため池も入ってたような気がするんですけど、ため池は入ってなかったですかね。調整池だけの話ですか、これ。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 私どもの総合治水の計画で行きますと、井堰川排水区、そうですね、道池の改修ですとか金山池の改修、それから、今回、造る勅使グラウンドの調整池、こういったものを含めて流出抑制対策を実施しております。

以上です。

（答えになってないよの声あり）

（入ってるの声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 入ってるか入ってないか。

毛受委員、もう一度お願いします。

（もう一度最後のほう、ちょっとの声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） ため池も治水対策に含まれております。

以上です。

（入ってるねの声あり）

（よかった、よかったの声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 また、田んぼダムに戻ってすみません。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 何ページでしたっけ。

○ふじえ真理子委員 実績の66ページの下、一番下のところです。先ほど、目標を2年間で100筆っていうのを当初言われてて、今回、6年度から本格的に始まって25筆ということで、2年で100筆だから、まだもう一年あると思うんですが、6年度、このペースで、どういうふうに振り返ってますか。また来年度に向けての何か検討、よりお願いしてく何か方策とか検討されましたか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 目標としまして、100筆という、挙げたのもあります。青地、白地ございまして、50筆ずつぐらいを考えておったんですけども、なかなか、現状、お願いに上がっても難しい、耕作の仕方とか田んぼの形態等で難しい点がございまして、若干、計画、ゆっくりなペースになるというように考えております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 66ページの真ん中のところなんですけど、交通安全施設整備の3番目の道路照明更新等工事2件なんですけど、これ、場所的にはどこになるんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） こちらは、支柱の更新が必要な箇所、1件は、新田町の森西地内、あと一路線ありますが、すみません、そこまで把握しておりません。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書66ページの下から2段目の排水路基本・詳細設計業務委託で、資料ナンバー4の⑦です。これ、名古屋岡崎線の関係で境川のところの排水の排水路の設計ということなんですけども、まず、この負担金……。負担金じゃない、これ、業務委託のこの金額というのは、県道の影響ですので県からその補助が出てくるのか、それと

も、市の単独でやるのかということと、あと、この排水路の能力、排水能力として、あそこ、柿ノ木地区も開発してますので、そういった影響も考えて設計されているのか、その辺りはどうですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） すみません、ちょっと最初の頃、ちょっと聞き逃しましたので、もう一度、お願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員、もう一度。

○林 ゆきひろ委員 これ、県道の影響なので県からの補助等は出てるのかということですね。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 委託自体は市単独で行っております、設計委託は行っております。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） あと、排水。

（柿ノ木のの声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 柿ノ木の開発に伴いましては、この掛川地区、中川地区のほうには、むしろ流下が少なくなる傾向でございますので……。ただ、名古屋岡崎線ができて湛水分が不足する分については、県のほうで、調整池だとか横断する部分の排水路だとかは負担していただいております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 月岡委員。

○月岡修一委員 実績報告書の68ページ、下段のほうですけども、特定空家の解体工事1件と特定空家解体準備工事っていうものが載ってるおるんですけども、準備工事の88万というのは、どのような工事内容を言うんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 準備工事の88万円なんですけど、こちらの今回工事をする敷地に入るところに、もともと公道のガイドレールというのがありました。その取り外し復旧だとか、今回の建ってた敷地の手前が、もうちょっとほかの方の土地で、その借地等をしました。その土を埋めたり戻したりという費用が88万円でございます。

終わります。

(すみません、関連の声あり)

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 月岡委員。

○月岡修一委員 確認ですけど、この解体工事と解体準備工事は、同じ場所のことなんですね。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 同一の案件でございます。

終わります。

(分かりましたの声あり)

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 関連。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 今のとこの特定空き家の工事なんですけど、場所と、この費用、200万ぐらいだと思うんで、それは回収できたんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） ただいま相手方のほうには解体しましたということで督促のほうをさせていただいております。まだ回収はできておりません。

終わります。

(場所、場所の声あり)

○都市計画課長（中田勝次君） 場所、失礼しました。

(線路の横の声あり)

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） これは、阿野町の滑なんですけど、名鉄の本当の線路沿いで軌道沿いでございます。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 毛受委員。

○毛受明宏委員 実績報告書の67ページ、土木の上から1つ目になるのかな、河川維持ということで、河川維持浚渫工事、これ、若王子川の件なんですけど、よく御相談を受けては、いろいろお話しをする場所なんですけど、今回、堆積土砂のしゅんせつ工事ということで、整正工事ではなく土砂を出してるということになりますけど、これ、どれぐらいのボリュームを出されたんですかね。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） どれぐらいのボリューム。

(あれぐらいだよなの声あり)

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） いや、こんぐらいだったって聞いたよ。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 若王子川のしゅんせつ工事、掘削工120立米でございます。
以上です。

（2万1,000じゃないのねの声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 その3番目の河川維持修繕工事の17件があるんですけど、去年は680万だと思うんですけど、何か大きい修繕工事があったんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） ちょっと調べて後ほどお答えいたします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書の67ページの都市計画総務費の都市計画調査事業で、この委託の内容を見ますと、空き家状況の実態調査というのが書いてあるんですけども、空き家がどういった調査をされてるのか、空き家がどれくらいあるとかそういったことも、把握、確認できてるんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） こちらは、愛知県のほうがもともとやります都市計画基礎調査のうちの宅地開発、建築動態、低未利用地、空き家調査、これの実態調査を行うというものでございます。今、数字は持ち合わせておりませんが、こちらにつきましては、今後のマスタープラン等にも生かす形になっております。数字は、今、持ち合わせてございません。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） すみません、先ほど質問いただきました河川維持修繕工事、実績報告書67ページですけど、こちら、件数で行くと、昨年と同じく17件でございます。この中に、令和5年度からの繰越明許分、河川敷広場整備工事2,897万5,100円を含んでおりますので、維持修繕としては、例年同等の金額であると考えております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） あと、すみません、測量等を行う公嘱協会、土地家屋調査士協会とありますが、こちら、官公署等が公共事業について行う、今、ちょっとホームページを読んでいますけど、設立された社団法人であります。公嘱協会は、不動産登記の専門

家である土地家屋調査士が社員でございます。愛知県下で450名近くいるんですけども、その中の豊明支部、こちら、単価としては愛知県内の同一単価となりまして、契約者としては、公益社団法人愛知県公共嘱託登記土地家屋調査士協会と契約しております。随契をしておりますが、こちらは、市の指定した事業で随契をしております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ちょっと待ってください。

林委員、今のでよろしかったですか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 じゃ、まず、協会に入っていない設計事務所、あると思うんですけども、そういった、まず、あるかっていうことと、ちょっと今の説明でも、なぜその随契になってるかっていうことがちょっと分からなかったんですけども、その理由をお願いしたいです。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 協会に入っていない測量士さん、調査士さん等ございますが、民間の立会い等では、そういった測量業者さんも入ってくることがございます。私ども公共の発注ですと、専門知識と、あと、豊明市内のデータ、そういったもの、処理能力を持っておりますので、そういった協会のほうに迅速に処理していただくという形で、そちらと随意契約を結んでおります。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員、聞きたいのは、協会へ入っていない人で契約してるんじゃないかってことでいいの。

○林 ゆきひろ委員 いやいや。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 違うの。

○林 ゆきひろ委員 協会、入ってるのがあるかどうかっていうことと随契の理由ですね。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） じゃ、これで。

○林 ゆきひろ委員 はい。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 月岡委員。

○月岡修一委員 実績報告書の66ページ、3の交通安全施設費の中の3番、道路照明更新等工事2件ですけども、どのような内容の工事と場所とですね、ちょっと教えていただけますか。

（今の声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） どのような内容だから、また違うかもしれな

い。

○月岡修一委員 例えば、街路灯のポールを立て替えたとか。金額から行くと、かなりのものなので。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） こちら、街路灯、支柱の点検結果によりまして支柱の取替えを行ったものでございます。新田町森西地内ほかでございます。

以上です。

（場所は何。場所は、もうちょっとしっかりと。どの辺の場所ですかの声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） すみません、現状を把握していません。また……。

新田町森西……。

（森西の声あり）

○土木課長（外山紀元君） 森西の何とか自転車のそばだと……。と、あと、前後駅広場、改札出た後の照明柱を1本替えております。

（すみません、街路灯のの声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 月岡委員。

○月岡修一委員 すみません、街路灯、その、もう基本的に腐食してるので、そっくりと取り替えた工事っていうことになりますか、基本的に。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） はい、柱ごと、そのとおりでございます。

以上です。

（分かりましたの声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにありますか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書67の真ん中より下の先ほどの都市計画の調査で、空き家状況の調査で、件数と、調査したのであれば何件かっていうのを教えていただきたいです。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 件数。

答弁願います。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 後ほど回答させていただきます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 清水委員。

○清水義昭委員 実績報告書の65ページの下のほうになるかと思います。恐らく、1目の道路維持費だったと思いますけども、御説明の中で前後駅前の広場のデッキというような御説明が最初にありましたが、これ、たしか何回か不落になって、やること変えてやったというようなことだったと思うんですけども、省いた工事が何があるのかっていうのと、どこを中心にやったのかということ、お願いします。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 答弁願います。

外山課長。

○土木課長（外山紀元君） まず、結果としてやったことと、前後駅前広場デッキ整備工事で傷んだ車道の舗装を、切削オーバーレイ、舗装の修繕を行いました。あと、歩道の舗装をカラー舗装化しまして、通行区分を明確化して安全性を高めております。

省いたことは、まず、私のちょっと記憶上ですけど、附帯工事、出しておりますが、鳥害対策ですとか排水路の付け替え等は、当初の計画には入れられなかったと記憶しております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 副委員長。

○郷右近 修委員 そのメニューの中にもととなかったし実際にもやらなかったんですけど、エレベーターやエスカレーターに関する手当てっていうのは、どうだったんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） 入っておりません。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） ほか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 実績報告書の67ページの一番下のところ、都市計画事務事業のところの建築・開発等受付・調査等事務のところですけど、建築基準法による確認申請というところの文言あるところ、ここで最後のほうに違反建築・開発の調査及び指導を行ったとあるんですが、この違反建築っていうのは何件かあったのか、それから、指導を行ったところがあったのか、教えてください。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 違反建築に関しましては、市のほうに連絡があり、お願いをしているものもありますが、県に直接というものもございます。ですので、全体的な件数は、こちらでは把握しておりません。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 では、その全体の数を知ろうと思ったら、どこへ問合せすればいいのか分かりますでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 愛知県の尾張建設事務所の建築課でございます。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 関連、関連。

（いいです、いいですの声あり）

○清水義昭委員 実績報告書の68ページの中程になるかと思えますけども、親との同居・近居購入費補助事業事務ですけども、これの214件のうち、何年目が何件というような年数でお願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

後ほど。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） すみません、後ほど回答させていただきます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかに。

武谷委員。

○武谷としお委員 実績報告書の70ページ、一番上、都市公園に係る指定管理料、毎年、大体1億1,400万円なんですけども、いろいろ一般質問とかで議論になってるところだと思うんですが、昨年度に比べて何か変更点とかはありますでしょうか、お願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 基本的には昨年度と変更はございません。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 都市公園の先ほどの指定管理のところですけども、イベント等を開催していてイベントの収入もあると思うんですけど、それがどのくらいあるかっていうことと、そういった収入をどういうところで活用しているのか聞かせていただきたいです。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） イベントの収入につきましては、企業様のほうの問題でございまして、ちょっとここでは回答を差し控えさせていただきたいんですが、この業務全体に反映をさせていただいております。特に、委託費等が最近上昇しておりますので、そちらへ転換しているというところがございます。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 市の公共の公園を活用して、利益、収入を得ているわけですよね。だけど、それが、なぜ、それが幾ら入ったのかっていうのが言えないのか……。そうですね、そこをちょっと説明していただきたいです。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） よろしいですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 恐らく、林委員からも御指摘の情報開示請求、公開請求等も受けておる案件も絡んでると思うんですが、まだちょっといろいろ、まだやり取りの最中だと思いますが、この辺りはまだ確定をしておりますが、企業様のほうとしましては、企業のその辺は事業の中の秘匿、企業様の考えの中での秘匿事項ということで、現時点では、まだちょっと公表は控えていただきたいということでございますので差し控えさせていただくという発言をさせていただきました。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 ちょっと本題とそれちゃうかもしれないんですけど、今、御答弁の中で名前が出たんですけど、林委員が情報公開されたっておっしゃったんですけど、その誰が何を情報公開されたってことを言うことはいけないので、また委員長、注意をお願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秘匿事項に関しましては公言しないということをお願いいたします。御注意をお願いいたします。

ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 それでは、実績報告の69ページの下の公園施設改修工事で資料ナンバーの4の⑩ですけども、公園の丸ノ内公園は、たしか区とかそういった地域を見て順番にやってるところかなと思うんですけども、それで、この丸ノ内公園をやったのかっていうことの確認と、あと、資料ナンバー4の⑩で、いろんな公園の改修がたくさん出てるん

ですけれども、これは、どういう基準で選んでいるのか。区長要望とかそういうことなのか、
どういうふうな基準ですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 1点目の丸ノ内公園は、委員の御見解のとおり、かつて
から行っていますリノベーション工事でございます。

2点目のその他の13工事に関しましては、我々の計画のほうは、区長要望工事、土木さ
さんのようなものはございませんが、同等の区長等からの要望という工事もありますし、こ
ちらの市のほうというか指定管理者も含めて管理をしていく中で改修をしていくというも
のもございます。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告の69の一番下なんですけど、公園施設維持管理のところ
なんですけど、これ、公園パートナーズ、都市公園に関わる指定管理、公園パートナーズ
なんですけど、いまだにこういう苦情って、あるんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） もちろん苦情というものもございます。12月の議会のと
きにもお話を、御指摘もいただいたこともありますし、もちろんその他の苦情もあります
が、一方で、前向きな意見や公園で作業員が直接感謝を述べられてるという案件もござい
ます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかに。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほどの資料ナンバー4の⑩のところ、これ、たしかその指定管
理の契約で、新設とか撤去は市が持つっていうことでよかったですか。

あと、この中に改修もあるんですけども、それは、なぜ、これ、市が全部やってるん
でしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 1点目の御質問は、委員の御見解のとおりでございます。
指定管理者の契約は、あくまで修繕というものでございますので、修繕以外の撤去、更新、
新設は、我々の市のほうで行ってます。

改修につきましても、これは修繕、改修とは書いてありますが修繕ではございません。

契約の修繕には含まれないものでございますので、我々市のほうで行っている次第でございます。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 例えば、可動式車止めの交換とか、これ、修繕の感覚がするんですけど、これ、改修だから、これ、市がやるっていう、そういうふうですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） よろしいでしょうか。車止め改修とは書いてますが、これは、工事名がそうなんですけど、車止めの更新でございます。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） よろしいですか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告の68から69のところになんですけど、柿ノ木地区の工業団地の件なんですけど、これで、開発基本協定書等に基づいて負担金の支出ということで、道路工事負担金、愛知県の企業庁に143万ほどということなんですけど、これ、豊明と企業庁の割合って、あるんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） これは、割合というのではなく、我々の市道ですね、豊明市道側の部分の排水の構造物だとか車道の舗装工、道路の附属工につきまして、一体で企業庁様の側のほうで作業していただいたので、その分の負担金でございます。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） お待ちください。

よろしいですか。先ほどの清水委員じゃないですか。

中田課長。

いいですか。

○都市計画課長（中田勝次君） よろしいですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） どうぞ、中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 先ほどの同居、近居の関係の1年目、2年目、3年目の件数だという御質問だったと思いますが、よろしいでしょうか。

1年目の方が65件、65件、2年度目の方が68件、3年度目の方が81件。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 清水委員。

○清水義昭委員 まあまあ需要があつて、たしか今年度から、これ、もう受け付けてなかったと思うんですけども、全部で何件の方が申請をされたのか、もうここで総括しないと駄目だと思うので、お願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

○都市計画課長（中田勝次君） 後ほど回答させていただきたいと思います。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 また、田んぼダム、戻ってすみません。実績の66でしたかね。先ほど、いろんな面積、ヘクタールだとかお答えいただいたんですが、その田んぼダムをすることによって、ためれる立米についても、私、今年3月の一般質問でちょっと触れてまして、そのときの会議録を改めて見たら、そのとき気づいてなくていかんですけど、全体で2,000万平方メートルを全体の計画としておりますが、単年度では500平方メートル程度を考えているっていうような御答弁があったんですが、これ、単純に割ると4万年かかっちゃうんですけど、数字の、もう一度、先ほど面積をお答えいただいたんですが、立米で見た場合のその全体、計画している田んぼダム全部完了すると何立米、要は、プール、25メートルプール約97杯分というのはあるんですが、何立米ためれる、そのうちの、今回、累計で約3ヘクタールが何立米になるんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 外山課長。

○土木課長（外山紀元君） まず、考え方としましては、5センチほど、田んぼダムを造ることによって貯留できるということで、6年度でいえば3.1ヘクタールですので、掛ける0.05で1,550立米。1年で1,550平米、結構な貯留量だと思うんですけど、実績がございまして。計算上の先ほどの、全体でという点の立米数、出てると思うんですけど、ちょっと、今、把握しておりません。申し訳ございません。計算すれば、先ほどの平米数、掛ける0.05で出ると思いますので、よろしくをお願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） じゃ、計算、御自身でということ。

（はいの声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 中田課長ですね、中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 2点ほど回答させていただきたいと思います。

まず、同居・近居の先ほど御質問があったと思いますが、同居・近居制度をスタートしてからのここまでの件数ということを一で見直さないといけないということだったという御質問だったと思うんですが、平成28年度から始めておりまして、令和6年度まで

で2,057、2,057件でございます。これが1点目です。

もう一件ですが、指定管理者の関係で、自主事業によるイベント等の収入に関しましては、墓園を含めまして、これだけは御回答いたします、264万円、264万円、墓園を含みません。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 清水委員。

○清水義昭委員 実績報告書68ページの親との同居・近居の件、2,057件というようなことで御回答がありましたけども、これ、多分、全ての件数を含めて2,057件なんじゃないかなと思うんですけど。要は、その1年目に申請した方も2年目に申請した方も……。じゃなくて、それが1年たって、2年目も同じように申請した方もっていうのも多分全部含めてなんじゃないかなというふうに、今、推測したんですけども、何名の方っていうか、何世帯の方っていう言い方がいいのかな、がその申請されたのか、その平成28年から今までで。それをお願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） これは、補正に。

（決算、決算の声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 決算に入らないかな。大丈夫です。いいです。次、ほかにございませんか。

（発言する者あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 親との同居、これは、今回の214件のこれに当てはまるのかどうか、私が判断いたしました、決算に。当てはまらないんで。

（決算に入らないからいいの声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） じゃ、はまるんですね。

じゃ、清水委員、もう一度、決算にはまると掛け合わせてお願いいたします。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 数字は分かりますので、少しお時間いただければ、後ほど回答いたします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告書の69ページの街路事業費ですね、その調査測量設計等委託というのがありまして、桜ヶ丘沓掛線、大根若王子線においての交差する箇所設計協議のための修正設計ってということなんですけど、これ、設計が何で変わったのか、あと、どのように修正されたのか、お願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） こちらは、名古屋岡崎線と両桜ヶ丘沓掛線及び大根若王子線の交差点の主に交差点付近の設計でございまして、もともと概略の設計があったところ、交差点の警察協議、公安協議等を進めていく中で、予備修正、修正を含めた設計をやっていったということでございます。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書の69ページの一番上の先ほどの柿ノ木地区の開発の負担金ですけども、これ、愛知中部水道企業団に1,000万近く出てます。水道の工事だと思うんですけども、これ、一般的に、その寺池とか間米の開発でいえば、水道の工事っていうのは開発事業者が行うことになってるかと思うんですけども、今回のこの柿ノ木の工業団地のやつは、なぜ市が持っているのか。この負担は、市が全額、これ、負担してるっていうことなんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） すみません、よろしいですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） はい。

○都市計画課長（中田勝次君） お手元の図面ですと大変小さいので申し訳ございませんが、これは厳密に言うと、区域の外で、御存じの方もいらっしゃると思うんですが、今の名古屋岡崎線の道路の横に市の側道があります。

資料4の⑧ですね。

そこの側道に企業団様のほうの配水管のほうが入っております、市道の沓掛南線の下なんです、南の19号線の下になりますが、そこの下の配管ですので、厳密に言うと企業庁様の敷地、今回の開発区域の外ということでございます。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 恐らく、資料ナンバー4の⑧の図面でおっしゃってるのかなと思うんですけども、本当に境界のぎりぎりのところの歩道の下だということなのかなと思うんですけども、でも、この配水管自体は、これは、その企業、この工業団地でしか使わないんじゃないんですか。だけども、これは市の敷地だからということで市が全額持つということなんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） もともと配水管がある布設替え、いわゆる付け替えということでございます。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 分かりました。その布設替えというのは、この工業団地を開発することによって必要だからということなんですよ。そこでしか必要はないんじゃないですかってことです。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） いや、もともとある配水管でございますので、工業団地だからということではございません。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） そのもともとある管が、工業団地にのみ使われてるのかどうかを問うてます。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 失礼しました。工業団地だけではございません。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 ということは、その工業団地の開発に伴っての布設替えだけでも、もともと市のものであったということで、これは、もう全額、市が負担すると、そういうふうな協定になってたっていうそういうことなんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 先ほども申しましたとおり、あくまで市道の、側道である市道の下にあるので、我々の市のほうで受け持っているということでございます。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 質問は、まだ相当ありますでしょうかね。

（いいえの声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ある。

（発言する者あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 先ほどから林委員から御質問いただいている配水管ですが、

これは、負担金の協定がございまして、区域外のものは市のほうが受け持つということで決まっていることを付け加えさせていただきます。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 負担金の協定が。

すみません、まだしばらくありますね、皆さん。あるね。

それでは、ここで一旦休息、10分間の休息といたします。

午前 1 1 時 休 憩

午前 1 1 時 1 0 分再開

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

それでは、中田課長、お願いします。

○都市計画課長（中田勝次君） 回答は後にしました御質問、あと2つありましたので、2つ回答させていただきます。

まず、1点目です、空き家の調査の関係ですね、実態調査の件数なんですが、合計は311件、311件でございます。

もう一つ、同居、近居のほうの先ほど総計はお話ししたんですが、1年度目だけの合計ということによろしかったと思うんですけど、1年度目の申請の方だけでよろしかったと思うんですが、731件、731件でございます。

2点です。以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 清水委員。

○清水義昭委員 同居、近居の件ですけど、1年目だけの人数というより、多分、2年目とか3年目から新たに申請されてる方もお見えになるんじゃないかなっていうふうには推測はしてますので、いなかったかな、多分いると思うので、いるという答弁が今まであったので、もう今年度、この事業は、その新規受付をしてないはずなので、何名の方が使われたのかっていうところが知りたい。1年目のを全部足したやつじゃなくって、何名の方がこの事業を使われたというのが知りたいです。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） よろしいでしょうか。最低でも1年度目の方の、ちょっと、すみません、2年度目から出された方の件数まで、こちらとしては、今、つかんでおりませんが、1年度目から出された方ということで731という回答をさせていただきました。

清水委員のおっしゃるとおり、1年度目を忘れていた等で2年目から出されていたという方が、私も把握はしてないんですが、ある可能性は、もちろん否めないんですが、ということでございます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 今回の同居・近居の補助のところですけども、これまでに2,000件ほど出されて、七百何十件ほどの方がっていうことなんですけども、この補助の費用対効果は、どういうふうにはかっているのか。これ、市外の流出を防ぐっていうことでこれをつくったと思うんですけども、もともと市内に引っ越そうと思ってた人は、ただ、これ、もらうだけになって、補助としての効果はないと思うんですけども、市外の流出を防ぐって意味でどれぐらい効果があったのかって測定されてますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁できますかね。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 今回の林委員のおっしゃるのは市内から市外への流出を抑制できたかという御質問だったと思うんですが、そのことについては、数字等含めて、つかんでおりません。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 過去の決算の委員会の中で、今、言った、市内から市内、市外から市内のそれぞれの件数を聞いてた年もあるんですが、それは、今、なぜ分からないんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 市外から市内の方という数字はございますので、これは、後で後ほど回答させていただきたいと思います。よろしいでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 市外から市内は。

ほかにございますか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほど、空き家の件数311件ということですけども、実績報告書68ページの今度は真ん中、木造住宅除去費補助で、診断の結果、倒壊の可能性があると診断されたもので補助というものと、この1つ飛ばして下に倒壊のおそれのある危険な空き家解体っていうことで出てます。まず、この違い、空き家の中の違いがどういうふうなのかということと、あと、これに該当するのはどれぐらいあるかっていうのは把握されてますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） まず、上段のほうの除去費というものに関しましては、これは、居住していることがもちろん、居住している木造住宅ということが条件でございます。こちらで耐震性がないものということの補助でございます。耐震改修を選ぶか除却を選ぶか。

もう一点、その下に書いてあります空き家対策の推進補助、空家解体費補助金につきましては、1年以上住んでいない、いわゆる空き家状態のもので不良住宅判定ができたものの解体に補助を支払うということですので、これが、まず違いでございます。

2点目には、これも……。

すみません、林委員、もう一度、2点目の。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほど、空き家は311件ですけど、この倒壊のおそれのある危険な空き家というのは、そのうち、どれぐらいかということです。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 空き家の311のうちに倒壊の危険があるかどうかまでの数字は出しておりません。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございせんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 69ページのどこなんですけど、ちょっと、先ほど、丸ノ内の公園のリノベーションあったんですけど、これの補助率って、どんだけなんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 補助金の補助率は、3分の1でございます。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございせんか。

岡島委員。

○岡島ゆみこ委員 実績の6……。間違えました、ページ。70ページの有料駐車場の管理委託についてなんですけど、合計で64台分の駐車場2か所で草刈り作業費が少々高額のような154万というのは、これに関して、具体的な作業内容とか回数とかってものを教えてください。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） まず、回数は2回で、これは草刈りとはなっていますが、草刈り以外に、駐車場が碎石で駐車場してありますので、碎石も、うねりが出てきたり穴が開いてきたりします。その辺りの埋めたり転圧したり、あとは、発芽剤、いわゆる草が伸びてこないような抑制剤をまいたりということも全て含まれた業務でございます。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 実績報告書の69ページの公園施設改修、三崎水辺公園の大規模改修の件です。資料要求した資料ナンバー1の⑤、ありがとうございます、それを見ながらちょっと確認したいんです。初日に専決処分の報告で減額の案件がありました。専決処分した日にちが3月19日というふうだったのでここでお聞きしようかなと思ったんですが、減額した専決処分が682万5,500円っていう御提示があったんですね。そのときに駐車場の擁壁が低くできた、あと、栈橋のその脚の高さも低くできた、あと、もう一個、栈橋の改修、栈橋デッキの改修で増えた、その差額が682万5,500円っていうふうに理解したんですが、この3つの内訳を、まず教えてください。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 答弁願います。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） これは、減額が、減額の金額の内訳ということでよろしいでしょうか。

（はい、願いますの声あり）

○都市計画課長（中田勝次君） 今は、おのおのがどれだけというのは、たしか専決のときに、おおむね、御回答させていただいたと思うんですが……。

（願います、その声あり）

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） よろしいですね。

○都市計画課長（中田勝次君） それでよろしいでしょうか。

（はいの声あり）

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 500万か600万の上った分の内訳ですよ。いいですね。

○都市計画課長（中田勝次君） すみません。

（じゃ、回答待ちが1件ありますねの声あり）

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） ふじえ委員、もう事前に御説明させていただいてるので、過去のを御自身で調べていただいて、そこは確認いただきたいということで

す。

○ふじえ真理子委員 はい。私がメモし切れなかった部分もあったので。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） そうですか。じゃ、改めて。

○ふじえ真理子委員 擁壁、高さが低くできたのは、マイナス、マイナスなんですけど、デッキ改修はプラスなんです。差引きが682万5,500円、その今、決算なので、もしその内訳を聞けたらと思って、お願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 中田課長、大丈夫でしょうかね。

○都市計画課長（中田勝次君） お答えいたします。よろしいでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） お願いいたします。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） では、お答えいたします。まず、土工、土の関係ですね、こちらで減額が約210万円、擁壁工事、擁壁工で約430万円の減額、栈橋、真ん中の栈橋そのもので脚が短くなったというものでマイナス600万、一方、その両端分のデッキの改修、これ、プラスですが、こちらが約1,190万円のプラス、最後に、仮設工事などでマイナス640万、大まかな内訳は以上でございます。

終わります。

（ごめんなさい、最後、何て言った。仮設工事の最後は、すみませんの声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 仮設工事で、最後、マイナス六百何万というのを、もう一度。

○都市計画課長（中田勝次君） 640万でございます。失礼しました。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 今、おっしゃったその数字が反映されたものが資料ナンバー1の⑤ということでよいか、まず確認したいです。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 委員の御見解のとおりでございます。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 これ、本会議のときにも触れたんですが、その当時に、私、設計委託出して、この例えば、栈橋の脚の高さが2.4メートルでしたっけ、低くでき、間違ったら訂正してください、2.4メートル低くできたっていうようなことがあったんですが、それに対するその設計者へのその力量不足というのか、私はそういう視点で指摘したんですが、今回、この業者さんからの、こういった、今、減額の申出というかこういうふうだっ

たという発議があったときに、市役所側としては、どういうふうな交渉をされましたか。分かるかな……。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） これは、工事の約款に基づく申請でございまして、それに基づき我々担当のほう現場を申請してきた業者と確認した上の結果ということでございます。それは、交渉と言うべきか、協議ということでございます。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 実績報告書の69ページの一番上の柿ノ木工業団地、先ほど、林委員がいろいろお聞きしてたところなんですけど、先ほどの答弁だと、もともとあった管を布設替えて布設替えるっていうことを聞いたんですけど、そこは耐震化された管を入れるんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 耐震化されたかどうかは、ちょっと、ごめんなさい、私も細かなことを把握はしておりませんが、これは……。そうですね、すみません、耐震化してあるかどうかまでは、今、承知をしておりません。

終わります。

あと、もう一点、よろしい、よろしいでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 今の話とはちょっと別なんですけど、先ほどの丸ノ内公園の関係で補助率ですね、お答えさせてもらうんですが、すみません、訂正をさせていただきます。3分の1ではなく100分の30、要は30%っていうことでございます。失礼いたしました。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 今の配水管の件ですが、もし、これ、耐震化でこの管を入れ替えるんだったら、愛知中部水道企業団の負担で入れ替えると思うんですが、それで聞いたんですが、そののところ、またきちっと把握というか確認して、また教えていただきたいんですが。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 耐震化であれば……。ここは、ある1区間のことでござ

います。耐震化であれば、ある程度長い一定の区間を全て耐震化ということになってきます。今回は、布設替えというのが目的でございますので、そこに特化したものと御理解いただけると幸いです。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書67ページの下の都市マスタープランの策定委託ですけれども、6年度で847万円の委託が発生しています。たしか6年度は、まだ第4次の都市マスタープランの委員会のほうが開催されていないと思うんですけども、この6年度の時点で業務委託でどういうことを行ったのか、何か成果物等はあるのでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 6年度につきましては、あくまで策定の支援業務ということで、今回、今、やっています7年度、8年度の今の策定委員会、おっしゃられたように策定委員会とか策定作業部会がございますが、そこへ向けての元データ、基礎データの収集や整理、あと、地域別カルテの作成、あと、豊明市が前来抱えている都市計画上抱えている課題の整理等が目的でございます。6年度はその業務でございますので、策定委員会をやる、やらないということじゃなくて、やってないと、あくまでデータの集積ということでございます。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 多分、金額、何に使われたかって、単純に。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 委託の金額は、全て、今、お話しさせていただいたことでございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） じゃ、いいですね。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 ちょっと成果物が見えにくかったんですけど、例えば、課題で、どういったものが上がってきたのでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 今、少しちょっとデータ書類そのものをちょっと持ち合わせていませんので、後ほど回答させていただきたい、簡単ですが回答させていただきま

す。

あと、もう一点、すみません。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 先ほどの同居・近居、少し話戻りますが、同居・近居の関係で1つお答えさせていただきますということで、市外から、これをもって……。これをもってというか、市外から市内の転入者ということなんですが、289、289でございます。以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） よろしいですね。

じゃ、1件持ち越しありますが、暫時休憩といたします。

午前11時27分休憩

午前11時32分再開

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を始めます。

それでは、持ち越しでございました質疑に対しまして御答弁のほど、お願いいたします。中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 持ち越しより、もう一つだけ回答させてください。

大分、話、戻りますが、空き家の実態調査の件数でございます。先ほど、311とお話しをさせていただいたんですが、それからいろいろアンケート等を取って、解消、いろんな形で解体されたりっていうことで解消されてるものが192ありますので、我々がつかんでいます件数そのものは、119、119でございます。まず、これが、1点目でございます。

もう一つの御質問なんですが、6年度の調査でいろいろさせていただいたのは、上位だとか、総合計画含めた上位計画や関連計画等の整理、あとは、人口動態、まちそのものの状況や都市の機能、あとは、市の財政状況や防災、防災面ですね、それと、交通などの基礎データ、基本データの収集をすることが1点目、立地適正化計画の見直しの検討、これは、居住誘導区域や誘導施設の見直し、今までの進捗を含めてどうしていったらいいのか、見直しの検討、あとは、法の改正、法や制度の改正に伴う誘導施策等の見直し検討、これは、最初の第3次以降、年数がたっておりますので、この段階で検討させていただいております。あとは、今のは、ごめんなさい、立適の話ですね、立地適正化計画の話でございます。

ちょっと順番逆になりますが、都市マスタープランにつきましては、人口や世帯の動向、状況ですね、人口や世帯等の状況、あとは、市街化の動向や都市の活力、これは、産業とかにぎわいになります、あとは、都市の基盤とか都市環境、あと、安心・安全、防災が主立ったところになります。あとは、総合計画の結果も活用しながらの市民ニーズの把握、あとは、そこからの地域別カルテの作成や豊明市が抱える課題や整理ということでございます。

もう一点、緑の基本計画、こちらに関しましても、基本データの収集、整理、あとは、二村山や勅使台周辺の自然や農地の保全等々の課題の整理。

簡単ですが、以上のような内容でございます。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 今の答弁に対してのみ質疑がございましたら挙手願います。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 緑の基本計画と立地適正化計画の見直しというのは、この委託した事業者と見直しをしたってということなんですかね。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 見直しの検討でございますので、基本データを集めて、どのような形で……。見直しの検討というのは、もちろん今までの過去の計画の見直しということも含めますし、これ、出したデータから、どういう形でちょっと見直していこうかという検討も含まれております。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 ごめんなさい、もう一回。

事業者の意見を聞いて市が見直すってということなんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 事業者も各所いろんなところでやってまして、専門性がございます。事業者の意見を聞くとなると、ちょっと事業者寄りということの受け止めなのかもしれませんが、そうではなく、豊明市として出た結果に基づいて、その専門性での御意見を踏まえて課題の整理をしていたということでございます。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） よろしいでしょうか。

（もう一回、もう一回の声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 具体的に計画って変更されてるんですか、じゃ、その立地適正化計画とか緑の基本計画って。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 緑の基本計画は、平成8年にできてからは変更はしておりません。立地適正化は、1度、令和6年に改正しております。

（いいですか、すみません、私が聞きたいのはの声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 ごめんなさい、聞きたいのは、あくまでこの業務委託の6年度の業務の内容でということなんですけども、この委託の中で実際に市が立地適正化計画を変えたりとかあったのかということです。先ほど、見直しの検討というのがあったので。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 中田課長。

○都市計画課長（中田勝次君） 失礼しました。今回、あくまで大枠は整理、6年度分は整理でございます。あくまで、この後の計画、全体の計画立てというものは今年度からの委員会で諮ってやっていくということでございます。

終わります。

（やってないってことねの声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） これにて8款 土木費の質疑を終わります。

ここで、理事者側の説明者の入替えのために暫時休憩といたします。

午前11時37分休憩

午前11時38分再開

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

続いて、9款 消防費について説明を願います。

川島市民生活部長。

○市民生活部長（川島康孝君） それでは、9款 消防費について、主なものについて御説明いたしますので、実績報告書の71ページをお願いいたします。

1目 常備消防費は、対前年度約6,400万円の増額となっております。主なものとしましては、尾三消防組合分担金の増額によるものでございます。

続きまして、その下の2目 非常備消防費は、対前年度約450万円の増額となっております。主なものとしましては、消防団員の退職報償金の増額によるものでございます。

続きまして、その下の3目 消防施設費は、対前年度約780万円の減額となりました。主な理由としましては、令和5年度に防火水槽を新設したことに伴いましての減額となっております。

続きまして、1ページおめくりいただきまして、72ページのほうを御覧ください。

4目 災害対策費は、対前年度約570万円の増額となっております。主なものとしましては、個別避難計画の作成マニュアルなどの委託、それから、指定避難所にバルーン投光器を10基配備したことに伴う増額となっております。

以上で9款の説明を終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 説明はよろしいですね。

説明は終わりました。

9款 消防費について質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

武谷委員。

○武谷としお委員 実績報告書71ページです。立上り消火栓の設置補助金、これ、新設と移設の件数をお願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

中野防災防犯対策課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） 移設のほうが2基あります。新設はありません。

以上になります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 清水委員。

○清水義昭委員 これ、決算上には表れてないんですけど、撤去の件数もお願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） 撤去のほうは、ちょっとデータのほうを持ち合わせてありませんので……。その当時、地区の負担になってたもので、市のほうからの補助を出していなかったということで、今現在、ちょっと資料のほうを持ち合わせておりません。

以上になります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） もともと、じゃ、データないということですか

ね。

清水委員。

○清水義昭委員 確認ですけど、その市のほうには撤去の申請っていうのはされてないですかね、報告というか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） 地区のほうから撤去の申請っていうか報告のほうがありますので、ただ、ちょっと、今現在、ちょっとデータのほう、手元に持っていないもので、後ほどお答えさせていただきたいと思います。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

鈴木委員。

○鈴木智和委員 実績報告書の72ページの最下段ですけども、防災用対策用LEDバルーンの投光器を購入しましたが、各避難所で定期的に点検をしているのか、いざというときに使えないといけないので、誰が点検しているかお聞きします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） 点検のほうは、市のほうで職員のほうで行うような形になってるんですけど、現在、昨年度、導入したもので、現在ちょっとまだ点検のほうは今年度から行われることになっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

武谷委員。

○武谷としお委員 実績報告書71ページの消防施設維持管理事業、これ、愛知中部水道企業団に管理を負担してるんですけども、これ、負担してる金額に沿った管理内容というのは、どういったことをされてますでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） こちら、中部水道企業団のほうで、点検、修理、取替えのほうを行っていただいております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今のその中部水道企業団の修理、点検っていうのは、どのぐらいの件数があったのか分かりますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） 修理のほうは2件で、取替えが11件です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） 先ほど、立上り消火栓の撤去の件数ですが、8件となっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告の71ページ、非常備消防費で真ん中のとこなんですけど、これ、消防団の定員は何名なんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） 消防団の定員は、181名になっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） これは、市全部ですね。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） 市全体です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 それ、100%というか、その率。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） 令和6年度が144人になっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 144人ということで、これ、団員確保、いろんな策は考えてみえるんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） 昨年度、団員確保ということで加入促進のグッズを国費を使いまして購入をして、加入のほうに努めております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

（関連の声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 堀内委員。

○堀内ちほ委員 この消防団の方たちっていうのは、どのような活動とか啓発活動とか、そういう、どんな働きをしてくださってるのでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） 消防団のほうでは、消火活動と、あと、災害時の防災の活動をするということを目的に結成されておまして、そのための訓練だったり研修だったり、そういうことを行っております。あと、身近なところで、地元の警備とかにも行っております。

以上です。

（関連で、すみませんの声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 堀内委員。

○堀内ちほ委員 この現在144名の方たちが活動されていて、やっぱりお仕事を持ってる方とかお忙しい方とかいらっちゃって、活動100%出られる人と、あまり活動ができない方とかでも、そういうの報酬っていうかそういうものとかは、どういう振り分けっていうか内訳になるんですかね。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） 報酬のほかに、出勤したときの手当等がありますので、ですので、全然その活動に参加されてない方は、その出勤の手当がちょっとないよというような形になっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 関連で消防団のところです。今は144名いらっしゃるっていうことで、もし分かればいいんですが、女性が何名かと、あと、学生さんがいるか、何名か、あと、外国籍の方がいらっしゃれば、その分かれば、3つ知りたいんですが。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） 今、手元にデータがありませんので……。

（女性3での声あり）

○防災防犯対策課長（中野忠之君） そうですか……。

（部長、手を挙げてください。手を挙げてくださいの声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ちょっと聞きながらいいんで、中野課長から正確に言っていただければ。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） 女性が3人で……。

（学生は1名の声あり）

○防災防犯対策課長（中野忠之君） 学生は1名で、外国籍の方は、ゼロ人ということで。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 学生定義は、あれですか、大学に通ってるっ

ていうところからで。

(専門学校もの声あり)

○決算特別委員長(中堀りゆういち議員) 専門学校とか大学とかだけ。大学生世代で。

○防災防犯対策課長(中野忠之君) 大学生と専門学校の方ですね。

○決算特別委員長(中堀りゆういち議員) いいですね。

ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 今の答弁のちょっと補足ですけど、18歳以上なら入れます。

それから、聞きたいことは。

○決算特別委員長(中堀りゆういち議員) 質問してくださいね。

○浅井たかお委員 はい、今から聞きます、言います。

71ページの……。実績報告書の71ページの下の立上り消火栓設置等補助事業っていうので、老朽化ホース、それから、器具箱等の更新を推進したってあるんですが、このホースを更新したものと、もし廃棄したものがあれば教えてください。それから、何か所の器具箱を更新したのか教えてください。

○決算特別委員長(中堀りゆういち議員) 答弁願います。

(少々お待ちくださいの声あり)

(後ほどの声あり)

○決算特別委員長(中堀りゆういち議員) 後ほどで。ホースと。

中野課長。

○防災防犯対策課長(中野忠之君) 先ほどの女性と学生の件ですが、女性は3人で、学生は2名の間違いでした。外国籍の方は、ゼロ人で間違いありませんでした。修正のほうをお願いいたします。

○決算特別委員長(中堀りゆういち議員) だから、1人増えたんだね、学生が。

中野課長。

○防災防犯対策課長(中野忠之君) あと、先ほどの立上り消火栓の補助なんですけど、ホースが39本交換しております。あと、器具箱が28で、AEDボックスが1基、交換をしております。

以上になります。

○決算特別委員長(中堀りゆういち議員) ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 決算書の105ページです。4目 災害対策費の委託料が、わっとある

とこなんです、地震データ取得先変更作業委託料というのが新しく入って、これ、どこからどこへ変更で、なぜそういうふうに変更する必要が出てきたんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） こちらは、地震計というのが豊明消防署のほうについておまして、こちらのほうのデータがうまく取得できないということがありましたので、豊明消防署、市役所、気象庁というデータの送信を、消防署、気象庁という形に変更させていただいております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 ちょっと先ほどの立上り消火栓の老朽化したホースなんですけど、これの耐用年数って、どのぐらいなんでしょう。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 答弁願います。

中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） 後ほど。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 耐用年数、後ほど。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 71ページ、実績報告書の一番上のとこなんですけど、尾三消防組合分担金支払事業です。分担金が8億4,300万ほどなんですけど、これ、増えたと思うんですけど、その要因をお願いします。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 答弁願います。

中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） こちらのほうは、昨年度、尾三消防のほうで指令システムの部分更新事業という工事を行いまして、そちらのほうで約4億7,000万円の工事がかかっております。そちらのほうが多く増額となった要因になります。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 清水委員。

○清水義昭委員 同じ尾三消防の分担金ですけども、負担割合自体は変わってないという理解でいいですか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 答弁願います。

中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） 6年度の負担割合が約21%なんですけど、少し変わった……。

(少し上がってるの声あり)

○防災防犯対策課長（中野忠之君） 少し上がっております。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 清水委員。

○清水義昭委員 6年度、ごめん、前年度の決算を自分が持ってて、そこを見るとメモで負担割合21%って書いてあるので、令和5年度が21%、令和6年度が幾つで、多分、今、令和7を言われたのかな、分かんないですけど、ちょっと負担割合の経緯、お願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） いま一度、令和6年度で併せて負担割合と、その以前と上がったのか、答弁願います。

中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） 令和5年度が21.0081%で、令和6年度が21.0895%で、微妙に上がってるというような形ですね。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 0.7ということ。

清水委員。

○清水義昭委員 その負担割合がその微増してるのはどうしてなのか、お願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） こちらのほうは、均等割ですとか面積割と、あと、直近の救急件数割というそういったもので出しておまして、そちらを計算し直した結果ということで、ちょっと何がどのようにというのまでは、ちょっと、すみません、手元に……。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 川島部長。

○市民生活部長（川島康孝君） こちらは、変動項目としては、救急件数と、それから、基準財政需要額の3か年の平均を取っておりますので、5市町の中で救急件数が若干豊明は伸びてる影響が多いのかなっていうところがございます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 救急車ね。

いとう委員。

○いとうひろし委員 実績報告書の今の71ページの中段辺りの、先ほど、報償、報酬については分かりましたが、イのほうの分団交付金、これの使い道は何でしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） こちらのほうは、分団の運営費ですとか、あと、車

両の整備費のほうで交付をしております。

以上になります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 その上の女性防火クラブなんですけど、これ、今、何団体あるんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） 令和6年度は16支部ですね、になります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 16支部。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 その女性防火クラブの交付基準というかそういう要件というか、そういうのは、どういうふうなんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

もう一度、これ……。

中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） 後ほどお答えします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 交付基準。

ほかにございます。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績の72ページの下から3段目の個別避難計画のところですけども、これは、たしか昨年度、ひな形とかマニュアルを作成してということで川島部長答えてたと思うんですけど、これ、ひな形を作成してから、ケースごとに個別のケースで作成してくってということですけど、昨年度はどれぐらい、何ケースぐらい作成できたんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） 後ほどお答えします。

あと、すみません、先ほど御質問のありましたホースの耐用年数ですが、おおむね10年ぐらいは使用できるだろうということですけど、点検をすれば、もっと長いこと使えるということです。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 川島部長。

○市民生活部長（川島康孝君） 個別避難計画につきましては、地域でつくる個別避難計

画と、それから、もう少し重い方を地域福祉課と長寿課のほうで個別避難計画をつくっておりますので、地域でつくるやつは、このモデルケース1件だけになっております。長寿課のほうでは数件つくっておりますけど、ちょっとそちらのほうは3款の事業になりますので、こちらのほうで把握しておりません。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） ほかに。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 72ページのところの災害対策事業ですね、一番上の防災備蓄用の消耗品なんですけど、毎年800万ぐらい要るんですけど、水とか10年とか大分延びたり、いろんな食料も延びてるんですけど、どう、こんなに要るもんなんですかという。どうでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 答弁願います。

（もう一回、はっきり質問してくださいの声あり）

○こんどうのぶお委員 これだけ毎年毎年800万必要なんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） こちらのほうは、非常用の備蓄品になりますので、5年サイクルで入替えをしておりますので、やはり金額としては多くなるということをお願いいたします。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 川島部長。

○市民生活部長（川島康孝君） こちらのほうは、地域防災計画で目標食数っていうのを7万食っていうふうにしておりますので、それに基づいてやっているというところがございますが、今回、南海トラフの避難想定の見直しを行いますので、それによって、また見直しを行っていくというのと、それから、スギ薬局さんとの協定でローリングストックというのもやっておりますので、民間企業との連携も含めながら、少し減らせるものは減らしていきたいなというふうに考えております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） ほかにございせんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 72ページの下から2番目なんですけど、これ、受水槽に給水栓をつけたということなんですけど、これの受水槽の容量、小中学校、同じなんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） これは幾度か、説明は、もう相当されてるものなんですけど、いま一度聞く。

○こんどうのぶお委員 はい、確認していただきたいです。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 確認。

川島部長。

○市民生活部長（川島康孝君） 学校によって10トンから30トンぐらいの大きさが変わっておりますので、学校によって異なっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほど、個別避難計画のところをもう少し聞きたいんですけども、地域ごとのモデルケースは1件ということなんですが、そこから各区が多分つくってくと思うんですけど、それは市のほうでは把握はされないのかっていうことと、もう一つ、市のほうで作成するのは3款っていうことで、それは福祉の関係でっていうことだと思うんですけど、所管は、これ、地域福祉課が幾つかつくってということなんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 川島部長。

○市民生活部長（川島康孝君） 3パターンございまして、まずは、軽度の方っていうか、地域の方がフォローすれば避難所まで行けるっていう方は地域でつくっていただくと、やっぱり医療的なケアが必要な場合の障がいをお持ちの方は地域福祉課、要介護度が高い方は長寿課のほうでつくっていくと。そういった場合には、市のほうは、関係者も含めて、福祉とか看護師とか、そういった方のフォローも必要になってきますので、なかなか地域でつくっていくのが難しいということで、それぞれの課でつくっていただくと。それ以外の地域でつくれそうなところは地域でつくっていただくんですが、今回、昨年度でマニュアルと、それから、つくり方みたいな案内を出しまして各地域に投げておりますので、またつくりたいという要望がございましたら、市のほうが伴走支援しながらつくっていくというような流れになると思いますので、まずはひな形を昨年度つくって、これから地域のほうで、意欲のあるところと一緒につくっていく流れになるのかなというふうに考えてます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 確認で、なので、まだ昨年度の段階では、その各地域で、よりそのケースに合わせてということまではない、なかったっていうことですね。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 川島部長。

○市民生活部長（川島康孝君） 結構前から、阿野区とか、先行してつくられてるところはございまして、その地域によっては、市の目指す個別避難計画ではないものもつくられてるところもありますけど、本格的につくってくってというのは、今年度からになるうか

など思っています。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） 先ほど、女性防火クラブの交付金の御質問がありまして、算定基準ってということでいわれたんですが、こちらのほう、防火クラブの運営費で45万円、あと、支部の運営費で、1支部につき、基本額が2万円というものになっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 別のところで、72ページ、実績の、真ん中のブロック塀の撤去のところですけども、これ、市内に、あとどれぐらい危険箇所があって、これまでの実績で、どれぐらい、これ、撤去は、できているんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） ブロック塀の危険度、どこが危険かっていうのは、正直、その市内全域を把握してはおりません。それで、昨年度、通学路につきまして点検を実施しまして、ブロック塀を301か所あるということを確認しまして、そちらのほうを、今後、申請等出てきたところで進捗のほうを管理していきたいというふうに考えております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 今回、6年度は12件なんですけども、これまでの実績だとどうですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） 実績のほうは、6年度で12件を合わせまして96件になります。補助金の申請の実績です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 中野課長、先ほど、お答え、こんどう委員の部分でお答えされた女性クラブのこの交付に対する基準に対して金額で述べられてたんですが、多分、交付基準というのが……。

（どういう状態でなるのかの声あり）

（条件ということですねの声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） どういったもので……。要は、もう法律で決まってるとか、何か条例で決まってるんだ。

中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） こちらのほうは、女性防火クラブ交付金交付要綱というものに基づいて交付しております。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） そういうので決まってるんだね。

ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 すみません、決算書のほうでお聞きします。103ページの一番上、バス等借上料のこの12万1,880円、これは、どういったときにバスを使ったんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） こちらは、県の操法大会のときに使っております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 分かりました。

あと、その下の工事請負費の消防団詰所エアコン更新工事費の90万8,600円、これは、どこの詰所、どこの分団でしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） こちらは、2分団と4分団と5分団になります。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 そのまた下のほうの消防施設設置事業の防火水槽撤去工事費の517万円、これは1か所だと思うんですけど、これ、間違いはないですか。1か所で、どこでしょうか、これは。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） 1か所で阿野区になります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 そのまた下、工事請負費の消火栓標識改修工事費、これ、44万円、これは、何か所ですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） こちらは、1か所になります。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 次の104ページ、決算書の104ページの災害対策事業の真ん中辺かな、災害時協力井戸水質等分析調査委託料、これは、何回調査するんでしょうかね、この年間で。

それから、使用料及び賃借料というこれは、どこに払ってるのか教えてください。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） こちらは、まず、井戸の調査につきましては、2年に1回ごとに行っております。59か所のうち、20か所を6年度は調査をしております。

その下の使用料及び賃借料というのは、職員参集システムの通信料になります。

以上です。

（関連での声あり）

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 今の協力井戸なんですけど、どういったところに依頼するんでしょうか、委託するんですか。どういった業者というのか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 答弁願います。

中野課長。

○防災防犯対策課長（中野忠之君） 環境科学研究所という専門のところになります。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 決算書104ページの災害対策事務事業のところ、防災会議委員等報酬の3万5,000円とありますが、この委員はどなたがということと、それから、その下の防災専門員の報酬のところがあるんですが、この方がどの方か、それで、どこに常時おられるか教えてください。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 答弁願います。

川島部長。

○市民生活部長（川島康孝君） 防災会議委員は23人いまして、基本的には、県とか、国とか、それから、ライフラインの事業者とか、それから、市内の関係団体、ボランティアも含めて、そういう関係する方が委員になっておりまして、うち報酬は7名の方が受け取っておりまして、1回5,000円で3万5,000円という形になっております。

それから、防災専門員につきまして、防災防犯対策課のほうで退職自衛官の方を任用し

ております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ふだん何されてるかというのも何か聞いてました。日頃の活動ですかね。

部長。

○市民生活部長（川島康孝君） ふだんから防災の啓発、それから、防災倉庫の維持管理等、自衛官の知見を生かし活動していただいております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） これにて9款 消防費の質疑を終わります。

会議の途中ではありますが、ここで13時10分、1時10分まで昼食のため休憩といたします。

午後零時8分休憩

午後1時10分再開

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を始めます。

続いて、10款 教育費について説明を願います。

浅井教育部長。

○教育部長（浅井俊一君） それでは、10款 教育費の主に増減のあるものについて説明させていただきます。よろしく願います。

まず、実績報告書によります。実績報告書の73ページをお願いします。

中段、10款1項 教育総務費、3目 教育振興費は、前年度比約1億5,000万円の増額でございます。主な理由は、新入学祝金事業等の新規事業のほか、会計年度任用職員等の人件費が増加したことによるものでございます。

76ページをお願いします。

同じく、10款2項 小学校費、2目 教育振興費は、前年度比で約4,330万円の減額でございます。主な理由としましては、令和5年度では、小学校の教科書改訂に伴う教師用の教科書、指導書を購入しましたが、令和6年度では、その当該事業がなかったというところでございます。

それから、78ページをお願いします。

3項 中学校費、2目 教育振興費は、前年度比で約1,560万円の増額でございます。主な理由は、中学校の教科書改訂に伴う教師用の教科書、指導書等の購入をしたためでございます。

続きまして、81ページをお願いします。

中段、4項 社会教育費、3目 図書館費は、前年度比で約2,000万円の増額でございます。主な理由は、正規職員や会計年度任用職員などの人件費の増額によるものでございます。

続いて、86ページをお願いいたします。

5項 保健体育費、1目 保健体育総務費は、前年度比で約2,240万円の増額でございます。主な理由としましては、令和6年11月23日にJRA中京競馬場で行いましたとよあけダービーマラソンの開催の委託料でございます。

続いて、87ページをお願いいたします。

下段、2目 体育施設費は、前年度比で約1億1,880万円の減額でございます。これは、令和5年度、6年度と山田グラウンドの用地を購入いたしました。6年度に購入した面積が5年度と比較しまして小さかったことによるものでございます。

88ページをお願いいたします。

中段、3目 学校給食費は、前年度比で約1億1,740万円の減額でございます。主な理由は、前年度に実施しました新給食センター用地購入に関連する費用の皆減によるものでございます。

以上で説明を終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） よろしいですね。

説明は終わりました。

10款 教育費について質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告の73ページです。2目 事務局費で事務局事務事業ということで、学校巡回弁護士委託料66万というのがあるんですけど、これで問題があったのは何件あったんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永学校教育課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 相談実績としては、25件ございました。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございますか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今の巡回スクールロイヤーですけども、内容としては、どういう内容が多かったのかっていうことと、子どもの権利擁護に関する相談というのはあったんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） この学校巡回弁護士委託料については、これは、保護者とのトラブルですとか、家庭同士のトラブルであったりとか、そういった子ども向けのものではなくて、教員が保護者対応等の際に法的な視点から解決を求めるもので、指針、アドバイスをもらうことで自信を持って対応に臨むことができると、そういった内容でございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 25件で解決したっていうのが、どんだけになるんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 解決といいますか、どういうふうな対応をしたらいいかということなので、訴訟のようなそういった問題事案というようなものではなくて、その対応方法についてのアドバイスを受けるというものでございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 なので、先生からは相談できるけど、子どもとか保護者は、そういう法的な相談とかは受付とかはできないと、そういう場所はないっていう、先生のためだけのものだけということですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 基本的には先生のため、先生がどういうふうに対応するかということのアドバイスということでございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） いや、そういう……。生徒さんのほうはない、システムはないのかとかっていうこと聞いてると思います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） この学校巡回弁護士委託料の委託内容というのは、学校の先生が保護者対応等のときにどのように対応すべきかという法的な視点のアドバイスを

受けるというものでございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 了解。

岡島委員。

○岡島ゆみこ委員 実績の74ページの教育相談事業なんですが、学びの環境充実事業、こちらなんですけれども、教職補助員の配置とかフリースクールの設置で、児童生徒の学校適応などの、どの程度寄与したというか役に立ったのか、また、成果を図るために何か指標とか評価方法とかがあるんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） この学びの環境充実事業というのは、中学校校内フリースクールの設置という事業でございます。登録者としては、44名の登録がございました。一方で、これ、中学校なんですけれども、中学校の不登校の数自体は減っているのです、それは、一定程度、その校内フリースクールの効果があったものだというふうな認識でございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございますか。

武谷委員。

○武谷としお委員 実績報告書73ページの英語検定受験料補助金です。これ、数字を知りたいんですけれども、小中、高校生別で実績の人数、今までの累積人数も併せてお願いしたいです。

（武谷委員、マイク、近づいての声あり）

○武谷としお委員 ごめんなさい。大変失礼しました。

実績報告の73ページの英語検定受験料補助金です。小中、高校生、それぞれの実績と今までの累計の人数をお願いいたします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） まず、令和6年度の実績ですが、小学生が28人、中学生が105人、高校生が41人の合計174人で、昨年度より36人減っておるんですが、ごめんなさい、累計となると、ちょっとそれを足さなきゃいけないので、すぐちょっと計算ができないんですけれども、昨年度より36人の減少が174人で、昨年度が174、プラス36人ということになります。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 その下の下かな、新入学祝い金の補助で資料1の6があるんですけど、これで505件、93%ということで、これからいうと、利用者対象者数は543でいいんですかね、確認です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 対象者数は、543人という計算でございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 その中の三崎小学校の数字って、分かります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） その学校別にはちょっと出していないので、今、手元に数字はございません。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 今回の入学祝い金のことですけども、これ、昨年度で、どういうものを購入というか活用してる人が多かったのかということと、あと、この7%の方が利用してないってということなんですけど、これ、利用しなかった理由とかそういうのは、つかんでますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） まず、どういったものを買ったかというのですが、やはり、その子どもさんの洋服ですとか文房具ですとか、そういったものがやっぱり多いものでございます。

あと、その利用されなかった理由っていうのは、これ、申請主義、申請方式ですので、我々として周知としては、広報とか、ホームページとか、学校からのeメッセージ等で周知はしておるんですけども、そうであっても申請がなかったということでございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ふじえ委員。

関連。

（関連ですの声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 この入学祝い金ですけども、例えば、その市外の学校に入学したりとか、あと、不登校で学校に行けてなかったりとか、あとは、年度途中で転出とか、そう

いったことも利用は可能なんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） まず、市外の学校に通ってらっしゃる方も、当然、利用は可能です。

あと、途中で転出の場合なんですけれども、基本的に交付を受けることができる人というのは、入学式に住民票があって、なおかつ、申請時に、申請する際に住民票がある方ですので、申請後に転出された方は、それはそれで問題ないというふうに考えております。

以上でございます。

不登校の方も、当然、申請があれば、受け取ることは、対象となることができます。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 確認ですけど、申請時に、その買ったレシートと、これ、住民票とチェックしてらっしゃるということでしたっけ。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 住民票もチェックしております。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 関連です。私もこの制度、公平公正のためにちょっと確認したいんですが、市内に住民票があり、市内に住んで、市内の学校に通ってる、これは当然オーケーで分かります。市内に住民票があるんだけど、実際には市外に住んでみえて、市外の学校に通ってる方、この方もオーケーなんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 市内に住んでいて市外の学校に通ってる方は、オーケーです。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 市内に住所はあるんですけど、市外に住んで、市外の学校へ行ってる人。

（発言する者あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 基本的には、住民票で確認をしておるものですから、実態がどこにあるかというのは、ちょっとなかなか分かりかねるところがございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員　じゃ、そこまでは確認はされてないというふうでいいかね。

(はい、そのとおりですの声あり)

○ふじえ真理子委員　あと、その7%の部分について、もちろん制度があることを知った上で使う使わないは自由なんですけども、その制度を知らなかったっていう人は、いないというふうな理解でよろしいでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君）　我々としては、できる限りの周知はさせていただきました。学校からの周知も、ホームページも、広報も。その上で、それをされなかったのが、理由が、それは、そういう意思がなかったのか知らなかったのか、そこは、それは聞いてみないと分からない部分ですので、そこは何とも言えないというところでございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　ほかにございませんか。

林委員。

○林　ゆきひろ委員　73ページの真ん中のプレクラス・プレスクールのところですけども、6年度の利用している児童生徒の人数と、二村台小学校以外はどれぐらいいたのか、お願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君）　まず、プレクラスが35人です。プレスクールが26人です。

学校別でいうと、プレクラスのうち、二村台小が25人ですので、それ以外の部分が二村台小以外ということになります。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　ほかにございませんか。

副委員長。

○郷右近　修委員　実績報告書73ページ、10款1項3目　プレクラス・プレスクールが令和5年度決算に比べて400万円増額しているのは、児童数については、恐らく、外国籍住民の方の増加を考えると、その児童数も増加していて、なおかつ、単価についても上昇しているというその掛け算の結果かと思うんですけど、そういうことなんですかね。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君）　実際にプレクラスでの人数は、令和5年度より10人ほど減っています。プレスクールのほうは3名ほど増えているんですけども、一概に人数が増えたというわけではありません。ただ、人件費のほうはかなり上がっているというところ

ろで委託費も上昇しているというところでございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 今のところで人件費がっていうことですが、指導員自体の数っていうのは変わってないんですか。その配置は、増えたりとかはしてないんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） NPO法人に委託をしていて、そのNPO法人が、その事業のためにどれだけの人数を押さえているかというのは分かりませんが、ただ、プレクラスの授業をやる人数というのは変わっていません。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 今のプレクラスの下のところなんですけど、2番のいじめ・不登校対策ということで、スクールカウンセラーを県の配分に追加して配置っていうんですか、その配置の基準を教えてください。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 基準と申しますと、ちょっとなかなか難しいんですけれども、その時その時の状況に応じてスクールカウンセラーの方を配置する必要があります。県の方の相談時間数だけでは足りないものですから、ですので、市費で、例えば、同じAさんという先生でも、何時間、プラス市費で何時間、県の時間が何時間、プラス市費で何時間というような形での加配をしておるというところでございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 今のスクールカウンセラーのところ、これ、前年よりも増えてるのは、たしかスクールカウンセラーの増員があったと思うんですけども、もともと県で何人配置されていて、市で何人追加されてるんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 県で5人で市で1人、市のみの方が1人いるんですが、ただ、その残りの5人の方に対して、県で何時間分、市で何時間分というふうに加配をしているので、一概に人数というわけではなくて、いろんな先生方の時間で加配をしているというような理解でお願いしたいと思います。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 ちょっと確認ですけど、その県の人も、その1人の人が時間によって県から出るものと、その市から出るものっていうふうにあるっていう、そういうことなんですかね。そうすると、その人は、県からももらってて市からももらってるみたいな、そういう形になるんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） そのとおりで、例えば、あるAさんというスクールカウンセラーでいうと、県で236時間、市で120時間というような形でのお支払いの仕方をしております。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 堀内委員。

○堀内ちほ委員 じゃ、このスクールカウンセラーのこの6名の方っていうのは、学校に常設ではなくって、日替わりみたいな感じで回られるっていうことですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） そのとおりでございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 堀内委員。

○堀内ちほ委員 現在、そのいじめられてるっていうことは、把握はできてるんですか、市のほうでは。小学校とか中学校で明らかにいじめられてるっていう数っていうのは、把握はされてるんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） いじめの認知件数というのは数字で把握しております。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 今の関連で、数字を小学校と中学校、あと、もし重大事案があれば、その件数もお願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 令和6年度で小学校で28件、中学校で30件、重大事態ですと、小学校がゼロ件、中学校で3件となっております。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

堀内委員。

○堀内ちほ委員 その中学校の3件っていうのは、もし差し支えなければ、もうちょっと

詳細を教えてください。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） これにつきましては、詳細はお答えは差し控えさせていただきます。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 副委員長。

○郷右近 修委員 答えられるような形で尋ねてみようかと思うんですけど、その3件に対する令和6年度実績の何らかの対応とか対処というところでは、どんなあんばいになったかというのは答弁していただけるでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 大丈夫ですか。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 対応状況ですが、おおむね解決済みというところはあるますけれども、一部は、経過観察という部分もございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績の74ページの先ほどの学びの環境充実で校内フリースクールの件です。資料ナンバー2の②で実際の来てる人数、中学生の人数があるんですけども、まず、これ、配置されてる先生は、これは、各校に1名ずつっていうことなんですかね。

それから、その方は、どういった方なのかということと勤務時間等も教えてください。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 配置されている数は、学校によって違いますけれども、豊明中学校で1名、栄中学校で2名、沓掛中学校で2名の合計5名を配置しております。

勤務時間は、8時15分から16時30分の中で、それぞれ6時間働かれる方もいらっしゃる、4時間であったり2.5時間であったりという方もいらっしゃるということでございます。

ごめんなさい。あと、どんな方がというのは、教員経験者というところをお願いをしておるところでございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 これは、その採用というかその配置している人は、やっぱり教員のOBっていうので決めてやってるんですかね。やっぱりなかなか学校通えない不登校の子

は、その先生が苦手だったりとか学校に対してちょっと拒否感感じているので、何かその先生のOBというだけじゃなくて、いろんな方も配置したほうがいいのではないかなと思うんですけど、そのあたりは検討をされましたか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） まずは、令和6年度から始まっております。ですので、子どもさんに対して、その指導をする力量といいますか、それが確実であるのは学校の先生ですので、その方にまずはお願いしておると。当然、それだけではなかなか難しいことであれば、検討の余地はあるのかなというふうには思います。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告の74ページの真ん中辺のところですね、教育振興事務事業の4番目の教育業務支援員配置事業ですか、これ、教員業務支援員を全小中学校に配置ということで、これは全員で何人になるんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 全員で13人、小中学校合わせて13人ということでございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 それで、内容的には授業補佐というそんな感じになるんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 教員業務支援員は、教員補助と違いまして、授業のサポートというよりも、例えば、授業準備のサポートですね、コピーをしたりとかそういった部分が主になります。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 武谷委員。

○武谷としお委員 実績報告書74ページと資料ナンバー2の4です。児童クラブの人数なんですけども、栄児童クラブのほうで5年度も定員オーバーしている、令和6年度も結構大幅に定員が増えてる、定員に対して登録人数が増えてるんですけども、この登録人数に対して何か……。昨年も今年も増えてるんですけども、何か対策というのはされなかったんでしょうか、お願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 登録人数自体は基本的には待機はさせないという方向性でやっておりますので、希望者は全て受け入れるという方向でございます。その分、部屋を何とか確保しながら対応しているというところでございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告の75ページの真ん中辺のこの4番、学校体育施設スポーツ開放事業なんですけど、これ、小中学校の体育館とか運動場を開放しているっていうことで、去年あたりからオートロックを設置してるんですけど、そういったことで、校内施設、その不具合というかそういうの、ないんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 特に登録されているスポーツ団体さんから苦情というかそういったのを聞いておりません。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 ていうのは、オートロックは、夕方ぐらいから解除しちゃうってことになるのですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） オートロックはテンキーで解除できるものですから、利用される方には、そのテンキーの番号を教えているということでございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 子どもが、その夕方以降、遊びに来るとかそういうのは、遊べないんですか、もうロックかかって。どういうふうな状況ですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

浅井部長。

○教育部長（浅井俊一君） 基本的には学校が開いている時間帯という形になりますので、意図的に閉めているところでは遊べないという形になるかなというふうに思っています。どうしても中で管理する人は、やっぱり開けるための人が要りますので、何もなしで開けている状態というのは少し難しいところがあるかもしれませんので、一応、今、開いているというところで、子どもたちが勝手に開けて入るということは、一応できないような形になっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　こんどう委員。

○こんどうのぶお委員　今の開いてる時間って、具体的に何時になるんでしょう。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　答弁。

浅井部長。

○教育部長（浅井俊一君）　特に時間を決めて開けているという……。もう開いている時間帯に子どもたちが遊んでもらうという形になるかと思います。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　林委員。

○林　ゆきひろ委員　その、まず、運用っていうのは、全学校で統一をされてるのかっていうことと、その土日とかも遊びに来る子もいるかなと思うんですけど、そういうときも、先生がいれば開いてて、いなければ閉まっているというような、そんなふうな運用なんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　答弁願います。

浅井部長。

○教育部長（浅井俊一君）　基本的には、そのような運用にしかちょっとできないのかなというふうに思っております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　浅井委員。

○浅井たかお委員　実績報告書の74ページの教育相談事業の4番目、みんな元気かなプロジェクト事業のところですけど、ここに、市内中学校を卒業した、3中学校を卒業した生徒に年2回はがきを送るって書いてあるんですけど、これは、卒業してから1年間のみ2回送るっていう意味なのか、その後、何年か続けて送るのか、どういうこれは考え方すれば……。考え方というか捉え方をすればいいでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君）　1年間のみの対応でございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員　今のの関連です。これ、去年も同じこと聞いたかもしれないんですが、はがきであるその必要性とか、その事業の、年2回送ってるんですよ、事業の検証を、どなたが、どのように行ってますか、送った。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） なかなか事業の検証というのは難しいんですけども、例えば、そのはがきをもらった子でも、反応として、ありがとうねっていう電話をくれる子もいれば、心で思っているけど、なかなか電話までできない子もいます。ですので、その受け取り方は、それ、児童、それぞれ様々です。ただ、その聞いた話によりますと、例えば、久しぶりに生徒と先生が会ったときには、この前、お手紙もらったよ、ありがとうございますというような、そういう特に会ったときにそういったお話、ありがとうございますというようなお声を聞くということも結構あるというふうに聞いてます。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 今の関連ですけど、実際、こういうものをもらって、電話やメールで悩んでいるっていう生徒の声が実際にあって、それを解決したっていう、そういう……。解決に至らなくても、そういった悩み相談というかそういったものがあつたかどうか教えてください。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 実際に何件かはあるようで、それは、その学校の先生にかかってくるというよりも、フレンドひまわりのほうかかってきて、実は、こうこうこうなんですというようなお悩みをいただくというようなことがあるというふうに聞いてます。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかに。

清水委員。

○清水義昭委員 同じところで聞きたいんですけど、みんな元気かなプロジェクトですけども、どんなような悩みのものがかかってくるのかっていうのと、何件ぐらいあるのか、支援室、もし分かればお願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 奥平学校支援室長。

○学校支援室長（奥平 剛君） お願いします。教育支援センターのほうに電話が数件あつたっていうふうに聞いておまして、高校に入ってから友人関係で悩んでるとか、学習関係で悩んでるといったお話をして、そこにいる相談員と少し話をしたというところでございます。数件というふうに聞いております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 75ページの学校管理費の2番目ですか、学校用務員の方、15名配置ってということで、8校で15名という……。1校に2人ずつ見えるってことですかね。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 1校で基本的に用務員さんはお二人いらっしゃいます。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにござい……。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績の74ページの下の子童クラブの先ほどの武谷からの質問で聞かれてましたけども、栄児童クラブで、やはりその定員数に比べて物すごい多いんですけども、これ、1日の定員が110ということかなと思うんですけど、実際に、その1日で110人超えた日っていうのは、何日かあるんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） ほぼ平均でいいますと、80人から90人かなと、毎月の記録を見ると、それぐらいの規模での利用というふうに認識しております。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 多分、平均はそれぐらいなんだろうと思うんですけど、何かの行事のときだったりとか必要性が高まるそういうときに、110を超えてた日があったのかどうかっていうことなんですけど。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 110を超えてた日があった……。あったという記憶は、ありません。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 その日々の児童数だったりとかそれは、全部、報告は来てるんですよ、市のほうに。市のほうで確認はされてるんですよ。

ちなみに、それ、超えた場合は、どういうふうな運営をされてるんですか。多分、その児童クラブ自体の基準があると思うんですけど、広さとか人数配置とか、そこもしっかり確認されてますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 基本的には広さという基準があります。1人当たり1.65平米を確保する必要があるんですけども、その1日の平均利用で見ると、当然、部屋には余裕がありますし、どうしてもそれが確保できない場合には、例えば、基本的には栄は1階の部屋を使っておるんですけども、例えば、3階の部屋を使ったりとか、3階の特別教室ですね、図工室だったりとか、そういったところに対応するというような形になるかと思います。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） あと、配置員の人数と市役所に連絡が来てるかということです。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 月報で必ず報告はありますので、何人の利用があったかという報告はあります。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございますか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告の75ページの学校管理費、下のほうですけど、4番目のオートロック設置工事、二村台小学校ほか1校、どこでしたっけ。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 栄小学校でございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 75ページの上の放課後子ども教室ですけども、これも、これは二村台小や大宮小で登録人数が結構減ってきてます。ほかの放課後子ども教室も結構減少傾向にあるんですけども、この要因は何か分析されてますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 児童クラブのほうは結構増えているので、お母さん方のお仕事が増えて、例えば、放課後子ども教室じゃなくて児童クラブに入れるとかということもあるのかなというふうに考えております。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございません……。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 ちょっと分かりにくかったですけど、放課後子ども教室が減ってる理由をちょっと聞きたいんですけど、どういうふうに。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 人数が。

○林 ゆきひろ委員 人数が、はい。登録人数が結構減少傾向が激しいんですけど。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） よろしいですか。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） なかなかその分析については難しいです、なぜ減ってるのかというのは。ただ、横ばいというか増えてる、微増ですが増えてるところもありますので、一概に全体的に減ってるという部分ではないのかなということと、大きなその苦情というの、放課後子ども教室にというの令和6年度時点では入っておりませんので、その親御さんの考え方なのかなというふうに思います。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 浅井部長。

○教育部長（浅井俊一君） 補足いたします。年度でやはり学年が変わると、高学年になるとだんだん減ってくんですけども、その家庭の実情で、放課後子ども教室に通いたいという子がいる、いないというのは、結構、実は差がばらつきがあるかと思えます。先ほどの登録人数のほうも増えているところも実際ありますので、このあたり、ちょっとそのあたりの毎年のずれというのは必ず生じてくるものではないかなというふうに思っております。よろしく願いいたします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告の77ページ、一番下のとこなんですけど、老朽化した使えなくなった備品の買換えということで、内容と、その金額を教えてください。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

（発言する者あり）

○こんどうのぶお委員 77ページ、一番下の備品の買換え、品目と金額です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 内容については、備品としては、例えば、机ですとか清掃器具であったり、あるいは、その備品でいうと階段昇降車というのがありまして、豊明中学校に設置したんですけども、そういったものが特筆してありますというところでございます。

（金額の声あり）

○学校教育課長（秋永亘正君） 金額が、ちょっと、すみません、後ほどお答えします。すみません。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） これ、あれですね、こんどう委員に確認、6番の老朽化して使用できなくなった備品の買換えを行いのところにかかっている金額ということでは、よろしいですね。お願いいたします。

鈴木委員。

○鈴木智和委員 同じく、77ページの中段辺りに中学校プロジェクター型電子黒板ってあるんですけども、一度、御説明聞いてるかもしれませんが、もう一度、お聞きします。何台で、耐用年数は何年くらいを見込んでいるか教えてください。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 台数については、3中学校で63台です。耐用年数については、できるだけ使いたいというところで……。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） まあまあ、それはそうだ。

○学校教育課長（秋永亘正君） そういったところで耐用年数が来たら換えるというものではないという理解でございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 鈴木委員、よろしいですか。

○鈴木智和委員 分かりました。ありがとうございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

青木委員。

○青木けんじ委員 実績報告書の76ページと78ページにわたるんですが、小学校教育振興補助事業と中学校教育振興補助事業の共済掛金負担金、こちらのほうで、実際に学校管理下で負傷、疾病等でこちらのほうを活用した事例というのは、あるんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） これは、比較的日常的にあるんですが、ちょっと、今、その何件あったかというのは、ちょっと、今、お手元に数字がございません。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 後ほどでよろしかったですか。

○学校教育課長（秋永亘正君） ちょっと時間がかかるかもしれないので。これは、そんなレアなものではなくて、日常的に。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 後で、じゃ、それで大丈夫です。

ほかにございませんか。

岡島委員。

○岡島ゆみこ委員 実績の79ページなんですけれども、どっか行っちゃった……。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） どうぞ、ゆっくり、大丈夫です。焦らず探してください。

○岡島ゆみこ委員 ちょっと待ってね。書いてあるけど、ちょっと待ってね。これだ。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） いいですよ、ゆっくりで。

○岡島ゆみこ委員 すみませんね。

（本当にゆっくりだなの声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 大丈夫。ね、聞きたいことあれば。

○岡島ゆみこ委員 生涯学習教育振興の講座数と参加人数と、その下の成人教育なんですけれども、市民講座が令和6年度は1回以外は全部同じ南部公民館で開催されてるということはいいことだと思います。ですが、参加人数なんですけど、9名から41名と大きな差が見られるんですが、この点について、講座内容の選定や大学との打合せとか、過去の人気の講座とかの検証などは行われているのでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 山田課長。

○生涯学習課長（山田隆貴君） まず、出前講座のほうのメニューの数ですが、令和6年度は53です。回数につきましては、33回行っております。

大学講座につきましては、こちらに書いてあるとおり、各大学、2回ずつの計10回行ってございまして、人数に差があるのは確かでございます。やはり人気のある講座と、そうでない講座がありまして、昨年度ですと、80ページのところにあります、この一番上にあるやつ、愛知県立芸術大学の琳派の系譜と王朝物語ということで、これ、非常に華やか絵を基にした講座なんですけれども、こういったものは非常に人気がありますので、来年度以降も人気のある講座の1つというふうに参考にしていきたいと思います。あと、その下名城大学さんがやっていただいた心理学っていうのも比較的人気のある高い講座であるという認識をしておりますので、こういった講座については、引き続き続けていきたいというふうに思っております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 関連、こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 今の……。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） まだ続いていた。

○こんどうのぶお委員 いいですか。

○生涯学習課長（山田隆貴君） 続いてない。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 続いてないでしょう。

（さっきの備品購入費についての声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 課長、先にお願ひします。

○学校教育課長（秋永亘正君） すみません、中学校の備品購入費ですけれども、トータル金額で590万8,798円となっております、主なものとして、先ほど申し上げました中学校の階段昇降機については、階段昇降車については378万4,000円で、例えば、教員用の机であると86万6,000円ほどであったり、中学校でいうと34万3,000円ほどのものが主に購入された備品でございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 先ほどのこれの大学の講座ですか、これ、10講座あると思うんです。各講師の費用って、どのぐらいなんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 山田課長。

○生涯学習課長（山田隆貴君） こちらは、ちょっとまちまちとなっております、無料でやっていたところもありますし、実費負担分が必要なところにつきましては、少しですけれども負担のほうをしているという部分もあります。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 一色委員。

○一色美智子委員 今のところなんですけれども、すばらしいちょっと講座をやっているんですけども、その割には受講生が少ないかなって感じがするんです。これ、PR等は、どのようにやっているのか、ちょっとお聞かせください。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 山田課長。

○生涯学習課長（山田隆貴君） こちら、通常の広報とホームページですね、あと、チラシ等でやってはおるんですけども、確かにいい内容はあるんですけども、委員御指摘のとおり、ちょっとPR不足かなってところありますので、今年度は、もっとしっかりやっていきたいと思っております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかに。

浅井部長。

○教育部長（浅井俊一君） 補足です。南部公民館でやっているっていうところも実はあ

りまして、どうしても、よくても、例えば、その100人集まるかという100人入らないので、そういったところもありますので、そのあたりも含めて、また今後も検討してきます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 資料ナンバー2の②で、フレンドひまわりや校内フリースクール、あと、市内外のフリースクール等のニーズ出していただいたんですけど、あと、ほかにも別室登校とか保健室登校の子もいると聞いてるんですけど、その人数っていうのは把握されてませんか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） これは、6年度の会計に関係……。

○林 ゆきひろ委員 6年度のその登校の。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） まず、そのデータの的にそれを取っとるわけではないんですけども、現時点で。ですけども、まず、保健室登校については、ほぼほぼないという状況です。別室登校については、小学校で数人ほど、中学校、ある中学校だと、ちょっと十数名を超えるような形で利用されてるということを聞いております。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 決算書の114ページで下から3番目かな、公民館講座委託料ってあるんですけど、これ、どちらで払ってるんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 山田課長。

○生涯学習課長（山田隆貴君） こちらですが、市民大学ひまわりに講座のほうを委託しておりますので、そちらへの委託料というふうになっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 資料ナンバー2の①です。不登校、欠席日数が年間30日以上の一覧、出していただきました。これって、学年別でっていうのは出ますでしょうか。傾向とか見たいんですが。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 学年別でいいますと、小学校で、傾向的に言いますけれども、低学年は、1、2、3年生は10人未満になってます。4、5、6年生は、10人以上、20人未満というような形での不登校となっております。中学校については、やはり1年生が

比較的少なく20人台で、2年生、3年生が40人台というような形になっております。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 課長、確認です。これは、令和2年から令和6年の平均か、令和6年度のみものものを言ってるのか。

○学校教育課長（秋永亘正君） 令和6年度のみものものを言っております。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 分かりました。

ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 決算書の107ページです、決算書の107ページ。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 107ね。

○ふじえ真理子委員 3目 教育振興費の真ん中から少し下、協同の学び推進事業委託料99万です。昨年度より少しちょっと増やしているわけですが、これも、もう10年以上かな、10年ぐらいたっているわけですが、何をもって、どういうふうに、この学びの、協同の学びの成果というか、もう10年ぐらいたってますので、どういう指標でというか、令和6年度、どういうふうな成果を見えていますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 奥平室長。

○学校支援室長（奥平 剛君） お願いします。協同の学び推進事業のその成果っていうのに関しては、子どもたちが個別最適化というか協同的に学べる授業を展開していくっていうところで、どれをもって成果っていうのは難しいんですけども、子どもたちが、その協同の学び、みんなで話し合いながら問題を解決してく授業が展開されるように、学校全体、市全体で、今、取り組んでいるっていうところです。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 先ほどの資料請求した不登校だとか、いじめだとかっていうのの数とのその関連性で考えるわけですけども、その協同の学びが本当に充実しているのであれば、要は、その受け止めてくれる、その自分の素が出せるというのか、その協同の学びが本当の本当に充実して発展していくことによって、学校に居場所がある、要は、給食でも放課でも何でもいいんですけど、学校にほっとする時間、空間、場所があれば行くと思うんですよ。なので、この不登校の人数が、ずっと多少の増減はあるにしろこれだけあることと、この学びの共同、協同の学びとの関連をどういうふうに捉えて、6年度、そういった議論っていうのは、されたりしてるんですかね。

（難しそうの声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 要は、協同の学び推進事業と、この不登校さ

んって、何かしら、そのつながり、もしくは、動きがあったか、成果あったか。

浅井部長。

○教育部長（浅井俊一君） 基本的に、この不登校対策、不登校の原因っていうのがたくさんあるという話は前からしておるんですけども、どちらかというと、生活面とかそういうような部分、それから、学校でのその対人関係みたいなところ、そういうものが多いのかなというふうに思っています。

協定の学びのほうについては、この物事の考え方というか学習の仕方というところにひもづいてる部分だと思いますので、関連があるかといったら、全くないわけではないかもしれませんが、大きくあるわけではないと思っていますので、その上で、この2つを関連づけて何かというところは、今のところ、ございません。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにござい……。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今のところの少し上にあります特色ある学校づくりの授業委託料、これも少しずつ増えているんですけども、これについても、どういうふうに、これ、成果っていうのは把握されているのか。何か効果測定等は、されているんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 特に、これについては、その効果測定というのはないんですけども、この特色ある学校づくり事業っていうのは、それぞれの学校で、例えば、お金の使われ方として、体験学習であったりとかそういったものに使われているので、その効果を測定するようなものとはちょっと意味合いが違うのかなというふうに考えております。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 そうはいつでも毎年350万というお金が出てますので、何かしら、どういう効果があったのかっていうのは確認すべきだと思うんですけど、そういうのはされてないんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） よろしいですか。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 基本的に、これは各学校に一定金額の配分でやっていただいています。その配分の中で、それぞれの学校で特に力を入れたいことに対して、そのお金を御利用していただいているので、それは、それぞれの学校は、その独自色を出すため

のものであって、その効果を、例えば、数的に表すとかというところは、なかなか難しいのかなというふうに思います。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 関連、堀内委員。

○堀内ちほ委員 例えば、どんな事業をされたんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 例えば、ある小学校さんでいいますと、支出項目でいいますと、例えば、ハッピーチャレンジまつり関係費用だったりとか、種とか稲とかのお金だったりとか、培養土を買うお金だったりとか、ICT機器整備に関するお金だったりとか、そういった形で、その学校それぞれ独自のその授業であったりとか活動の中で、この金額、このお金を活用してもらおうというものでございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにござい……。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 金額自体が増えていってるのは、学校からの要望をそのまま受けて、そういうふうになってるのか、そこはどうしてなんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 令和6年度で約66万円増えてるんですけども、これは、黄色の安全帽というのを、今まで学校で買ってるんじゃなくて、事務局のほうで、教育委員会のほうで買ってたんですが、それを各学校の配分の中で買っていただくようにしたところでの増加の理由でございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 関連。

じゃ、先に、いとう委員。

○いとうひろし委員 今の特色ある学校づくりなんですけど……。

何だったかな、忘れた……。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 後からで。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 そういったものは、消耗品とかそういうので買えばいいような気がするんですけど、なぜ、これ、特色ある学校づくりで委託でやってるのか。

それと、そういったものは、やはり毎年必要なのか。この6年度だけ、こういうふうに60万上がったということなのか、どういうふうなんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） まず、この黄色い帽子の購入費なので、なので、これは、学校側で黄色い帽子を使って児童に通っていただくということの方針が続く限りは、ずっと66万円はついたままになります。

その学校の要望というで上げるというよりも、一定、今、小学校、基本的に10万、中学校69万で配分してやってるんですけども、それについて要望ありますけれども、それぞれ購入金額が高くなっているの、なので、そのニーズにも合わせた形で毎年度毎年度検討するような形で予算を組むというような形になります。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） いたう委員。

○いたうひろし委員 今のその学校づくりですけども、これ、全ての小学校と中学校で実施されてるんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） それぞれの各学校に委託をしているというような形なので、全ての学校で行われているということでございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございません……。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 決算書の114ページ、真ん中辺の下の部分なんですけど、社会教育総務費か、その下から3番目の青少年健全育成モデル地区補助金なんですけど、モデル地区の場所と、あと、どういったことを行ったのかということと、あと、成果はどうでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 山田課長。

○生涯学習課長（山田隆貴君） こちらの補助金ですが、実は、令和6年度で終了となったものでして、令和6年度、これ、最後の補助金になるんですけども、こちらにつきましては、大脇区さんに対しまして、はそりのほうですね、はそりを補助金で買っていたという事業になります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） はそりって何だ。

○生涯学習課長（山田隆貴君） 成果につきましては、ちょっと正式名称を忘れてしまった……。

はそり、災害用の釜みたいなやつですね。ちょっと正式名称は失念してしまったんですけども、保護者の団体、おやじの会みたいな保護者の団体さんがそれを使いまして、子

どもたちと一緒に炊き出し訓練を行ったりとかそういったふうで、健全育成に役立っている事業となっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 山田課長が多分答弁したがつてるんで。

決算書の121ページです。体育施設維持管理事業の工事請負費、福祉体育館等営繕工事費、367万2,900円、これの内容を教えてもらっていいでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

山田課長。

○生涯学習課長（山田隆貴君） こちら、工事のほうは1、2、3、4、5……。5つほどありまして、ちょっと簡単に内容だけ御説明させていただきたいと思います。

まず、勅使グラウンドの駐車場の整備工事としまして、駐車区画のロープが切れてしまって、劣化で切れておりましたので、こちらを、まず、1つやりました。

2つ目が、山田グラウンドのトイレの目隠しスクリーンというものが破損しておりましたので、こちらも修繕をかけました。

3つ目が、これ、ちょっと緊急的なものに近いんですけども、福祉体育館の2階の男子トイレから汚水が漏水をしまして、1階の天井まで染みてしまいましたので、配管の修理と、あと、天井のやり替えをやっております。

4つ目が山田グラウンドのコンセント設置工事ということで、こちら、利用者の方からお話がありまして、グラウンドのベンチ、そちらのほうに電源が欲しいということで、グラウンドのベンチのほうにコンセントのほうを設置させていただいたものです。

そして、最後は、勅使のテニスコートの改修工事ということで、こちら、大体毎年1面ずつ更新をしてっております、今年度につきましても、1面をやり替えております。グリーントップというコートの舗装材、砂みたいなものですね、そちらに入替えを行ったり、あと、削れているとこ直したりとか、ラインの引き直しをやったりとか、そういったことをやっております。

以上です。

（じゃ、いいですの声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

関連、林委員。

○林 ゆきひろ委員 ちょっと確認ですけども、福祉体育館、指定管理だと思うので、そ

この今回のその工事、営繕工事との線引きは、どういうふうにされていますか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 山田課長。

○生涯学習課長（山田隆貴君） こちらの工事ですが、指定管理者の行っていただく工事は50万円以内の修繕工事の部分を行っていただいておりますので、そちらのほうとか、あと、本当にコンセント工事は、これ、50万超えていますので、山田グラウンドの目隠しスクリーンとかそういったグラウンドの部分については、こちら生涯学習課のほうで修繕費で対応しているものもあります。基本的には、50万以上の福祉体育館の中の破損とかそういったものが対象というふうになっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 若干、関連してます。実績報告書88ページ、体育施設の利用状況です。先ほど、勅使のテニスコートのほう、毎年1面ずつ、若干のその補修をかけていく必要があるよということで、これ、利用状況を見ると、勅使のテニスコートが4万1,849人とありますが、これ、利用者数としては多いと思いますかね。施設自体、これ、必要だと思いますかね。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 答弁願います。

山田課長。

○生涯学習課長（山田隆貴君） 施設の利用者数4万1,000人ということで、恐らくそれなりに多いとは思いますが。施設としても、この前、日曜日も、ちょうどこの勅使グラウンド、私、行ったんですけども、本当に皆さん使われておりましたので、施設としての必要性は高いと思いますし、あと、市外からの予約とかでかなり予約のほうも埋まっている状況ですので、人数としましては盛況ではないかというふうに思っております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書の84ページの上の豊明文化広場、勅使会館のことと、ちょっともう一つ、同時に聞きますけど、85ページ真ん中、文化会館の利用状況ですけども、どちらも、結構、利用件数、人数が減ってきてる。両方とも指定管理で出してると思うんですけども、この減少してる現状について、どういうふうに対策をしているか。この文化会館のほう、民間ノウハウを生かした運営って書いてあるんですけど、どういうふうな民間のノウハウが生かされているんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 山田課長。

○生涯学習課長（山田隆貴君） 順番にお答えをしていきたいと思っております。

まず、文化広場のほうですが、こちらの利用人数につきましては、委員の指摘のとおり
に確かに毎年少しずつ減ってはきております。ただ、いろんな利用の仕方があると思いま
す。例えば、デイキャンプ場というのは、なかなかこの辺にはない施設だと思えますので、
指定管理者と協力して、そこのあたりは、もう少しPRできたらなというふうに、今、感
じておるところです。

そして、文化会館のほうですけれども、こちらにつきましても、利用者数、これは昨年
もちょっとお答えしておったと思うんですけれども、利用件数と利用者数、これ、割り戻
すと、恐らく1回当たりの回数が少ないもんでという感じだと思うんですけれども、私が
生涯学習課のほうに来まして指定管理者とも話をしておりまして、例えば、1人で文化会
館の大ホールを30分1,000円で貸し切れるといったような事業をやっていたりとかしてい
ます。これ、あまり見ない事業だと思ひまして、例えば、ピアノの練習をコンサートの場
数を、場数を踏むため、慣らすためにやったりとかそういうこともありますので、一概に
利用者数が減っているから利用率が下がっているとかそういうわけでもなくて、一定の役
目を果たしているのかなというふうに感じておるところです。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） あと、民間ノウハウのところですね、委託業
者とか。

○生涯学習課長（山田隆貴君） すみません、民間ノウハウの部分ですけども、先ほどの
1人でステージを独占するというのも、なかなか行政が思いつくところでもないと思ひま
すし、あと、自主事業で、大ホール、小ホール、それぞれ呼んでるアーティストさんに合わ
せまして、ほぼ大ホールと小ホールで自主事業をやった場合は、大体8割以上埋まってお
りますので、その集客人数に合わせて施設が無駄なく使われているのは、効率よく使われ
ているあかしかなというふうに感じております。

以上です。

（関連での声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 関連。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 まず、文化会館のほうは、そもそも、その1人で借りるっていうと
こもあるかもしれないんですけど、件数自体が減ってるということは、やっぱりその利用
してる人は少ないと思うんですけども、そのあたりをどういうふうに対策しているのかと
いうことと、あと、先ほどのその勅使会館のほうは単純に減少してきているので、ここは
民間としてのノウハウっていうのは生かされてるんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 山田課長。

○生涯学習課長（山田隆貴君） 確かに、減っているという実績はあります。ただ、工夫次第では、これは伸びるというふうに感じておりますので、ここから、また指定管理者と、まだ指定管理者2年目になりますので、文化会館は2年目の指定管理者になりますので、しっかり館長とかと打合せをしながら、もっと魅力的な施設になるようにやっていきたいと思っております。

文化広場のほうにつきましては、指定管理者の更新は令和6年度に行われましたので、こちらにつきましては、ノウハウはあると思います。月曜日、文化広場のほう、実は開館しておりまして、そこで勅使グラウンド等も使えるようになっておりますので、そこら辺をしっかりPRできれば、もう少し利用率が上がるんじゃないかというふうには考えております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 関連。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 今のとこの大ホールのひとりじめっていうのは面白い企画だと思うんです。これの利用率とか分かるんでしょうかというのと、あと、会館のほうなんですけど、勅使会館203件あるんですけど、これ、和室の利用分は何件ぐらいあるんですかね。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

山田課長。

○生涯学習課長（山田隆貴君） 大ホールひとりじめにつきましては、申し訳ありません、件数はちょっと把握はしておりませんが、コンサートピアノが使えるといったこういったチラシのほうもございますので、それなりには使っているんじゃないかというふうに感じております。

203件の和室のほうなんですけれども、数が手元にあり……。ありました、すみません、ありましたので……。和室につきましては、利用件数が、和室のAとBというところがありまして、ほぼほぼ全部和室です。和室のAというところが83件、和室のBが120件で合計203件というふうになっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございます。

武谷委員。

○武谷としお委員 先ほど、部長から説明があった山田グラウンドの件です。毎年、山田グラウンドを買っていると申すんですけども、あと残り何平米とかあるんでしょうか、お願

いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 山田課長。

○生涯学習課長（山田隆貴君） 山田グラウンドですが、あと残り未買収のところは、1筆で266平米となっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） よろしいですか。

皆さん、まだ相当ありますか。ありますね。

それでは、ここで一旦休憩、10分の休憩といたします。

午後2時16分休憩

午後2時26分再開

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

それでは、質疑のある方は挙手願います。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 決算書の118ページの文化広場管理事業の指定管理料が、1,036万3,000円とあります。これ、昨年度から倍近く上がってるんですが、何が変わったんですかね。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 山田課長。

○生涯学習課長（山田隆貴君） こちらの指定管理料ですが、併せて、決算書の121ページの福祉体育館の部分の指定管理料ともちょっと関連がしてくるものになりまして、実は、昨年度まで、文化広場の人件費につきましては、こちらの体育施設のほうで上げられておりました。その人件費というのが500万ちょっとぐらいですね、それぐらいの金額で、こちら、文化広場につきましても指定管理料をちょっと明確にするということで、こちらのほうに予算を組み替えたというような感じですが。指定管理としましては、6年度から代わっておりますので、もちろん人件費とか物価高騰で上がってる分もありますけれども、こちらの500万ぐらい高くなってるものにつきましては、もともと体育館のところに従来あったものが、こちらの文化広場費のほうに金額としてはついておるといふものに、そういう解釈となっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 清水委員。

○清水義昭委員 同じ文化広場ですけども、実績報告書の84ページの一番上ですかね、大

幅に増えているというのが今の理由だったと思うんですが、たしかこの勅使会館は、宿泊をなくしたと思います。その理由のうちの1つが人件費がかかるのでっていうことだったと思うんですけど、その宿泊をなくしたことによる委託料は、どれくらい減ってるのか積算できてますでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

山田課長。

○生涯学習課長（山田隆貴君） ちょうど指定管理の替わり目になっておりまして、5年度までが宿泊があったと思ひまして、6年度からが廃止になってると思ひますので、申し訳ありませんけど、ちょっとその部分の細かい金額については持ち合わせがありません。申し訳ありません。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 一応、下がってるかどうかだけでも分かりますか。

（それが分からないの声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 分からないか。じゃ、大丈夫です。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほどの説明ですと、福祉体育館の人が文化広場のほうで、なんで、そっちのほうに費用が上がったという説明だと思ひんですが、この決算書121ページの真ん中辺りの指定管理料を見ますと、こっちのほうも上がってるんです。6款、これも1,000万近く、900万ぐらい上がってるんですけど、それだと数が合わないというか、どっちも上がっちゃってるんですけど、どうしてですか、それは。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 山田課長。

○生涯学習課長（山田隆貴君） ちょっと替わり目だということを理由にしてはいけないとは思ひんですけれども、指定管理が実は、通常ですと5年間で指定管理を結ぶところ、福祉体育館につきましては、今回、3年で結ばせていただいたと。大規模改修っていうのがちょっと頭にあったもんですから3年で結ばせていただいておりますと、そうすると、やはり改修するまでの期間が短くなりますので、管理料も値上げに響いてるんじゃないかと推測がされます。それと、人件費の高騰、物価高騰っていうのが勘案されているのではないかというふうに感じます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 これ、なので、文化広場のほうで460万から1,000万ということで600万ほど上がってて、福祉体育館のほうで見ますと900万上がってて、1,500万ぐらい上がっ

てると。文化広場のほうは、宿泊がなしになってっていうところなんですけども、その削減の費用は分からなくて、福祉体育館の指定管理者が代わったこと……。代わってはないのか、そういった切替えのタイミングでということで1,500万上がったと、そういうふうでいいですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 山田課長。

○生涯学習課長（山田隆貴君） 金額につきましては、一応、サウンディング、もちろん指定管理のまだサウンディングを行っておりますので、そこの中で出てきた金額をベースに指定管理料というのは、まず第一のベースとして決まってくるので、その金額の範囲内で収めていただいておりますということですので、そのような御理解をいただくとありがたいです。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにござい……。

副委員長。

○郷右近 修委員 実績報告書の81ページ、10款4項3目 図書に関する各指標が向上しているんですけど、一方で、市民1人当たりの図書購入費については固定のままになっています。この令和5年度の決算と6年度についての実績について、どういうふうに認識しておられるでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 水野図書館長。

○図書館長（水野美樹君） 購入費につきましては、近隣の市町と比べますと、確かに1人当たり低くなっておりますけれども、愛知県及び国の平均と比べると、豊明市の1人当たりの図書購入費は、高いものとなっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 岡島委員。

○岡島ゆみこ委員 実績の81ページの同じく図書館運営事業なんですけれども、購入費が昨年、昨対で減少しているっていう理由と、あと、本館と南部公民館、両方とも利用者数、貸出人数、冊数とも上回っていて、効率的には本の貸出しがされてると思うんですけども、予算執行において、これも効果があったのかなと思います。これをどのように工夫があったのか、また、分析とか評価は、どのようにされてますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 水野館長。

○図書館長（水野美樹君） お答えします。南部公民館のほうをメインに、この3年間、購入をしております。本のほうが南部公民館のほうは、通勤、通学者が手に取りやすいよというということで、単行本というか小っちゃな本とかを購入しているものですから、1冊

当たりの購入単価が減っております。なので、購入費のほうは、冊数に比べて単価が落ちているということになるかと思えます。

あとは、何だったっけ……。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） いいですか。

○図書館長（水野美樹君） 以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 副委員長。

○郷右近 修委員 南部公民館の図書館室については、この間、南部公民館だけじゃないですけど、コロナウイルスの影響があって、改修があって、しかも、さらに遡って、栄分室のありなしとかが相当その要素がどんどん続いてきた6年、7年ぐらいだったと思うんですけど、見れる範囲で見て、合わせて2万人、2万2,000人ぐらいみたいな年間の利用者数と、昨年度、6年度の実績で結構近い数字になってきたかなというふうに思ってるんですけど、その辺とさっきのその答弁で、大分この間に注力されたのは南部公民館みたいなこととのことでは、どういうふうに、この令和6年度の実績、評価していますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

水野館長。

○図書館長（水野美樹君） 南部公民館につきましては……。南部公民館、本館ともなんですけども、やっぱり委員のおっしゃるとおり、利用人数、冊数ともにコロナ前にかなり戻ってきております。南部につきましては、利用者が……。

すみません、ちょっとお待ちください。

すみません、少しお時間ください。申し訳ありません。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 今回の図書館のどこなんですけど、81ページ、図書館費です。図書館サービス指標なんですけど、市民1人当たりの蔵書数が4冊とか、2番目が市民1人当たりの貸出冊数6.4冊ですか、こういうの、図書購入費が248円、図書館総経費が1,896円って書いてあるんですが、これっていうのが、これらの、例えば、大府だと貸出冊数が日本一とかいうんですけど、こういった県内の順位とかそういうのって分かるものなんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 水野館長。

○図書館長（水野美樹君） 申し訳ありません、県内の順位については把握ができておりません。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） こんどう委員。

山田課長、先どうぞ。

すみません、さっきからすみませんでした、失礼いたしました。水野館長、先ほどのです、お願いします。

○図書館長（水野美樹君） 申し訳ありません。先ほどの御質問に対する回答となります。南部公民館図書室につきましては、入館者数がコロナ前と比べまして162%アップしております。それとともに、貸出数につきましても、コロナ前と比較して3倍となっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 82ページのとこなんですけど、真ん中辺のところですね。リクエスト件数が本館で648件、南部で100件っていうことなんですけど、このリクエスト件数は、全てオクケーになるというか、採用になるものなんですか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 水野館長。

○図書館長（水野美樹君） リクエストにつきましては、できるだけ御要望に応えるようにしております。令和6年度の結果としまして、このうち、豊明市立図書館で購入させていただいたのが355、それから、他館からの貸出しが378、あと、御本人からのキャンセル及び図書館のほうから、こちらのリクエストは受け付けられません、例えば2回目、一月で1回なんですけれども、1人で2回申し込まれた方とか、申し込まれた本が漫画だったりとか、あと、高額のものだったりとか、そういったものについてはキャンセルという扱いで、それが23件ございます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 同じく、図書館のところなんですけども、先ほど、南部公民館の利用人数等が増えて、増えたというようなことなんですけど、これ、もともとは栄分室をなくして、南部で図書を集約してという話で、機能集約で工事をしてやっていたというふうに思います。今、先ほど、ほかの委員からもありましたように、コロナも落ち着いて機能拡充した後ということなんですけども、その栄分室で借りていた人数だったり冊数とか、その分は、ここで補うことができたんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 水野館長。

○図書館長（水野美樹君） 100%補っているとは言えない状態です。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 どの程度できてきたかというのは把握されてますか。

（発言する者あり）

○図書館長（水野美樹君） お時間いただけますか、申し訳ありません。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 清水委員。

○清水義昭委員 生涯学習課にお伺いしたいんですけども、ページ数だと、多分ですけど実績報告書の85ページの10款4項8目に当たると思うんですけども、ちょっと項目がないのでお伺いしますが、令和6年度で生涯学習課として家庭教育の推進に関するということの中で、スマートフォンだとかゲームだとかそういった情報機器に関して、その適正な使用を求めるようなことってというのは、どういうことをされましたでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

山田課長。

○生涯学習課長（山田隆貴君） 6年度ということによろしかったですね。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） はい、6年度です。

○生涯学習課長（山田隆貴君） 6年度につきましては、こちらは、青少年の活動の中では行っていないと思われ……。行っていません。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 水野館長。

○図書館長（水野美樹君） 先ほどの委員からの御質問です。コロナ前……。失礼いたしました、栄分室閉館前と比べまして、今、栄と南部と合わせたものの8割の入館者数となっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 関連。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 利用者、人数ですね、それ。冊数とかは、どうですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 水野館長。

○図書館長（水野美樹君） すみません、冊数につきましては、もうしばらくお時間ください。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） いとう委員。

○いとうひろし委員 実績報告書の82ページ、図書館のこの件なんですけども、どこにちょっと書いてあるかがちょっと見当たらなかったもので、ちょっと逆に教えてもらいたいんですが、例えば、絵本教室とかいろんな教室を図書館のほうで開催されてると思うんです

が、その辺の収入っていうか……。

(発言する者あり)

○いとうひろし委員 収入はないんですか、これ。

(ないですの声あり)

○決算特別委員長(中堀りゆういち議員) 水野課長。

○図書館長(水野美樹君) 図書館の行事につきましては、無料開催となっております。
以上です。

○決算特別委員長(中堀りゆういち議員) 青木委員。

○青木けんじ委員 決算書の117ページの文化財保護事業の中で、上段のほうの報酬の史跡整備等作業と、あと、中段のほうに委託料で史跡整備等委託料、この内容の違いも、どのようになっているのでしょうか。

○決算特別委員長(中堀りゆういち議員) 山田課長。

○生涯学習課長(山田隆貴君) まず、文化財保護事業の中の上の報酬の中の史跡整備作業につきましては、こちらにつきましては、週2回、二村山の清掃ですね、二村山の中にもいろんな文化財がございますので、そこの清掃を行っていただいております。こちら、会計年度さんの扱いになっております。お一人で行っております。

中段にあります委託料の史跡整備等委託料につきましては、こちらは、5つの地区にお願いをしまして、例えば、一里塚とか古戦場、仙人塚、十三塚、あと、両村塾の跡ですね、こちらは、それぞれ各地域の団体とか、子ども会とか、町内会とか、そういったところをお願いをしまして、同じように清掃とか除草作業を行っているというものになっております。

以上です。

○決算特別委員長(中堀りゆういち議員) 青木委員。

○青木けんじ委員 同じく、文化財保護事業のどこなんですが、啓発活動での出前講座、何回ぐらい実施されて、反響はどうだったのでしょうか。

また、歴史民俗資料室の公開での来場者とか反響は、どうだったのでしょうか。

○決算特別委員長(中堀りゆういち議員) 山田課長。

○生涯学習課長(山田隆貴君) 出前講座というか歴史民俗資料室でやらせていただいた講座というふうでもよろしいでしょうか。

○決算特別委員長(中堀りゆういち議員) はい。

○生涯学習課長(山田隆貴君) 歴史民俗資料室での講座につきましては、歴民研究会という方が見えまして、そちらの方を中心に企画展をやったりとか、まずしております。

さらに、昨年、令和6年度につきましては、たしか妖怪の関係だったと思うんですけども、そういった講演会を講師をお招きしまして、3回行っております。そちらについても、好評だったというふうに聞いております。

あと、歴史民俗資料室の来館者につきましては、少しだけお待ちください。

歴史民俗資料室の来館者につきましては、令和6年度、昨年度は、4,268人延べ人数ということになっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 今の市史編さん費のところちょっとお聞きしたいんですけども、ここの実績報告書の83ページの下に市史編さんのために収集した資料の整理を行ったってあるんですけども、これ、どういう基準で整理して保存してるのかということと、市の総務課所管ですけども、文書管理をしていると思うんですけども、その古い文書等を破棄せずに、これ、資料としてということで保管するとか、そういう連携等も図っているのでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 山田課長。

○生涯学習課長（山田隆貴君） まず、こちらの市史の編さん費の中にあるこの資料の整理を行ったという部分ですけれども、こちらにつきましては、学芸員の職員、あとは、会計年度の職員もおりますので、寄贈等があったものを、年々少しずつですけど寄贈はありますので、それにつきまして、これは収集すべきものだと、そうでないものべきだというものの判断をしております。ですので、少しずつは増えていっているという状態です。

総務課との連携ですね、恐らく公文書のことかなとは思いますが、そちらにつきましては、まだ連携はできていない状態です。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 水野館長。

○図書館長（水野美樹君） 先ほど、林委員からの御質問の回答となります。貸出冊数につきましては、現在、90%まで達成しております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） よろしいですか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告書の86ページの下の方のスポーツ行事があるんですけど、これの中で、とよあけダービーマラソン、市内、市外の方の人数は分かりますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

山田課長。

○生涯学習課長（山田隆貴君） 参加人数全ての数は、今、ここに把握して持っておりますが、2,464人というふうになっておりますけれども、市内、市外につきましては、申込み自体もこちらでやっていないものですから、委託事業ですので、こちらでは把握はできていません。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 これ、1,900万円ぐらいかけてしたイベントですよ。その経済効果金額とかそういうのは、あるんですか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 山田課長。

○生涯学習課長（山田隆貴君） 目に見える金額につきましては、1,900万円の支出に対しまして、入としまして参加費で350万ぐらいになっておりますけれども、豊明市を多く知っていただいた、あと、50周年を祝うイベントとしては盛況だったと思いますので、そういった効果があったというふうには感じております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 関連ですか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 これ、スポーツ行事、見てみますと、唯一、市外の方も入るような行事だと思うんですよ。今、言われた、もっとPRできるいいチャンスかなと思うんですよ。そういうので、反省会とかそういう統括で、今後、続ける、そういった議論はなかったんですかね。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 浅井部長。

○教育部長（浅井俊一君） このダービーマラソンにつきましては、先ほどお答えしたとおり非常に盛況であったということで、私どもも、これは成功したというような判断しております。過去から市長のほうも申し上げたとおり、今回、競馬場とも、このあたりの連携も十分に取れましたので、周年的な行事でやっていければというふうに考えております。そんなような意味で豊明のPRは、さらにこれから続けてまいりたいというふうに思っております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 鈴木委員。

○鈴木智和委員 生涯学習課にお聞きします。6年度の当初予算の中で部活動運営委託事業ということで、令和6年度は、中学校の休日の部活動で柔道とソフトテニスモデル事

業として実施しますということでありましたけども、実際、6年度に3中学校でこの事業がモデル事業として行われたのか、また、行われていたら、先生の負担は本当にどれぐらい軽減されたのかお聞きします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 山田課長。

○生涯学習課長（山田隆貴君） 今、質問がありました部活動につきましては、令和6年度の人数でお知らせしたいと思います。

まず、ソフトテニスにつきましては、3中学校で行いまして、それぞれのちょっと数字は持っていないんですけども、155人の子どもたちがソフトテニスをやっていたというふうです。

柔道につきましては、こちらは栄小学校1か所に集約をしましたが、35人の生徒がモデル事業としてやっておったということになる……。栄中学校です、申し訳ありません。栄中学校で35人というふうです。

（豊中ですかの声あり）

○生涯学習課長（山田隆貴君） ごめんなさい、豊明中学校です。何度もすみません、豊明中学校で合同でということで、35人です。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） すみません、鈴木委員。ごめんなさい、これ、決算書でいうと何ページに属する部分の予算のことになりますか。多分、部活外の、あれ、課外部活の話だと思うんですけど、ちょっと探し切れませんでした。お願いします。

○鈴木智和委員 ページ数。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） はい。

○鈴木智和委員 ちょっと待ってください。ちょっとまた。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） じゃ、大丈夫です。結構です。

（取り下げますの声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） いえいえ、大丈夫です。

鈴木委員。

○鈴木智和委員 今の先生の負担軽減は、実際どれぐらいあったとかいうのは、という部分。ページ数。

（発言する者あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） すみません、いいですか。

山田課長。

○生涯学習課長（山田隆貴君） 先ほどのページ数ですが、スポーツ振興事業に恐らく当

たると思いますので、120ページのところに部活動のことが少し載っております。そこに基づいたお答えをさせていただきました。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 120のスポーツね、これの部分ね。

○生涯学習課長（山田隆貴君） 教員の負担軽減の面ですけれども、土日につきましては、ここの部活に携わっていた方につきましては、指導員の方がついておりますので、軽減につながっているというふうには感じております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） できれば、決算書、実績書でページ示していただけるとありがたいです。お願いいたします。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 ページ数がどこだ、先ほどのダービーマラソンなんですけど、決算書でいうと120ページです。さっき、こんどう委員のほうから市民の参加人数のこと、聞かれて、今年の本会議の一般質問での答弁で3割程度が市民の参加というふうで御答弁が本会議場であったかと思うんですが、それでよかったですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 浅井部長。

○教育部長（浅井俊一君） 答弁のとおりなんですけれども、具体的に何人かというのがすっぱり分けられませんので、このような回答をさせていただいております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 決算書110ページの真ん中辺りの放課後児童健全育成事業の補助金ですけれども、これ、2,200万から3,000万に増えてるのは、多分、民間で児童クラブを運営してる団体が増えたのかなと思うんですけれども、これ、まず、何団体に対して補助を出してるかということと、実際、そこに豊明市の子どもがどのくらい通ってるかっていうのは把握されてますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） まず、何団体に補助をしているのかというのは3団体です。そこに市民の方が何人通ってるかというのは、ちょっと把握はしておりません。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 補助を出す際に、子どもが通っているかどうかとかっていうのは確認はされてないんですかね。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 民間児童クラブについての補助金額は、それは、規模であつたりとか障がい児の受入れ状況等によって金額が決まってくるんですけども、そこに市民の方が何人とかというのは、ちょっと、今、把握はできておりません。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 では、その市内、市外合わせて子どもが何人かというのは分かっているってことなんですか。それも分からない。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林さん、110ページと言った。

○林 ゆきひろ委員 110ページの真ん中の放課後児童健全育成事業補助金です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） ちょっと確認しますので、後ほどお答えします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 後ほどね。

これね、放課後。

ほかにござい……。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 同じページの上です。施設管理・機械器具保守点検等委託料の305万円余のことなんですが、これ、教えてほしいんですが、公共施設の包括管理業務で、小中学校と保育園と病後児保育ので一括で出していると思うんですが、それと、この施設管理の点検委託料というのは、その金額的には昨年度と変わっていないんですけど、300万と、ちょっと説明、お願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

（ページの声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 110ページ、決算書。上から2番目、施設管理・機械器具保守点検等委託料です。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） ごめんなさい、110ページの上から2段目のところでもろしかつたですかね。ここについては、内容としては、その児童クラブの警備委託だったりとか、勤労会館の電気工作物の保守だったりとかというのが内容になっております。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 同じ、決算書の111ページと113ページで、小学校、中学校で同じ項目で機械器具等保守点検委託料っていうのと、先ほどの包括の管理との関係はあるんですかね。この決算書の111ページでいう小学校の、どこだ、機械器具保守点検委託料というの

が令和5年では1,500万ぐらいあったのが34万、決算書の113ページの中学校で同じ項目の保守点検委託料が令和5年は540万ほどあったのが16万にがくっと減っているんですが、これと包括管理業務との何か関連があるんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） その111ページの機械器具保守点検委託料については、包括管理のほうに大部分が移管されたということで、これは、学校施設の消防設備だったりとか電気工作物だったりとか、そういった部分が包括管理へ移管したので、かなり減少額が大きいというものでございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 ゼロにはならないわけですかね。今の消防とかは、向こう、包括管理に行ったんですが、この34万6,500円とかっていうのは、何を点検ですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） どこまでを包括管理に入れるかっていう議論もあるんですけども、この34万というのは、業務用エアコンの定期保守の分がちょっと残っております。その分が34万6,500円というふうになっております。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 今のその業務用エアコンというのは、この包括管理の対象にはなっていないってことなんですか、そこの部分だけ。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 業務エアコンの法定点検、3年に1回の法定点検の保守なんですけれども、これについては包括管理には入っていないで、ここでお支払いをしておるといふところです。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） いとう委員。

○いとうひろし委員 決算書の111ページの中段辺り、スクールバス委託料、これは沓掛小学校さんがやってると思うんですが、1往復の大体の距離と、人数を教えてください、子どもの。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 人数については、十数名だったと思います。

距離については、基本的には、そのお子さんが3.5キロ以上歩く場合にバスを出しておるものですから、おおむねそれぐらいの距離で片道運行しておるといふところでございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 　いとう委員、実際のバスの走行距離じゃなくていいんですね。

○いとうひろし委員 　いいです。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 　じゃ、大丈夫です。

　林委員。

○林　ゆきひろ委員 　実績報告書90ページの給食センターの統合アドバイザーの業務委託についてです。2,500万とかなり高額ですけども、この令和6年度の業務内容と、その成果物を、まず教えてください。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 　矢野給食センター所長。

○学校給食センター所長（矢野　優君） 　こちらの令和6年度のアドバイザリー業務につきましては、給食センターの事業者を公募するに当たっての要求水準書等の検討、あとは、事業者の募集、あとは、事業者との契約の締結等に当たっての弁護士等への内容の確認等を行っていただいて、無事、事業契約に至っているというところでございます。

　以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 　林委員。

○林　ゆきひろ委員 　今の説明ですと、弁護士料というのは別で出てるっていうことでよかったですかということと、これ、結構な金額大きいので、これ、何人分の人件費とかそういう内訳ってというのは分かっていますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 　矢野所長。

○学校給食センター所長（矢野　優君） 　まず、こちらの事業につきましては、令和5年度からの継続の事業になっておりまして、1年以上の分の事業費となっております。なので、令和5年度の中で、測量であったり、あとは、地盤調査等も実施しておりますので、そういった費用も入っております。なので、人数につきましては、複数の部署にまたがって多くの方に携わっていただいているというところです。

　あと、弁護士の費用に関しては、この事業費の中に含まれております。

　以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 　林委員。

○林　ゆきひろ委員 　その複数の部署にまたがってっていう、その人が何人関わっててとか、それが何時間関わってるのかとか、そのあたりもしっかり把握はされてるんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 　矢野所長。

○学校給食センター所長（矢野　優君） 　業務が多岐にわたるので、委託事業者の中でも複数の部署にまたがって事業を進めていただいているというところになっております。そ

それぞれの部署で何人携わったというところまでは、今、細かい数字は持っておりません。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 先ほどの答弁でちょっと訂正をさせてください。バスの運行委託料の中で、先ほど、3.5キロ以上の距離の子についてバスを利用するというお話をしましたけれども、3キロに訂正させてください。申し訳ございません。3キロでございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 遠い遠い。うちから豊明駅往復ですよ。

○学校教育課長（秋永亘正君） 以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績の89ページの（3）給食センターの活動事業のところの2点ちょっとお聞きしたいんですけども、1点目は、減農薬野菜で、これは、どれぐらい減農薬野菜を活用しているのか、また、この、これは、オーガニック野菜とはまた別ですかね。それも、どのくらいか、どのぐらい活用されてるのか分かりますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 矢野所長。

○学校給食センター所長（矢野 優君） オーガニックの野菜に関しては、使用しておりません。

減農薬野菜については、おおむね月1回程度の使用としています。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 1回って、年1回、月1回か。月1回、1品っていうふうですかね。
(そうですね、1食材ということでの声あり)

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 矢野所長。

○学校給食センター所長（矢野 優君） おおむね月1回の利用をしておりますして、食材の量については、1食材ずつ使っているというような形になります。なので、例えばですけど、ある月、ニンジンを使ったというふうになりますと、キャロットサラダに使用したりとか、そういうような活用をしております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 その下の地元特産物の活用ですけども、これは、農政のほうでも、これ、補助が出てたと思うんですけども、豊明産がどれぐらい使ってるのか。その昨年と

比べて増えてるんですかね。どういう状況でしょう。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 矢野所長。

○学校給食センター所長（矢野 優君） 前年度比に比べまして、90万程度、使用料は増えております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 90万ってのは金額ですかね。

（はいの声あり）

○林 ゆきひろ委員 パーセンテージでいうと、どれぐらい変わってますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 矢野所長。

○学校給食センター所長（矢野 優君） パーセンテージに関しては、詳細は出しておりません。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 金額は90万ですね。

○学校給食センター所長（矢野 優君） はい、97万円です。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 先ほど、民間児童クラブの児童数についてお答えをします。まず、モリッコランドさんが18人、太陽広場クラブさんが10人、ドリームさんが31人という形になります。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 今のは、通ってる子どもの数ですか、それとも……。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ページ数、どこになりましたか。

○林 ゆきひろ委員 今の、今……。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 児童館費は。

○林 ゆきひろ委員 110ページの真ん中のあれですね、放課後児童健全育成事業費の補助金の回答ですよ。

先ほど、今の人数というのは、通ってる子どもの人数なのか、豊明市の子どもっていうことなのか、どっちですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 通っている児童の人数だというふうに。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 そうすると、その中で豊明市の子は何人というのは分からないんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） すみません、今、ちょっとその人数は持ち合わせておりません。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 85ページ、実績報告書の、青少年対策費のどこなんですけど、そのこの1番の二十歳の会の開催ということで、6年度の出席率と、あと、実行委員会、何名ぐらいでされてるんでしょうかね。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

山田課長。

○生涯学習課長（山田隆貴君） 参加人数につきましては、令和6年度、670人で、80.8%、80%を超えました。

実行委員の人数については、申し訳ありません、ちょっと、今、ここに手持ちの人数、持っておりません。申し訳……。大体、1校当たり、3人から4人ぐらいを目安に募集はかけております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

いとう委員。

○いとうひろし委員 実績報告書の88、89ページにまたがっているんですが、給食費の徴収についてお伺いします。給食費の徴収金額、割ることの給食数、各学校においてをやると、小学校は210円のはずなんですけど、217円、218円、221円というふうに、その価格を上回ってくるんですね。同じように中学校のほうも、徴収費、割る配食数で給食数でやると、251円、250円というふうで240円を上回ってくるんですね。それは、どういうことでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 矢野所長。

○学校給食センター所長（矢野 優君） こちらの徴収金額につきましては、学校の先生の分も含んでおります。先生に関しては、給食費の定価の小学校であれば310円、中学校で

あれば350円を支払っていただいておりますので、その分が若干上振れしているというところがございます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 今回の学校給食の関連でお聞きしたいんですが、不登校の児童生徒の給食費とか等は、どういうふうになってますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 不登校分の給食費に関して。

○ふじえ真理子委員 そうそう、はい。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 矢野所長。

○学校給食センター所長（矢野 優君） 実際に食べた食数に対して給食を支払うので、不登校の場合は食べていないということです、費用は発生しないという形になります。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 ページ数がないんですけども、強いて言えば実績報告書の73ページかな、10款1項3目だと思うんですが、委員長にお許しをいただきましたので、2款のことですけど、ここで質疑をさせていただきますけども、地域塾ですね、これが学校教育課の所管だと思うんですけども、その地域塾をやると、地域一括交付金の中で、そのお金を地域に出すというようなことで、その補助要件の中に在籍する児童生徒は5名以上とすることというような要件があるわけですけども、この在籍するのところがちょっと問題なんです、まずもって、この地域塾の地域でやるときに、その児童生徒、参加する児童生徒は、登録をまずしないといけないというようなスキームになってたんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） はい、基本的には登録をしていただくというような前提で仕組みは考えております。ただ、当然、日によっては1人だったり2人だったりということがありますので、なので、これは在籍という形で、規模感というのは大体これぐらいでやっていただきたいというのをお示しした上で、出席ではなくて、なので、あくまでも在籍という形で枠組みをつくって補助制度を、ごめんなさい、考えたというものでございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 清水委員。

○清水義昭委員 ということは、その登録する児童……。登録ですよ、在籍が登録とい

うような意味で、今、おっしゃられたと思うんですけども、その登録している児童が5名以上いれば、参加する人が1人だろうが、例えば、ゼロ人だろうが、その地域塾の事業をやれば、その1回っていうふうにカウントされて、10回やれば10万円のその交付金が出るというような意味ですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） もちろん、それは、蓋を開けてみないと何人来るかは分からない。ですけれども、毎日かかる費用ってというのは、それは、エアコン代だったりとか人件費だったりとかかかりますので、そこの部分で例えば切ってしまうと、それは地区にとっては赤字になってしまう話になってしまいますので、なので、あくまでも在籍という前提の下で、結果的な出席人数は問わず、基本的に、在籍5人の枠組みで制度設計をしたというものでございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 清水委員。

○清水義昭委員 これ、2つの地域でやられたというようなことを2款のところでお伺いしましたけども、それぞれ登録された方、要は、在籍された方は、何人ぐらいだったんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） その実績報告書の中に、書面上では、館区さんは書いていただいておりますけれども、必須の要件ではないので、その記載する要件ではないので、在籍人数が何人かというのは、ただ、あとは落合区さんで実施していただいておりますけれども、5人以上在籍しているということは確認はしております。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 結局、この2つの区でやってることなんですけど、在籍人数、登録人数は、全体でどれぐらいかっていうことと、延べ人数がどれぐらいかとかそのあたりは、確認、把握してますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 館区さんは、参加人数ともに5名以上、全回、全部の回ですね、全部の回、出ていただいております。これ、全部足すと、1、2、3、4、7、8、9、10……。62名ほどですかね、63名ぐらいか、おりますけれども、落合区さんは50名というふうに聞いております。ですので、登録数も5人以上ということは確認はしております。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） すみません、確認です。50名が登録じゃないんですか。

○学校教育課長（秋永亘正君） ごめんなさい、延べ人数が50名です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 来た人数でですね。だから、同じ人もかぶってカウントしているってことですね。

○学校教育課長（秋永亘正君） はい、そうです。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 分かりました。

ほかに。

清水委員。

○清水義昭委員 確認なんですけど、今、落合区さんの50名というのは、50名、例えば、10回やったとして、10回やられてると思うんですけど、各5人ずつ出たとしたら50名にはなると思うんですが、ごめんなさい、自分が持っている資料のほう延べ38名ってなるんですよ、落合区さんが。なので、ちょっとそこの精査をお願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 実際、私も御本人に、区長さんに確認をしております。小学生11人、中学生39人というふうに聞いておりますので、我々としては、その書面上は、これ、書く必要はないので書面上には表れておりませんが、延べ人数50名というふうに認識はしております。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

副委員長。

○郷右近 修委員 実績報告書の……。ちょっとお待ちくださいね。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告書の79ページの真ん中辺なんですけど、生涯学習教育の振興というものがあまして、その2番目、社会教育委員の活動ということで、社会教育法第15条の規定ということで9名の社会教育委員ですか、この方は、こういった方ということと、あと、社会教育委員会議を2回という開催ということで、これの内容を教えてください。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願い……。

山田課長。

○生涯学習課長（山田隆貴君） 9人の内訳ということですが、社会教育委員会9人の内訳

ということですが、学識経験者がお二人、社会教育関係者がお一人、PTA関係者がお一人、家庭教育関係者がお一人、女性団体の関係者の方がお一人、あと、校長先生が2人、一般の方がお二人というふうになっておりまして、合計が9人となります。

会議の内容につきましては、社会教育、非常に多岐に及んでおりますので、その様な事業の実績報告、前年度の実績報告の会と、あと、来年度、その様な事業に対して、こういうふうにやってよろしいかというの確認ですね、事業方針と、あと、事業計画の確認を行うという2回の会議内容となっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 副委員長、いいですか。大丈夫ですか。

○郷右近 修委員 先にどうぞ。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 浅井委員。

○浅井たかお委員 実績報告書の75ページの一番下、先ほどは中学校のことで聞いてたんですけど、こんどうのぶお委員が聞いたんですけど、これは小学校のことに教えてほしいんですけど、老朽化して使用できなくなった備品の買換えについてなんですけど、この品物の品目と、物と、それから……。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） さっき、モップとか何か言ってませんでしたっけ。

（それ、中学校の声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 中学校。

○浅井たかお委員 それで内容を教えてほしいです、お願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 小学校の備品につきましても、教員用の机であったりとか、牛乳保冷庫、プリンター、シュレッダー等の購入をしているというふうに確認しております。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかに。

副委員長。

○郷右近 修委員 実績報告書78ページ、10款3項2目 中学校扶助事業で、ここの中に校外活動費で部活の地域クラブ化との関わりで、校外活動費の中に、その分が、この就学援助として6年度の実績であるかどうかと、そもそも私が勘違いをされていて、今、私が言ったことというのは、就学援助の対象にそもそもなるのかどうかという2点についてお願

いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 後ほど、ちょっと御回答します。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 実績報告書の86ページで上のほうなんですけど、親子ふれあい事業、親子絵付け教室というのがありまして、参加者24名ということで、これ、何家族の参加になるんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 何世帯かってことですね。

山田課長。

○生涯学習課長（山田隆貴君） こちらの参加人数の資料しか、今、こちらに持ち合わせておりませんので、少なくとも半分だったとしても12家族以上は出ておるといふふうに思われます。

以上です。

（適当じゃんの声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 3人で来てるかもしれないですもんね。

（それはないですの声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ないですか。

（来ておりませんの声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井たかお委員 さっき、ちょっと私もちょっと聞き忘れちゃったのですみません。実績報告書75ページの先ほどの老朽化して備品の買換えについてですけど、牛乳保冷庫、教員用机、プリンターと、あと、シュレッターってあったみたいですけど、これの金額を教えてください。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 金額。

（答弁漏れの金額の声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） すみません、備品購入費が、ごめんなさい、備品購入費が728万7,577円でございます。

以上でございます。すみません。

（ちょっと聞こえないのでの声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ゆっくりお願いします。

○学校教育課長（秋永亘正君） 728万7,577円でございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） これ、一応聞きますが、これ、小学校と中学校を足してですか。

○学校教育課長（秋永亘正君） 小学校です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 小学校でいいんですよね。

ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 決算書の111ページの真ん中あたりの清掃委託料と、113ページの同じ清掃委託料があるんですが、小学校と中学校で、これ、すごく減額になってるんですよね。令和5年度が何か特別なことがあったのか、何が変わったんでしょうか。令和5年度が241万円だったのが令和6年度が13万になって、中学校が令和5年は214万の清掃委託料出してたのが14万ぐらいになったんですが。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） この清掃委託料というのは、小学校も中学校もですけれども、高架水槽の清掃であったりとか受水槽清掃の清掃委託料は包括管理のほうに移行しておりまして、残ったのが蛍光灯の処分委託がこの金額ということでございます。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 決算書の111ページで真ん中辺の下の学校用地借上料です。680万、これ、三崎小学校だったかな。大きさは、どのぐらいですかね。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 約7,693平米ということになります。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 清水委員。

○清水義昭委員 ちょっと戻って申し訳ないんですけど、地域塾の関係なんですけど、先ほど御答弁されました落合区さんですね、小学校のほうで11名の参加があった、中学校のほうで39名の参加があったというようなことなんですけども、この数字っていうのは、何かその市のほうに報告するものを書いてある数字だったんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 市の報告については、その記載が必ず必須ではないので、

聞き取りの内容でございます。直接的に聞き取った内容でございます。ほかにありますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 要は、市に提出用のものではないってことですよね、だから、今の質問では。提出用のものではないということですよね。言葉だから。清水委員。

○清水義昭委員 それは、どうして聞き取ったんでしょうかね。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） どうして聞き取ったか。秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 実績として、どれぐらいの参加が見込まれたかというところでの実績をお聞きはしたんですけれども、ただ、その実績報告書の様式の中に、どれだけの人数が参加されたかというのは必須項目ではないので、なので、そこには記載されていないんですけれども、実際にどれぐらいの人数があったのかというのを確認をしたというところでございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 清水委員。

○清水義昭委員 一応、決算に関係あるので聞いてるんですけど、自分が持っているのは、落合区さんの、その総会の資料を持ってるんですね。総会、出席しましたので持ってるんですけども、そこに地域塾の参加者は延べ38人って書いてあるんですよ、全部で。なので、何かの間違っているんですよ。だから、疑義が解消されないままちょっと過ぎていくことになるので、どうやって確認すればいいのか分かんないんですけど。どうしようかな…。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 口頭で50人と当局のほうでは確認しており、清水さんのほうは、区会のほうで38人って書いてある資料のほうを頂いてるってことですよ。

○清水義昭委員 そうです、そうです。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

○学校教育課長（秋永亘正君） 例えば、これが38人だったとして、それが、その延べ人数が38人だったことについて、特に、その補助要件を満たしていないかという、満たしているというふうに、それは人数は、当日の出席した人数は補助要件とは関係のないところなので、それは、その合致しているというふうに我々は認識します。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 清水委員。

○清水義昭委員 そう。なので、今、その補助要件のところをもう逸脱してるのは分かって聞いていて、何がその疑義が残ってるかっていうと、その当局さんのその答えと答弁と自分が持っている資料が合致してないってところが疑義が残っていて、なので、今は

答弁に対して疑義が残ってるんですよ。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　じゃ、後日、落合区さんで正式文書か何かで頂いて、どちらかが、もしかしたら……。

○清水義昭委員　そう、なので、委員長、何が言いたいかっていうと、要は、この地域の方、何が間違ってるのか分かんないんですけども、分かんないですよ、分かんないんですけども、要するに、口頭でそうおっしゃった数字が何か間違っていたりした可能性もありますし、その総会の資料が間違っていた可能性もあるわけですけども、何かが信用できなくなるおそれがあるので、ここはちょっと確認はしたほうがいいのかなっていうふうには思っています。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　浅井部長。

○教育部長（浅井俊一君）　清水委員のおっしゃるところもごもつともなことではあるかなと思っております。私どもも、今回、聞き取りでしか実は確認をしてない部分がありますので、その辺の資料として区会のほうに出ているというものと、こちらのほうで、今、確認してるものと差があるということであるのであれば、一応、その補助要件云々のところとしては一応合致してるような判断を、今、してるわけですから、その上では、ちょっとこちらのほうのものとしては、やはりちょっと申請がちょっと欠ける部分があってもやむを得ないかなと思っておりますので、一度、今、私どものほうで、今、全体の累計としては50っていうところは、ちょっと、もう一度確認させていただくような形で、この上で、特に、その条件を満たしていないかどうかというところは満たしているという判断をしていただいて、その上で、またちょっとこちらは内部のほうで一度確認をさせていただくという形をお願いしたいと思います。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　一応、令和6年度の交付金に関しましては、この申請内容において、全くこの部分は何も問題ない部分でございますので、今、先ほど、清水委員言われた、その数字上のあれですんで、浅井部長言われたとおり、また確認いただいてやっていただくということで、この決算特別委員会においては問題なく交付金でしっかりとやれる状況で今回の金額に至っておりますので、大丈夫です。

じゃ、続いて。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員　最後。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　最後で頼みます。

○ふじえ真理子委員 決算書の122ページの学校給食費のところですか。これも毎年聞いてるんですが、残飯の回収配送委託料956万……。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） どうぞ、どうぞ……。

○ふじえ真理子委員 対前年で比で140万ほどアップしています。ガソリン代とか人件費とかあるかと思うんですが、その増、140万増した理由と、あと、いつも聞いてる残飯量を、牛乳と牛乳以外の残飯ですかをお願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

矢野所長。

○学校給食センター所長（矢野 優君） 残飯回収配送等委託料につきましては、主な増の要因としましては、紙パックの収集運搬業務というのが令和5年9月から始まっておりますので、前年度は半年分だったんですけれども、令和6年度に関しては1年分ということで、増額になっております。

牛乳の残牛乳の量でよろしいでしょうか。

（はいの声あり）

○学校給食センター所長（矢野 優君） 残牛乳の量につきましては、令和6年度で1万200リットルになってます。これは、令和5年度で行きますと1万2,040リットルとなっておりますので、前年度比で行きますと、2,000リットル、約2,000リットル減っているというところがございます。

こちらの減った理由につきましては、牛乳瓶から紙パックになっているんですけれども、紙パックのほうが中身がなかなか見えづらいというところもあって、気づいたら飲み終わっているというような効果もあって、牛乳瓶よりも紙パックのほうが残牛乳が全体的に減っているという傾向があります。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 秋永課長。

（俺が聞いてたやつかの声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 矢野所長。

○学校給食センター所長（矢野 優君） あと、残飯の量なんですけれども、こちらは、令和6年度が5万4,020キロになります。令和5年度に関しては5万2,580キロになりますので、若干の増となっているところがございます。

以上です。

（関連の声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 関連、ちょっとお待ちください。

秋永課長、どうぞ。

○学校教育課長（秋永亘正君） 先ほど、答弁、後ほどお答えしますとしました扶助費のほう、実績報告書でいうと78ページの扶助費のほうの校外活動費について、部活動は含まれるか含まれないかというところなんですけれども、これは、校外活動費はキャンプのお金を扶助費としてお出しする部分ですので、部活動分は含まないということになりますので、よろしくをお願いします。

以上でございます。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 残飯の関連です。去年と変わってたり、ちょっと確認したいんですが、牛乳は、その1万200リットルで、その行き先は、大府のバイオマス発電のほうに行ってるかっていうことと、残飯のほうの行き先は、どちらに、どういうふうに行ってるんですか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 矢野所長。

○学校給食センター所長（矢野 優君） 牛乳も残飯も同じくですね、バイオマス発電のほうに行っております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） ふじえ委員。言い間違えました。どうぞ、どうぞ。

○ふじえ真理子委員 今の残飯のところ、その令和6年度、この決算で見てくと、賄材料費で3億4,000万ほど市費で投入して下さって保護者の負担を抑えている一方で、この残飯で1,000万近くかかっているんですけれども、令和6年度に食べ残し、一方で1,000万かけて廃棄してるっていうことについて、どんな何か議論をされましたか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） いいです。

矢野所長。

○学校給食センター所長（矢野 優君） 今の学校の給食の現場では、昔、私たちが子ども頃は、出た給食は全部食べなさいと、掃除の時間になっても残って食べさせられていたような状況だったと思うんですけれども、今は、その各個人に食べられる量だけ食べましょうという形なので、なかなかそういった残飯をゼロにするというところは難しいかなというふうに思っております。

ただ、学校のほうであつたり栄養教諭のほうでも、訪問給食であつたりそういった食育の取組を進めておりますので、そういった中で、残飯をできるだけ少なくしていきたいというふうには考えております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） いいですか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） それでは、10款 教育費の質疑を終わります。

ここで、理事者側の説明者の入替えのために10分の休憩といたします。

午後3時31分休憩

午後3時42分再開

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

続いて、11款から14款までの説明及び質疑を一括で行うことよろしいでしょうか。

（異議なしの声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 異議なしと認めます。よって、11款から14款までの説明及び質疑を一括で行うことといたします。

11款から14款までの説明をお願いいたします。

星子部長。

○経済建設部長（星子恭士君） 11款 災害復旧費について説明します。

実績報告書の91ページをお願いします。

1項 農林水産施設災害復旧費と2項 公共土木施設災害復旧費につきましては、いずれも予算執行はありませんでした。

以上で11款の説明を終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 伊藤部長。

○行政経営部長（伊藤正弘君） 続きまして、同ページの12款 公債費でございます。

元金は、決算額12億5,046万1,330円、前年比98.6%で、マイナスの1,758万1,627円でございます。

その下の利子は、決算額4,207万6,860円、前年度比で110.3%で、プラスの392万5,865円でございます。

92ページをお願いいたします。

13款の諸支出金でございます。上から財政調整基金費、教育施設建設及び整備基金費、公共施設建設及び整備基金費、減債基金費、福祉基金費は、決算額の欄のとおり積立てを行っております。

最下段の14款の予備費は、決算額はゼロでございます。

以上で説明を終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 説明は終わりました。

11款から14款までについて質疑に入ります。

質疑のある方は挙手願います。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書91ページの公債費のところ、これ、去年も聞いてますけども、財政融資資金のこの中で臨財債の償還の金額と、下の利子のほうも財政融資資金だと思っんですけども、その中の臨財債の利子の金額をお願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員、これ、財政融資基金のみの部分だけでいいってことですよ。全体的で。

○林 ゆきひろ委員 全体的といいますか、臨財債の部分の……。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 臨財債の部分ですね。

○林 ゆきひろ委員 元金と利子の金額です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 臨時財政対策債の分というところでございますが、元金は8億1,028万6,000円でございます。利子については、1,418万6,000円でございます。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） よろしいですね。

これにて11款から14款までの質疑を終わります。

以上で一般会計の質疑を終結いたします。

ここで、理事者側の説明者の入替えのために暫時休憩といたします。

午後3時46分休憩

午後3時51分再開

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

最後に総括的な質疑を行います。

質疑のある方は挙手を願います。

よろしいですか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 じゃ、ちょっと監査委員にお聞きしてもいいですかね。

監査意見書の47ページの……。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 監査意見書ね。

○林 ゆきひろ委員 はい。最後のほうに、監査において財務に関する事務の執行について多少の注意を促した軽微な事項はあったということがあるんですけど、どういう事項が、特に、いろいろあったのかなというところがちょっとお聞きしたいんですけど、これ、代表監査委員でも、議選の方でもいいんですけど、ちょっと、どういった事項が多く見られたのかなというのは、ちょっとお聞きしたいんですけど。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

井上監査委員。

○監査委員（井上 新君） 代表監査です。よろしく申し上げます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 代表監査委員、申し訳ございません。

○監査委員（井上 新君） やっぱり日付が、請求の日にと実際のその資料の日付が前後していたり、そういうことが時々見受けられました。それと、あと、金額によって、どの段階で部長決裁になるのかっていう部分においても、手前で止まっていたりということで、印鑑の問題もございました。これは、やっぱりどの課も、もちろん多い課と少ない課ありますが、ちょっとそういうところは、不注意というか正確性を欠いている部分はありました。それが一番多かったですね。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 もうちょっとお聞きしたいんですけど、この支出する例えば補助を出すときに、補助要綱と照らし合わせて、要綱に合ってるかどうかとかそういうところって、監査のほうで確認されてるんですか、事務局のほうですかね。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 井上代表監査委員。

○監査委員（井上 新君） 代表監査です。一応、補助要綱とも突合した中で監査室のほうで出させていただいて、我々も、目視、必ずさせていただいております。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 別のところで、決算カードで聞こうかな。決算カードの、まず、これ、ちょっと、もしかしたらどっかで誰か聞いてたかもしれないんですが、経常収支比率が上がってるんですけども、これの要因って、どういうふうに分かれていますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 経常収支比率については、3つほど、今回、ポイントがあるかなっていうふうに考えております。

1つ目は、人件費が、今、全国的に上がっておりますので、それが1つ目というところでございます。

2つ目は、いわゆる尾三消防ですとかそういったものの負担金が上がっているというのでも少し効いているというところなんです。ただ、この費用は必要な費用ですので、欠くべからずもの、欠くべきものではないというふうに考えております。

3点目は、その上で若干経常収支比率、上がっておりますが、全国的な傾向でもありませんし、財政力のいい愛知県の中でも上位のほうに、半数より上に位置しておりますので、初日の健全化判断比率の御報告で申し上げたとおり、3点目のポイントとしては、経常収支比率、若干上がっておりますが、とはいえ、健全な状態であるというふうに考えております。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 この経常収支比率、先ほど、人件費の関係ということもあるということでしたけども、これは、会計年度さんも入っての人件費なのかということと、そうすると、その会計年度さんが期末勤勉手当が入ったりとか、そういった金額上がったことも影響して、これ、経常収支率、上がったというふうに理解していいですか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 基本的には、そういった所要の改定が全て含まれています。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 鈴木委員。

○鈴木智和委員 決算カードからお聞きいたします。積立金現在高は99億6,723万円、また、地方債現在高は131億373万円となりました。この預金と借金のバランスを、市としてどのように受け止めていますか伺います。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 積立金と地方債のバランスというところでございますが、これも基本的には幾つかポイントありますが、3つほど、お答えをさせていただきます。

1つは、積立金99億と地方債のまずバランスというところでございますが、1点目は地方債のほうでございますが、基本的に本市が借りているのは臨時財政対策債がほとんどと

いうところがございます。そうなってきますと、実地方の負担が生じるものというのは、ここの3分の1程度、さらに、そこには交付税措置のものもありますので、そういった点では、かなり実際のバランスは、初日の健全化判断比率の御報告でしたとおり健全であるというところがございます。

2つ目は、積立金でございますが、積立金についても、先ほど99億ということで、ほぼいわゆる一般会計側のほうのもので御指摘をいただいているかというふうに思いますが、特別会計側のものも含めると120億円台、ほぼ御指摘いただいた市債とバランスする程度にありますので、そういった積立金の側で見てもバランスが取れているのではないかとこのように思います。

3点目は、ちょっと先ほどの林委員の回答と同じになりますが、積立金と地方債のバランスということで申し上げますと、初日の健全化判断比率の将来負担比率のところにつながってくる議論かと思いますが、将来負担比率は大きく黒字になっておりまして、県内でも上位の、速報ですが、状況だということですので、健全というところがございます。

以上のとおり、地方債から見ても、積立金から見ても、それを踏まえた将来負担比率から見ても、健全であるというふうに考えております。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 一色委員。

○一色美智子委員 決算カードから、財政力についてちょっとお聞きいたします。財政力指数についてですが、財政力指数が若干ちょっとずつ減少しているような気がいたします。これは、交付税などの影響かなと思っております、思います。そうだとすると、市の財政力を判断するのは、財政力指数ではなく健全化判断比率が重要ということではないかなと思うんですが、それでよいのか。

それで、先ほどから、初日に健全との報告をいただいておりますので、もう安心はしていますが、とはいえ、個人住民税に立脚した本市のような状況であれば、引き続き、この健全運営を維持してほしいと思っておりますが、近隣自治体との比較から見える本市の財政的な立ち位置なんかはどう評価されていますでしょうか、お聞かせください。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） まず、財政力指数の認識については、委員御指摘のとおりでございます。国の財政がよくなって臨時財政対策債の発行が不要になると交付税措置ができるようになりますので、その結果として地方の財政力が悪くなったように見えると、交付税で払うので。臨時財政対策で払うようにすると、財政力を上げて交付税に振り替えてしまいますので、そういった部分もあって、若干下がっているかなというところまで

ございます。

そういった点では、2点目は、委員御指摘のとおり、将来負担比率などの初日のものを見るというのが非常に重要なというふうに我々も認識しているところでございます。

最後の本市の特徴でございますが、財政力がその国の影響を受けているとはいえ、1に満たないこともまた事実ではありますので、初日の健全化判断比率で御報告したような健全な状態ではありつつも、その1を超えていないということは、油断をせずに運営をしていかなきゃいけない側面もありますので、その健全さとその慎重なというか、堅実な運営というのを両立していく必要があるのが本市の立脚する立ち位置かなというふうに考えております。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今の話にちょっと関連するかもしれないんですけど、決算カードで見ると、地方債の現在高が131億ですね、臨財債が82億ということで、約50億ほどが地方債かなと思います。これ、歳入のときにちょっとお聞きしたんですけど、起債の中に、そういった公的な金融機関から何か借りないといけないみたいな話もあったと思うんです。このあたりのちょっとルールを、ちょっともう少し説明していただきたいんですけども、何かこれだけの金額を借りないといけないという金額の指定だったりとか、公的機関というのは、この地方公共団体の金融機関、金融機構だけなのか、そのほかにも愛知県の市町村振興協会とかいろいろあるんですけど、こういうところもそういう縛りがあるのか、ちょっともうちょっと、この辺、説明していただきたいです。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） これは、令和6年度の結果、出てるんで、もうやっちゃってるから、これ、未来の話についてということですか。

○林 ゆきひろ委員 いえいえ、今回の6年度を含めてですね。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） じゃ、令和6年度で。

○林 ゆきひろ委員 どういうルールになってるか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 借りの条件とかルールみたいな。

○林 ゆきひろ委員 はい。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） お願いいたします。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 市債の一般的なルールと認識、どういうふうに考えればいいんだろうかというところかなというふうに思います。なので、ちょっと少し前提の話と概

略の話になるかもしれませんが、市債のルールというかについてお話しをいたします。

まず、3つあるうちの前提の1つ目が、ひょっとすると初日の議論の中で2%が少しありましたので高いんじゃないかというようなお話もありましたが、経年で見ると、金利のある世界っていうふうにも国も言ってますが、金利のある世界に戻りましたので高まっているように見えますが、過去にも2%を超える利率で市債発行したことがありますし、いわゆる長期プライムレートももう2%を超えておりますので、経年で見れば上がっていることは一面事実ですが、過去に同様の利率で借入れをしていたこともありますので、長期プライムレートなどの利率の変動などを見ても、2%やそれ以下で借りられている状況というのは、決して高過ぎるものを借りているということでは基本的にはないというふうに思っております。

その上で、財政融資ですとか金融機構とか協会のやつがというふうなところがありましたが、財政融資や金融機構などについては、基本的には、ある面、これを使うというのが条件になっています。地方が全体で資金調達をするときに、国が、一定、全体で借りられるように、地方が資金調達に困らないように、地方債計画に基づいて地方債が国で発行される分というのは毎年確保していますので、そこで借りていくことで、地方自治体が安定して地方債運営ができるようになってきているというのが、まず1つ目の建付でございます。なので、財政融資などを使うことになっているというのは、そういう面でございます。

2つ目に、例えば、市町村振興協会などは、一方で、我々が努力してというか、そういうのをこういう市債で使いたいというふうにして手を挙げて使っていくって、安い利率の運用先調達をしているというものもありますので、大きな意味でいうと、地方が、2点目ですけど、資金調達ができるように、国が地方債計画を立てているものに基づいて借りることになっているものもあって、そういったもので豊明市も地方債の資金調達をさせていただいているというのが2点目というところでございます。

ですので、そういった形で運用をした結果として、初日の健全化判断比率で御報告したように、実質公債費比率も将来負担比率も適正な形での運営ができていますので、国の地方債計画を基に我々も有利な地方債などを使いながら健全な運営ができているのかなというのが全体のルールというか概要と今の運用に対する認識というところでございます。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 なので、ちょっとお聞きしたい。今の説明ですと、地方公共団体、金融機構と、この財政融資資金というのが、ある程度、国のほうでということなんですけど、こういった事業をやりますよって言ったときに、国のほうが、もうこういった起債、

地方公共団体の金融機構で借りてくださいとか財政融資資金でという、そういう何かメニューの準備っていうのがあってやるという、そういうことですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 基本的には、委員御指摘のとおりです。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 それは、自治体の判断で、いや、民間のほうで競争してやりたいという、そういうことはできないんですかね。やろうと思えばできるのか、どういうふうですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 前者です。基本は、財政融資で借りるべきものは財政融資で借りるというルールになってます。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 副委員長。

○郷右近 修委員 雑な話で申し訳ないんですけど、その人件費だったり、その金利だっなどの影響で、要するに、1円の価値というか、その変動がどんどんなっていくという中で、この6年度をまとめた段階では、従来型のその基金の大まかな目安の金額とかいうことは持ちながら運営してきたと思うんですけど、それは、一応、6年度末まででいえば、そのまんまだったという考えですかね。要するに、都度変わっていくようなレベルの急激な変化に感じているもんですから、いつか何かそんな議論が出てくるのかなって。年度、年度ごとの半年レベルでも、もう物価がどんどん変わるとかそういうふうな状況になってきているんだから、何かどんなもんなのかなと、ぼんやり、ここ2年ぐらいずっと思っていたんですけど。

（発言する者あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） もう一回聞き直します。もう一回、いいですか。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） ありがとうございます。インフレの影響はどう考えているかというところでございますが、認識と実態というところで申し上げますと、実態においては、公債費比率が今回で申しますと400万円、前年度より上がっています。一方で、利子です、利子分の収入は600万円上昇しています。なので、毎回そうなるわけではありませんが、いろいろな運用の工夫などもあって金利のある世界になっておりますが、6年度においては歳入側のほうが上振れをしておりますので、本市のような基金が比較的積めている

団体にあつては、出側だけではなくて入側にも好影響が及んでおりますので、そのバランスで考えていく必要があるのではないかというふうに思います。

一方で、その物価高騰への認識でございますが、歳出がそういう形で膨れていくことは、一方で、そういう状況に全体がなっておりますので、それは、後追いで税収なども上昇しておりますので、全体がそういう状況で上がっていくということは我々としても認識はしておりますので、そういった中で、引き続き、先ほどのほかの委員の質問にもお答えしましたとおり、健全ではあります、堅実な予算編成を行っていく必要はあるというふうには思っております。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 鈴木委員。

○鈴木智和委員 決算カードですけれども、債務負担行為について、1点お聞きします。債務負担行為は142億7,000飛び9万7,000円……。違う、7,000飛び、すみません……。142億七千九万、すみません。ちょっともう一度やります。142億……。

（7,097万の声あり）

○鈴木智和委員 すみません、7,974万円でしたけれども、すみません。

（発言する者あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） どうぞ、慌てずゆっくりで大丈夫です。

（もう一回、もう一回言つての声あり）

○鈴木智和委員 すみません。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 全然、ゆっくりで大丈夫です。

○鈴木智和委員 では、債務負担行為は142億7,097万円と、地方債現在残高を上回る規模となりました。この規模について、市として、どのように位置づけ整理されているか伺います。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 令和6年度分で債務負担行為持ってきた分だけの金額、もので大丈夫です、お願いします。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 債務負担行為額が決算カード上でおよそ94億6,000万円ほど増加をしておるところでございますが、これの大きな理由が、学校給食センターの整備運営事業の債務負担行為がおおよそ98億強含まれているというのが実態でございます。

その上で認識というところでございますが、地方債を上回るということで、いわゆる投資的な経費とか建設やインフラなどの地方債との御比較ではございますが、98億の給食センターの中にはイニシャルとランニングが含まれておまして、そういった意味では、債

債務負担行為の98億の中にはランニング分というのは、通常、体育……。失礼しました、給食センターを運営していてもかかってくるものが大半含まれております。そういった意味では、それを地方債と同等に比較する必要はないかなというふうに思っております。そういった意味では、現2場を持っていても、いつか必要になる給食センターの投資的な部分が一定程度ここに入ってくるというのは、いつか必ず必要になる必要な取組がここに入ってきておりますし、規模感そのものは大きくは増えておりますけれども、ランニングなども入っているということを差し引いて考えれば、債務負担の影響額は、本市の健全な運営の範囲内で実施が可能な適切な内容が、今回、加わっているというような認識でございます。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） よろしいでしょうか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 ちょっと、今の話、もうちょっとお聞きしたいんですけど、給食センターの関係で100億の債務負担行為が増えています。もともとこの財政の判断比率が出てきたのも、やっぱり自治体の経営破綻というか財政破綻があって、こういうのが出てきた背景かなと思います。その中で、やはりこの債務負担行為が物すごく膨れ上がってというケースがあってっていう話を聞いたことがあるんですけども、しかし、この100億増えたんだけど、この将来負担比率を見ますと、さほどその影響が及んでいないと。ということは、どういうことが作用してて、この100億も増えたのに、そんなに数値に影響がないのかって、そのあたり、ちょっと説明できますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 3点ございまして、1点目が、今、先ほど、鈴木委員からお話がありましたとおり、98億強の中にランニング分が入っていて、ランニング分というのは、通常運営分の費用に、いわゆるなりますので、それは、将来負担比率に反映するものじゃないということ。通常の運営、通常の扶助費の運営ですね、3款の扶助費の運営とかと同じなので、投資的なものではないので、まずそこが違ふと……。違ふというか色が違ふものが入っていると。だから、債務負担イコールいわゆる将来負担比率の将来負担ではないというのが1点目でございます。

2点目に、一方で、では、イニシャルの分ですね、その例えばいわゆる建物の部分があるはずけれども入っていないように見えるという部分でございますが、それは将来負担比率の計上の仕方ございまして、将来負担比率が設定された経緯は、先ほど、林委員がおっしゃったような経緯だというふうに我々も認識しております。そういった中で債務負

担というものが項目の1つに入っているんですけども、実際に債務負担で計上すべきものというのが債務負担全体の中のイニシャル分ということではなくて、現実に行為が終わって、行為ですね、例えば、建物を建てるとか道路を引くとかっていうものが終わった後の債務負担の場合に計上をすべきものになりますので、本市の場合は、まだ契約をした段階であって、実際に建物が建てて払っていく地方債になったとか、実際に払っていく場合でも債務負担の場合があるんですけど、債務負担の割賦払いが残っているというような状況に今はなっておりませんので、基本的には大きな変動が将来負担比率上ないですねという林委員の御指摘は、まだ計上する段階にないからというところでございます。

3点目、最後ですけども、3点目の、とはいえ、一方で、このいろいろなイニシャル分などが仮に実際に償還が始まってきたとしても、概算ではありますが黒字が維持されますので、健全な状態は、この部分が加味された状態になってきても健全であることに恐らく変わりはないだろうという認識でおりますので、今、言ったような将来負担比率の制度の在りようとか意図とかのものは、今、冒頭で最初のほうでお伝えしたとおりですし、実態が反映されてきても、基本的には健全な範囲の中に維持できる投資規模かなというふうに考えているというところでございます。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございます。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 ごめんなさい、今の御説明でちょっと確認ですけども、ということは、建設物が建って、維持管理が出てからちょっと変わるかなぐらいで、今、この現状では、さほど影響はないよと、そういうふうに理解すればいいですかね。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） そうですね。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） もう一度お願いします。

○財政課長（浦 倫彰君） よろしいでしょうか。

林委員御指摘のとおり、今後、反映をしてきます。きますが、黒字の範囲であるだろうというふうに考えているというところでございます。

終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ふじえ委員。

関連。

（発言する者あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 総合計画の件でお聞きしたいんですが、第5次の総合計画が9年…
…。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 総合計画、どっかで見れるとこ、ありますか。
ないですか。確認できるような書類。

○ふじえ真理子委員 でき……。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ない。じゃ、いいです。総括なんで。
どうぞ。

○ふじえ真理子委員 すみません。これも、今回、ホームページに出てるかなと思ったら
出てなくて、かつ、資料請求しなかったの、ここでちょっとお聞きしたいんですが、個
々のことは、またホームページで出していただいていたきたいのと、唯一どうしようか
なと思って、めざすまちの姿の27ですね、これ、カウントの仕方、以前に今の副市長が前
にも説明された年があったんですが、この成果指標の年度別達成率、総括なので、これ、
1点だけちょっとお聞きしたいんですが、令和6年度の実績値が出てるかと思うんですが、
お願いいたします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

伊藤部長。

○行政経営部長（伊藤正弘君） 今、御指摘のものは、ホームページに公表をさせていた
だっているつもりでおりまして、まずもって9月2日の日に出しているつもりで今日臨ん
ではいたんですけども、なので、ちょっと手元に、今、ないといいましょうか。

（発言する者あり）

○行政経営部長（伊藤正弘君） そうなんですね。ちょっと、すみません、そこは、確認、
改めてします。今、委員……。

（発言する者あり）

○行政経営部長（伊藤正弘君） はい。

（発言する者あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） これ、表紙だけですので、見れん、中が見れ
ないね、これ。

よろしいですか。

ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 また決算カードの将来負担比率の下のラスパイレス指数のことです
けども、これ、数値が上がってきてるんですね。人件費が上がってきてると関連してると

思うんですけど、ただ、本市の場合もそうだと思うんですけど、国家公務員も同様に上がってきてるので、なぜ本市は……。同じように上げてると思うんですけど、なぜ本市は、このラスパイレス指数、上がっているのかということはどう考えてるのかということと、あと、これ、県内だと、どのぐらいの順位というか位置なのかっていうのは把握されてますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

伊藤部長。

○行政経営部長（伊藤正弘君） ちょっと県内の相対比較はちょっとできておりませんが、98.6という数字でございますので、基本的には100を超えないところでバランスをしているということで、人件費としては健全な状況にあるというふうには認識をしています。

世代の年齢のボリュームゾーンとかそういうことも影響はしてくるんですけども、団体ごとに、この事情が異なる中で管理してるというところありますが、実際には職員の数を増やしていますので、6年度においても、こういったところは増加要因のほうに振れているということかと思えます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 職員の数が増えるとラスパイレス指数が上がるんですか。ちょっとそのあたりの説明が、つながらなかったんですけど。

（すみませんの声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 伊藤部長。

○行政経営部長（伊藤正弘君） すみませんでした。給与費として上げているというところの要因として申し上げましたが、ラスの指数としましては、人員の数ではなく……。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 人勧で出してる国家公務員の給料にどこまで近づいたか。

○行政経営部長（伊藤正弘君） 先ほど申し上げたその年齢構成、こういったところの要因かというふうに思われます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 いや、ラスパイレス指数が、結構、増えてきて、100%に近づいてきているんですね。先ほどの話ですと、比較的若い職員が多くて給与上昇する人が多いから上がってるっていうそういう理解でいいです。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 伊藤部長。

○行政経営部長（伊藤正弘君） 若い人を採用するということがあります、対応していくために社会人の採用も進めていますので……。

（そういう人が多いからという声あり）

○行政経営部長（伊藤正弘君） 一方で、年齢の比較的上の人たちが増えるということもしながら現場を継続させてるところも要因かと思います。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 そうすると、すみません、逆ですね、上の人が多いから指数が上がってきてるということですかね。

ということと、もう一つ、今、思ったのは、その会計年度任用職員の方というのは、この指数に入ってきてるんですけど。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 伊藤部長。

○行政経営部長（伊藤正弘君） 計上しておりません。入っておりません。

（入っていない声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 今回の最低賃金で上がってる。

ほかにございませぬね。大丈夫ですね。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 以上で総括的な質疑を終わります。

ここで、理事者説明、理事者側の説明者の入替えのために暫時休憩といたします。

午後4時22分休憩

午後4時26分再開

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

続いて、認定議案第2号、国民健康保険特別会計について説明を願います。

近藤保険医療課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） それでは、国民健康保険特別会計の令和6年度決算について、歳出から説明いたしますので、実績報告書の117ページを御覧ください。

初めに、1款 総務費、決算額は9,775万3,866円でした。1項1目 一般管理費での対前年度比141.4%、2,368万円余の増額につきましては、人件費の増及び保険証とマイナンバーカードの一体化準備に係るシステム改修費等によるものです。

続きまして、2款 保険給付費です。前年度と比較し、1項 療養諸費の1目 一般被

保険者療養給付費では、前年度比99.4%、2項 高額療養費では99.1%とやや減額となり、2款全体での決算額は38億1,183万3,286円、前年度より1億9,326万円余の減額でございました。被保険者数の減少によるものでございます。1人当たり額につきましては、増加しております。

続きまして、3款 国民健康保険事業費納付金、決算額は18億7,650万7,891円、前年度より136万円余の減額でございました。

次に、4款 保健事業費4,985万6,080円、前年度より651万余の減額でございました。未受診者対策委託を終了したこと等によるものでございます。

その下、5款 基金積立金20万4,464円で前年度と大きく減額となっておりますが、これは、令和5年度には3億6,739万円を令和6年度の税負担の緩和に充てるため、国民健康保険財政調整基金へ積立てをしていることによるものでございます。積立て後の今年度の現在の基金残高につきましては、1億261万円余となっております。

続きまして、歳入の説明をいたしますので、決算書の137ページをお開きください。

1款 国民健康保険税でございます。一般被保険者の現年度課税分につきましては、調定額、収入額ともに前年度より増額となっております。保険税全体の収入額としましては、最下段、収入済額11億7,200万5,925円で、前年度と比較して2,324万円余の増収でございました。

138ページをお願いします。

2款 社会保障・税番号制度システム整備費等補助金の1,244万7,000円につきましては、マイナンバーカードと保険証の一体化に伴う歳出に対する全額補助でございます。

次に、3款 県支出金でございます。1項1目 保険給付費等交付金の収入額は、保険給付費用に充てるための普通交付金が37億7,983万2,196円で、前年度比2億980万余の減額でございます。

139ページをお願いいたします。

5款 繰入金でございます。

1項 一般会計繰入金は合計で3億9,166万6,361円、前年度より5億6,850万余の減額となっておりますが、令和5年度には、歳出でも御説明いたしました国民健康保険税財政調整基金へ積立てを行ったことによるものでございます。

2項 基金繰入金につきましては、国民健康保険財政調整基金から3億5,000万円を繰り入れ、税収入の不足を補填いたしました。

以上で国民健康保険特別会計の説明を終わります。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） よろしいですね。

説明は終わりました。

認定議案第2号について質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 ちょっと、どっか資料で書いてあったら申し訳ないんですけども、6年度の加入者数が何人なのかお願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 被保険者数につきましては、年間の中で変動いたしますので、年度末の人数と平均の人数と併せてお答えいたします。年度末につきましては9,986人、平均につきましては1万452人でございます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかに。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 それで、決算書というと137のところですけど、被保険者の国民健康保険税の収入の部分で、これ、課税分が全部上昇していると。ここ最近だと加入者数が減少してて金額が減ってるときもあるんですけど、今回、増えてるといのは、やはり上昇した分といのは、税率の改定の影響で税収が増えてるっていうふうでよかったですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） お見込みのとおりです。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 それと、歳出のほうでお聞きします。141から142の一般管理費のところ、前年度比40%増のところですけども、2,300万ぐらい増えてるんですね、前年度と比較すると。ちょっと説明で少しされてたんですけども、1つは、マイナンバーの一体化の関係で、これが900万ぐらい、あと、人件費の増といくと、1,500万ぐらいが人件費の増加なんですかね。それでよかったですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 委員のおっしゃるとおり、主には人件費の増と、あと、それから、保険証の更新が隔年で行っておりますので、隔年で行う年でしたので、それに関する通信運搬費の増、それと、マイナ関連のシステム改修等によるものでございます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員　この142ページの一番上にある電算関係の910万というのが、これは、全額マイナ保険証の一体化のシステム改修かということと、これは、歳入では、全額、国から補助が出てるのでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君）　委員のおっしゃるとおりで、142ページ、一般管理費の説明欄の上から2行目、電算関係委託料の910万6,350円のうちの主にマイナ関係の改修につきましては、800万程度、900万弱ぐらいがそうっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君）　全額、国より出ております。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　林委員。

○林 ゆきひろ委員　あと、138ページの真ん中辺りの保険者努力支援分っていうのが、これもどんどん減少してきてます。これ、県がたしか指し示して、赤字繰入れの金額等を減らした分だけというか、計画どおりやると、こういった金額が増えたりとか、ここで、そのペナルティーっていうんですかね、そういったところで差があったと思うんですけども、今、豊明市だと、そういうのを計画に沿って進めてきていると思うんですけども、ここは、減少してきているのはなぜですかね。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君）　こちらのほう、赤字繰入れにつきましては、決算を翌年度のときに反映されるものですので、若干、年度のずれはございますが、努力支援で豊明市がマイナス要因となっているものは、主にジェネリックの利用促進ですとか、赤字繰入れの解消といったところでございます。ですが、金額的にはでございますが、実際、県内の順位といたしましては、令和5年度では15位、令和6年度につきましても県内16位ということで、決して非常に低い加点となっているわけではございません。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　ほかにございません。

林委員。

○林 ゆきひろ委員　139ページの下のその他一般会計繰入れというのが2,000万あるのは、これは、赤字繰入れなんですか、それとも、何か認められてる繰入れなんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員）　近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君）　139ページのその他一般会計繰入れにつきましては、こちらは、赤字である法定外繰入れと、赤字とはならない法定外繰入れとが合わさった予算

項目でございますが、令和6年度につきましては、基金のほうからそれを繰り入れる形を取っておりますので、この2,000万につきましては、赤字に該当しない法定外繰入れに充てた形で、その下にございます基金繰入金のほうで赤字に対しての充当を行っております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 ごめんなさい、ちょっと分かりにくかったですけど、要するに、その他一般会計の繰入金というところの2,000万円は、赤字繰入れではなくて、この下の基金の繰入れにあるもの、この3億5,000万か、これが赤字繰入れってということですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 先ほど申し上げたもの、もう少し整理をさせていただきますと、その他繰入れ、それから、基金を充当した法定外と法定として認められる繰入れとございまして、その総額が令和6年度は3億7,000万となっております。それに対しまして、一般会計の繰入れから2,000万、基金繰入れから3億5,000万を充ててございまして、その3億5,000万のうち、赤字となるものが3億2,200万円程度ということでございます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 関連。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 法定外の赤字繰入れが3億2,000万でよかったですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 3億2,241万8,000円程度となっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 副委員長。

○郷右近 修委員 今のお話のとこなんですけど、基金に一旦入った形から抛出してるといって、常々何らかの形でって求めた形が部分的に実行していただいているのかなというふうには思いながら見てたんですけど、これもキャラバンのときに言ってくれよって話に言われるかもしれないけど、その6年度でのもし数字があれば、その1人当たりの割合で計算した評価っていうのをちょっと答弁してほしいですね。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 今回の赤字に対して、3億2,240万程度の赤字に対しての1人当たり額は、被保険者数の平均で割りまして3万847円程度となっております。ですが、今回、この6年度に関しましては、非常に納付金の増額、それから、被保険者数の予想を上回る減というのがございましたので、予算を先んじて確保するためにこういった形

を取っておりますが、本来、県の示す県下統一の標準保険料に合わせてくのが本来の姿でございまして、こういった形は取らず、税率の見直しによって解消していくものと考えております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 副委員長。

○郷右近 修委員 じゃ、くどいけど、基本方針は、その従来どおりだから、あくまでもこの令和6年度のその自己評価としては、短期的に、単年度的にやらざるを得ないという状況の中でこうだったっていう、そういう自己評価っていうことですかね。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 委員のおっしゃるとおりです。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 先ほどの御説明で、被保険者数は減ってるけども、1人当たりの医療費は増加傾向っていうことですが、令和6年度の1人当たりの医療費と、それが県下で何番目に高いか、お願いします。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 1人当たりの保険給付費でございまして、保険給付費につきましては36万1,937円で、前年度比6%の増となっております。

それから、県下で何位かということについてでございますが……。お待ちください。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） すぐ出ます。

○保険医療課長（近藤有紀子君） すぐ出ます。

県下でございますが、令和3年から5年の3か年平均の年齢調整後医療費数でございますが、そちらですと4位となっております。それが直近の数字でございます。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 認定議案第2号の資料の1が8ですか、国民健康保険税の滞納者数が5年から……。令和5年、令和6年で82人減ってます。これの要因とか分析は、されてるんですか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 高垣課長。

○債権管理課長（高垣茂晴君） お願いします。そもそも滞納分の調定額が減っておりますので、その分が減っているという形になります。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） ほかにございせんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 令和6年度で、先ほどマイナ保険証一体化と説明がありましたけども、これって、どれぐらい、そのマイナ保険証で一体化してるかとか、あと、それ以外は短期証明になるんですけど、その辺の割合とかってというのは把握されてますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） まず、マイナ保険証の登録に関してでございますが、令和6年度中の登録につきましては、令和6年度中に597件登録のほうが進んでおります。直近6月の直近の数字で現状をお伝えしますと、登録率については68.7%でございます。

それから、短期証についてでございますが、基本的に短期証のほうは、マイナ保険証にひもづけになったということではなくなる形となっております。ですので、代わりに徴収に関しては徴収相談の御案内を送るという形を取るようしております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 マイナ保険証ではない方に、どういう証明が送られるんですけど、短期証明ではなくて、どういうものですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 短期証は、期間を短くした保険証でございますので、今、委員の御質問の内容につきましては、資格確認書になるかと思えます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績の118ページの真ん中辺りの特定健診のところですけど、この受診率を6年度の分をお願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 国保の特定健診の受診率につきましては、国のほうに一旦報告をして法定報告という形で年度がこちらのほうもずれてまいりますので、令和5年度が直近のものとなります。そちらのほうの数字につきましては、44.4%が健診受診率となっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 若干、前回と下がってる、ほとんど近いですが、若干下がってるよ

うな気がするのとはなぜかということと、あと、これ、昨年もその前も未受診者対策っていうのをされてたと思いますけど、6年度はなくなってるんですけども、これは、それもなぜですか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 若干、受診率が下がっていることにつきましては、コロナ後の影響とか多様な要因が考えられると思いますが、一番想定される場所は、団塊の世代というか、非常にこういった健康問題に関心の高い世代が一気に抜けていった形で下がった影響があるのではないかなと思っているところです。

未受診者対策につきましては、3か年にわたりましてAIを用いた分析等を行ってまいりましたが、そこで、ある程度、担当のほうで経験というか、こういったやり方なのかというところがかめましましたので、令和6年度には、一旦やめた形で、別な国保連のサービスを利用いたしまして812人の方に未受診者案内を同様な形で送っております。こちらのほうは、予算的には、決算的には需用費のほうで対応しております。

令和7年度につきましては、そこ、データ、国保連のサービスのほうをいろいろ調査した結果、新たな予算として計上させていただいているものでございます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） ほかにございませんか。

今、挙げた。

清水委員。

○清水義昭委員 実績報告書の116ページが一番分かりやすいかと思うんですが、こちらの国保のほうも恐らく収納コールセンター業務の関係で電話等されていると思いますけども、現年度分が、多分、未納額が上がってるんですよ。これは、どういうふうに行ったんでしょうか。収納コールセンターのほうですね。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 答弁願います。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） コールセンターにつきましてはお答えをさせていただきますが、基本的には、2款でお答えした内容と同様でございます。

未納額が上がっていることにつきましては、また債権課のほうの担当内容かと思っておりますので。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 高垣課長、いいですか。

高垣課長。

○債権管理課長（高垣茂晴君） コールセンターのほう、現年分なんですが、現年分、市

税全般ですね、全般を行っておりますので、特別その国保だけが後回しになってるとかそういうことはございません。全体として収納を促しているという形になりますので、そこで御理解いただけるとありがたいです。お願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

清水委員。

○清水義昭委員 ということは、これ、国保税についても、その収納コールセンターのほうから、その御連絡を差し上げたにもかかわらずその収納率が上がってしまったというのは、そういうふうな理解ができるんですけど、それでいいですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 高垣課長。

○債権管理課長（高垣茂晴君） 市税と同様にお声かけは均等にさせていただいておりますので、そのように御理解いただけると助かります。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

副委員長。

○郷右近 修委員 じゃ、債権の話が出たんで、債権のお話が出たんで、実績報告書の116ページ、収納率、各年度ですけども、令和6年度で督促の結果、できずに、その国保税が、だけじゃなくていいんですけど、国保税が入った格好で差押え、競売といった事例があったかが分かればお答えいただきたいと思います。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 高垣課長。

○債権管理課長（高垣茂晴君） 国保の差押えでいきますと314件です。ただ、これは、ほかの税も含んでの差押えということになりますので、延べ数という形になります。

以上です。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） これにて認定議案第2号の質疑を終わります。

続いて、認定議案第3号、土地取得特別会計について説明願います。

田木課長。

○総務課長（田木 勇君） それでは、土地取得特別会計の決算を御説明いたします。

実績報告書で説明いたしますので、122ページをお願いいたします。

令和6年度は、基金の預金利子130万5,681円を基金に繰出ししました。

続いて、123ページをお願いいたします。

1款1項1目 土地取得費、本年度の用地の取得はなく、ゼロ円でありました。

2款1項1目 土地開発基金費130万5,681円は、土地開発基金の預金利子で、基金に繰

出しをいたしました。

以上で説明を終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 説明は終わりました。

認定議案第3号について質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 預金利子が、かなり倍、倍以上かな、上がってるんですけども、これは、先ほど財政課長が言ってた金利が上昇してってということですか。

これ、あと、これは、土地取得の基金の利子っていうことでよかったですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 田木課長。

○総務課長（田木 勇君） 利息の上昇は、金利の上昇によるものです。

これ、土地開発基金の利息となります。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） これにて認定議案第3号の質疑を終わります。

続いて、認定議案第4号、墓園事業特別会計について説明を願います。

松本課長、どうぞ。

○環境課長（松本裕介君） それでは、墓園事業特別会計の令和6年度決算の説明をいたします。

歳出より説明いたしますので、実績報告書の127ページを御覧ください。

1款1項1目 一般管理費です。決算額は、前年度とほぼ同額でございます。主な事務事業としましては、指定管理料、墓園管理基金積立金、永代使用料還付金がございます。

次に、2款1項1目 墓園建設費です。決算額は、前年度とほぼ同額でございます。

128ページを御覧ください。

3款1項1目 公債費、元金及び2目 利子です。平成25年度から第2期第3工区建設債の元金償還が始まり、令和8年度まで償還をしております。

以上、歳出合計1,831万5,297円でございます。

続きまして、歳入の説明をいたします。

実績報告書の126ページを御覧ください。

上段の表は、永代使用料の収入状況です。前年度と比較して約349万9,000円減の532万2,000円となっております。令和6年度は10区画の申込みがありました。

下段の使用状況の表は、総区画数を基に返還も含めた令和6年度中の移動状況を示したもので、残数は732区画となっております。

次に、永代使用料以外の主な歳入の説明をいたします。

歳入歳出決算書の169ページを御覧ください。

中段、3款1項1目 基金繰入金です。基金から約975万1,000円を繰り入れております。

以上、歳入合計1,959万1,930円でございます。

以上で墓園事業特別会計の説明を終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） よろしいですね。

説明は終わりました。

認定議案第4号について質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 墓園の……。

（ページはの声あり）

○こんどうのぶお委員 ページは129かな、指定管理料ということで550万、公園パートナーズということなんですけど、今まで仏花販売とか墓園管理サービスにしてるんですけど、そのまた新しいようなサービス等は、できたんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 仏花の販売であるとかは好評ですので、引き続きやっていたいております。

あと、サービスというか試験的に環境に優しい除草剤、重曹であるとかお酢、お湯などを使った草の抑制というのにもやっていますので、空き区画やなんかにもつなげていけるということで、市民サービスの向上につながっておると考えております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかに。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 127のところなんですけど、勅使墓園の除草ってあるんですけど、これ、大分、何回ぐらいやってるんでしょうか、年間。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

（129ページの声あり）

（指名してないですの声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） すみませんでした。除草につきましては、まず低木と草の刈り込みを、当然、お墓をお参りされる方の状況に合わせるんですけども、基本的に4月から入って、7、8でお盆に向け、次にお彼岸なので9、10ですね、年明け1、2というふうに、ずっと除草に関してはやっていますし、何か少し市民の方から、ここが少し伸びてるよとか、我々も見に行くと少し伸びてるよという状況があれば、その都度除草のほうをお願いしております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 鵜飼委員。

○鵜飼貞雄委員 ちょっと松本課長、元気がないので、大きい声でお願いします。

実績報告書の126ページですね、いわゆる新規での許可の分と返還の分ですね。やはり返還のほうが多くなって、区画数がだんだんと減っているという現状の中、数年前より、その市外の方も受入れするようになってから、市外の方、ちょっと方向見ないといけないのかなというふうに思うんですけども、何か市外の方に対して市のほうからのこの積極的なPRとかそういったものというのは、されてるのでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 市外の方につきましては、市外のショッピングモールであるとかそういったものところにチラシのほうを置かしていただいたりして、そういうところで働きかけを行っております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今ので、区画が結構減ってるんですけども、この10区画のうち、市外が何人で、市ってのは、どうでしたっけ。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） もう書いてある、市外。

○林 ゆきひろ委員 そうか、そうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） そこに書いてますよ。

○林 ゆきひろ委員 分かりました。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 岡島委員。

○岡島ゆみこ委員 ここには、126ページには、区画を買われた方、そして、返された方の数字ですが、実際に、この放棄されて、管理が放棄されてる方っていうのは、実数的に把握されてるのでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 把握のほうはさせていただいてまして、例えば、草刈りがちょっと滞っているとかそういった方につきましては、お手紙のほうで、よろしく願いますという形で。実際に長いこと放棄されていらっしゃるといのは、我々、令和4年度、5年度で少し調査のほうを行っておりますので、そういったところで、一定程度、確認はできておるといことになりますので、連絡のほうは取らしていただき続けているという状況になります。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほどの件で区画が減ってるんですけども、これ、民間がパートナーズで指定管理で委託してますけども、そういう民間のノウハウとか広報とか、そういうのは活用できてないんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 現状、パートナーズさんにつきましては、お墓の販売促進という部分については、我々から何かやっていたってことはございません。ただ、やはり状況として、本市に限らずお墓の販売状況といのはあまり芳しくはないものですから、このまま放っておくということはありませんので、何かお墓の無料相談であるとかそういったことも検討しつつやっていきたいなというふうに考えております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにござい……。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 その区画が減ってることで、かなり厳しい収支状況になってるのかなと思うんですけど、基金の繰入れが、以前、800万か900万ぐらいがちょっと多めに入れてはいるんですけど、これ、実質収支で見ますと、決算書172ページですね、実質の収支額が120万と、かなり少なくなっています。以前だと400万を超えてあったんですけども。これは、その……。いつもは基金を繰入れて、少し翌年度の繰越しをつくってたんですけども、この辺は、なぜこういうふうにぎりぎりの金額でやるような会計にして進めてるんでしょうか。何か考えはあるんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 建設当時の起債の償還が令和8年度までということがございます。お墓の返還、確かにございますけれども、逆に言えば、返還していただいたお墓というのは、我々がきちんと販売できれば、そこはまた永代使用料という形で入ってきます

ので、そういったところを含めて少し耐えつつ、起債の償還を待たずに販売の促進を図っていくという形ですので、実際に、その今の状況に合わせた形の収支ということになります。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） これにて認定議案第4号の質疑を終わります。

続いて、認定議案第5号、介護保険特別会計について説明願います。

今枝長寿課長。

○長寿課長（今枝 翼君） それでは、認定議案第5号、介護保険特別会計の歳入歳出決算状況について御説明いたします。

まず、決算書において歳入歳出の概要を説明いたしますので、107ページをお願いいたします。178ページをお願いします。

178ページ、一番下、歳入合計の収入済額欄です。歳入決算額は、58億1,717万1,540円、前年比2億6,397万9,224円の増額となっています。

主な増減について御説明しますので、177ページを御覧ください。

1行目、1款 介護保険料は、収入済額12億7,999万2,716円で、前年比5,642万円の増、収納率は99.43%でした。3年に1度の介護保険料改定に伴う増額となります。

3行目、3款 国庫支出金は、約6,871万円の増額で、こちらは、介護報酬改定等により給付費が増えたことによるものです。

4行目、4款 支払基金交付金は、約8,561万円の増額で、こちらは、40歳から65歳までの方の2号被保険者の保険料相当分になります。

5行目、5款 県支出金は、約3,824万円の増、一番下、9款 諸収入は、約2,716万円の減額で、第三者納付金の減額が主な要因となっております。

次に、179、180ページの歳出になります。

180ページ、一番下の歳出合計の支出済額欄になります。歳出決算額は、55億9,626万2,933円、前年比2億9,243万676円の増額となっています。

では、歳出の主なものにつきまして、実績報告書にて御説明させていただきますので、実績報告書133ページをお願いいたします。

まず、上段、1款 総務費です。総務費全体では1億5,451万4,173円、前年比約1,804万円の増額となります。一番上の行、1項1目 一般管理費は、1億310万8,873円で、前年比約1,156万円の増額及び3項2目 認定調査等費は、3,827万2,632円で、前年比約936万

円の増額となっております。これらは、主に、職員、認定調査員等のパートタイム会計年度任用職員など、介護保険事業に係る人件費の増額によるものになります。

続いて、下段、2款 保険給付費です。保険給付費全体では50億2,338万2,259円、前年比約2億6,412万円の増額です。主な増額としては、1項1目の居宅介護サービス給付費、約6,192万円の増、2つ下、3目の地域密着型介護サービス給付費、約3,229万円の増、さらに2つ下、5目の施設介護サービス給付費、約1億2,758万円の増、134ページの2行目、9目の居宅介護サービス計画給付費、約1,635万円の増、下から3行目、4項1目 高額介護サービス費、約1,475万円の増などが主な要因です。

続いて、135ページをお願いいたします。

下段、3款 地域支援事業費は、1億5,128万3,953円で、約417万円の増額となっております。

続いて、136ページをお願いいたします。

中段、5款 基金積立金です。前年比551万8,000円増の2億253万円を積み立てました。

続いて、137ページをお願いいたします。

7款 諸支出金は、5,928万2,198円で、約135万円の減額となっております。2行目、1項2目 償還金、約303万円の減額が主な要因となっております。これは、前年度の介護給付費負担金などの国や県への返還金となります。

以上で説明を終わります。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 説明は終わりました。

認定議案第5号について質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

よろしいでしょうか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書133ページの介護給付費の中ですけれども、こういった施設介護だったりとかグループホーム等での待機の人がどれぐらいあるかっていうのは分かれますか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 答弁願います。

今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） 特別養護老人ホームの待機者数調査であれば、県のほうの調査になりますが、直近が令和5年調査になっていて、これは27名の待機があるといったものになります。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 これは、毎年調査ではないんですかね。6年度の調査っていうのはされてないんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） およそ3年に1度の調査と聞いておまして、ちょうど今、調査が来ているところで、まだその結果が公表されてないというところになります。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

鈴木委員。

○鈴木智和委員 実績報告書の8ページに介護給付費準備基金の残高が11億6,824万1,879円となっています。この水準について、市としてどのように評価していますか伺います。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） 介護給付費準備基金の残高でございますが、こちら、11億なんですけど、その後に現時点では、その後、2億4,000万ほど取り崩しておまして、そうすると、前年度と比べるとやや少なくなっておるといった状況にはなっておりますこと、まず御説明させていただきます。

水準についてどうかということなんですけれども、やはり今後給付費が増えていくということを見ると、今の水準を維持しておくのが妥当ではないかというふうに考えております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにござい……。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今のところに関連してですけれども、決算書でいうと189ページの一番上のところが基金の繰入れです。これが1億6,000万ですね、1億6,000万の繰入れをしています。反対に、積んでる部分は、どこだったかな、実績報告書だと136ページですね、のほうで基金の積立て。決算書は、200ページかなの上から2段目ぐらいです。これ、2億ぐらい積んでいるということで、これで見ると、繰り入れてる部分よりも積んでるほうが多いということになるので、余ってる状況といいますか使い切れてない状況だと思います。先ほど基金の積立て状況っていうのが、もう10億ほどあって、それが今後の増加で必要だとは、そんなにも必要だとは思えないんですけれども、どのように考えておりますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） 委員御指摘の趣旨としては積み過ぎではないかというような御懸念というふうに拝察しますが、先ほど、その差額の話されましたが、基本的に6年度の決算で見ると、1億6,000万円取り崩して2億積んだよということにはなるんですけども、2億積めたというのは、給付費の伸びが予想以上に、それほど伸びなかったという結果で2億円積んでいるというところになってございます。それで、介護保険の事業は、3年に1度になりますので、6、7、8と3年ございます。通常は、上昇トレンドが続くと、同じ上昇で行くとなると、7年度が中央値という形にはなるんですね。逆に言うと、6年度は、その分は少ない、給付費としては少ない見込みになりますので、そこなので積めたというふうな、結果論になってしまうんですけども、そういった状況になりますので、そのように御理解いただければと思っております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 そうすると、今後の伸びを予想すると、7年度、8年度で、この10億が必要……。必要というか、それぐらい使うのではないかとということですか。ちょっとそれは、そこまではないような気がするんですけど。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） ごめんなさい、3年で10億を使い切るというような計画ではございませんので、さらに今後、やはり伸びていくということも考えられます。一方で、これ、介護保険料の伸び、上昇を抑制するために基金を積みせていただいておりますことにはなりますので、今後、65歳以上の人口、今、実際に減ってきているというところで、支えるというか割るほうも減ってきてしまっているということもありますので、そして、そこへ来て、85歳以上の方の率もかなり高まってきておるとなると、給付費もどんどん増えていくと。となると、もう近い将来、かなり保険料を上げなければならないということが想定されるものですから、そういったことの対策としてこのような状況になっておるといふふうに御理解頂戴できればと思っております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございません。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 いつもそのように説明されて、前回の3年間も結局どんどん積んでということで、また介護保険料が引き上がってということなんですけど、これ、3年間で、それを適切に給付して運営していくと、そういうことではないんですか、趣旨は。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） 介護保険財政ですね、3年で全て終わるわけではなく、今後も続いていくものだというふうに考えておりますので、やはり世代間の公平になるということだと考えると、少なからず取り崩す額をある程度抑えつつ、全額使っちゃわないということなんですけど、早い話が、そういった形で運営しておく必要があるというところになっておりまして、特に顕著な伸びっていうんですかね、給付費の伸びと保険料を支える65歳以上の方の減少という二重の要因がもう近い将来考えられるものですから、そこで、かなり伸ばさなくてもいいような形でしっかりと基金については一定の水準を確保しておく必要があるというふうに認識しております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 もちろん3年間で終了というわけではないのは承知してるんですけど、その3年間の中で介護保険料を設定して、それでうまく給付してやっていくということだと思うんですね。それが、前回の3年間だと積み上げてきちちゃっていると。それ、要するに、今、積み残しなわけですよ。今回のこの3年間で、それって、ある程度消化していく必要があるんじゃないかなと。またこの3年間でさらに積み上がっていると、やっぱり介護保険料高かったんじゃないかなということになるので、そのあたりはどういうふうに考えてるかっていうことをお聞きしたいです。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） 実は、9期の保険料を設定する段階でこちらの議論は行われておりまして、基金の取崩しの見込額というところが保険料にいくら反映しているかというようなお話をちょっとお示しさせていただくと御納得いただけるのかなと思います。

少しお待ちいただいてもいいですか。

お待たせしました。

現在、第9期の保険料の標準の月額が5,865円となっております……。ごめんなさい、5,825円となっております、失礼しました。これは、準備基金を取崩しの影響がないものとする、実は、これは6,497円になると、そういった試算で今回の保険料、9期の保険料は設定されております。ですので、6,497円の10.3%ですかね、10.3%は、これ、取崩しにより抑えさせていただいたというふうに、そういった議論の中で9期が設定されております。ただ、確かに、今回、崩せてないといった御指摘かと思いますが、それは最初に申し上げたとおりで結果のお話ということになりますので、給付費が見込みより伸びずに抑えられたというところを、そういった認識でおります。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 じゃ、ちょっと確認で、9期の3年間での取崩し金額、そのときの、抑制するためにこんだけ取り崩すって、それは幾らで設定されてました。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 9期のやつ。

○林 ゆきひろ委員 そうですね。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） そうか、6年で最初か。

今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） ごめんなさい、私、はっきりした数字を、今、手元にはありませんが、試算すると、計算間違ったらごめんなさい、4.5億ぐらいになるというふうに試算しておるといふふうに計算をさせていただいております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 副委員長。

○郷右近 修委員 実績報告書の132ページ、保険料の調定額と収納率。ここで見ると、その普通徴収が、調定額は金額が大きくなってきていると。被保険者数の増加が、この普通徴収区分の被保険者も増えているということだとか、全体としてその保険料の金額が高くなっているということの影響で調定額が増えるっていうのは分かるんですけど、収納率が94、95、96と収納率が高くなっているというのは自分としては真逆のように感じているので、これは、これだと3年分ですけど、その今の対象者のその様子や見込みとして、どういうふうに6年度は締めくくった上で思ってるかについて答弁いただきたいんですが。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） 先ほどの件なんですけど、実は、私も委員と同じ意見で、4年度、5年度、6年度が上がっているのは、逆に下がってくるのかなというふうに認識はしておいたものですから、正直、こちらの分析はできておりません、申し訳ございません。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 副委員長。

○郷右近 修委員 本来的には、普通徴収の区分の人なので、その話も何か想像みたいな話になるんだけど、昨今のかなりの年齢まで、何か部分的にでも労働と、あと、賃金とみたいなことでいうと、何かそういうことと関わった何か分析っていうのも、ほとんど何もできてないっていう、そんな様子ですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） おっしゃるとおりです。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 決算書の186ページの真ん中の保険者機能強化推進交付金が、かなり、ここ最近ですけど、どんどんどんどん下がってきて少ない金額になってきてます。これは、たしか豊明のそういう豊明モデルというのの成果といいますかそういったことで国から出る交付金なんですけども、これ、下がってきてるのは、何か国のそういった財源で減ってるのか、ほかにも頑張ってきてるから本市も減ってきたのか、どういう要因なんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） 国の交付金の評価指標が様々あるんですけども、これまでは、アウトプット評価というか、こういった事業をやれば、このところはクリアするよみたいなどころに加えて、アウトカム評価というか、その結果、介護度がどうなったとか、そういった結果、成果が求められるような指標に変わりつつあるというのはトレンドとして、5年と6年を比べるとそういったトレンドにはなっており、豊明市は、そちらの部分でなかなか高い金額を頂けてないのかなというふうに認識しております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 そうすると、そういう成果として、介護度の抑制といいますか、そういったのが数字としてなかなか表れてきてないという、そういうことでいいですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） 国のこのスキームに合ったものとしては、もちろん他市町村との、交付金なので他市町村との兼ね合いもあるとは思いますが、そちらのほうが、やはり以前と比べてというか、減っている要因としては、成果につながってないと申しますか、豊明市がやっているものとしては、そういった指標は取れていないというのが現状でございます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 副委員長。

○郷右近 修委員 決算書の193ページ、2款1項1目 介護保険の給付費で居宅介護だな、令和6年度で撤退したサービスの事業所はあるかどうかお願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） サービスで撤退した事業所でございますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） もう一度、副委員長、お願いします。

○郷右近 修委員 いいですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） どうぞ。

○郷右近 修委員 所在で消滅したっていうか、というパターンと、範疇として豊明も自分らの事業所のサービスの範疇としていたって、2つ、細かく言えばあるかと思うんですけど、それぞれでもし分かったらお願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） 介護保険の事業所、特に居宅サービスの事業所については、市がもちろん認可というか指定をするものもあるんですけども、県のほうで指定をするものもあり、ただ、市内の事業所だけではなくて、利用も、市外も使えるというところになっており、総数として把握しておるところではありません。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） よろしいです。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 決算書の133ページの……。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 実績書。

○ふじえ真理子委員 ごめんなさい、実績でした。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 百三十……。

○ふじえ真理子委員 実績の133ページの上の枠の中の介護認定審査の辺りに当たるかと思うんですけども、前も一般質問で誰か聞かれたかな、介護申請から認定までの期間で、新規の場合、新規に申請するときと、あと、更新等があると思うんですが、それぞれ、その平均でどのぐらい、その審査申請してから認定下りるまで。人を増やしたりとかされると思うんですが、令和6年度、どんな感じでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） 正確に新規と更新で、その後の流れで何日かかったかというようなデータはございませんが、5年度と6年度と比べてというか、6年度としては、やはり、一時期、介護認定調査が滞っていた時期があるというふうに聞いておりました、その後、人を増やして対応させていただいて、認定調査に行けないことによって長くなるようなことがないような対策は取らせていただいたというふうに御理解いただければと思います。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 関連なんですけども、その認定結果を不服として、その再認定調査をした件数とかが分かるんですか。難しい。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） 集計を特に取っておる項目ではないので、お答えできません。申し訳ございません。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 堀内委員。

○堀内ちほ委員 認定がされた後に、すごく状態が悪いときに認定をされたけれども、それから復活されたりとかしたときってというのは、もう一回認定をしていただいて、軽くなってしまうってことですかね。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） 介護認定が一度出て、その後、状態が変わって、また認定の申請をいただくという区分変更申請というんですけれども、軽くなるほうも重くなるほうも等しく申請をいただくような仕組みになっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 堀内委員。

○堀内ちほ委員 それは、また同じように、また3週間ぐらいかかったりとかしてってということなんですかね。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） 区分変更申請については、比較的そのサービスに直結する部分でもあるものですから、優先して進めるということも、その方の状態に応じてさせていただくこともありますが、基本的には同じ流れになっておるといふふうに御理解くださればと思います。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 堀内委員。

○堀内ちほ委員 本当に重層的支援とかで包括の方たちに、本当によくね、働いてもらって、高齢者の方たちもすごく助かってる部分もたくさんあるんです。だけど、本当に、もう、まだか、まだかって待ってる、もう前回、先日の一般質問でも言いたかったことがいっぱいあるんだけど、待ってる患者さんもいるけれども、お医者さんによって、主治医の意見書というのが提出が遅れちゃって、また認定も遅くなっちゃったりとかもする可能性とかもあったりとかして、その間に症状もまた悪くなっちゃったりとかすることとかもあったりとかするので、その辺の努力とか何かされてるのでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 要は、令和6年度に入って、さっき、人増えたというけど、令和6年度に関して、それをお願いします。

○堀内ちほ委員 それ、重層的に。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） 委員のおっしゃるようなケースですね、やはり、すぐにでもサービスが必要なケースを想定されておられると思うんですけども、そういった場合については、実際にサービスの提供が滞らないように調査を早めるですとか、あと、主治医意見書については、機械的にやってしまうと、申請をいただいてから、主治医に意見書を依頼をするんですけども、そこで実際書けないとかっていうこともまれにあるものですから、そういったことがないように、事前に申請者に確認をしたりですとか、場合によっては役所のほうから確認をしたりだとかというような対応はさせていただいておるところでありますし、あと、サービスですね、介護保険の申請をすれば、一応、サービス自体は暫定のケアプランを立てた上で暫定のサービス利用ということもできますので、そういったことは、周知はさせていただくということになります。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 ちょっとページ数は難しいのかな、実績報告書の134になるのかな、介護地域密着型の施設の関係で、市が把握している範囲でいいんですが、ヘルパーさんの不足だとかってというのは、どの程度聞いているのか。また、例えばショートステイしたいけども、いつでもその使える、もう気軽に使える状況に令和6年度なっていましたでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） そうですね、ヘルパーさんが足りないとかショートステイの受入先が少なくて困るといったような声をたくさん聞いたというような認識は、ございません。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 決算書198ページの下の家族介護支援の委託料で高齢者見守りサポート委託料が利用者がどれぐらい……。多分増えてると思うんですけど、増えてるかということと、この1つ飛ばして下の徘徊高齢者家族支援サービス、これがかなり減って減少してるんですけども、これは、どれぐらい利用されてる方が変化しているのか、お願いし

ます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） 高齢者見守りサポート事業ですが、利用者数としては149名の方で、延べ件数としては1,456件となります。

高齢者介護支援サービス事業委託料のほうですね、こちらは延べ23件で、実利用者は2名の方となっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 令和6年度が2件ということで、見守りサポートは、最初の延べじゃなくして、何百件のほうですね、令和6年は。

今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） 見守りサポート事業が利用者149名。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 令和6年。

○長寿課長（今枝 翼君） 令和6年度ですとなります。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 そっちの高齢者のほう、見守りサポートは分かったんですけど、徘徊高齢者家族支援のほうで、以前どれぐらいあって、今回どういうふうに……。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） さっき言ったよ。

○林 ゆきひろ委員 かなり減ってるんですけど、そこがちょっと分からなかった。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） そういうこと。

○林 ゆきひろ委員 はい。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） 令和5年度の実績と併せて、もう一度説明させていただきます。徘徊高齢者家族支援サービス事業委託料でございます。令和5年度の延べ件数が85人、月というふうに捉えていただければと思います。令和6年度が23人、月と捉えていただければと思います。それに、その実利用者が、令和5年度は10名だったところが令和6年度が2名となっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 かなり減少してるんですけども、いろいろ高齢化が進んでますし、認知症の課題もあるかなと思うんですけど、これは、減ってる理由というか要因は、どういうふうにご考えてますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） これ、そもそも御家族の方が、GPSを見守られる方にお持ちいただいて、外に出歩いたときに、どこに行ったんだということで御家族の方が見るといふところがあるものですから、御家族の方が、独居になってしまったりですとかお亡くなりになった方だとかがいて減っているというふうに、現の分析としてはそのようにしております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告138の、これ、主要委託のところですけども、この一番下に高齢者の緊急一時保護の委託が出てるんですけども、これは結構増えてるんですね。これは、実際利用された件数、まず、そうですね……。多分、この利用された件数だったりとか期間に応じて払われてると思うんですけども、そういった件数とか、その利用期間等をお願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） 緊急一時保護事業になろうかと思う、なります。こちらは、高齢者虐待等により、緊急やむを得ないところで隔離が必要だったりだとかそういったところで、こちらの医療法人さんだとかに一時的に居室を提供いただいて、その期間、過ごしていただくというような内容になりまして、1泊というか1日幾らという形で契約はさせていただいております。それで、令和5年度は4名の方が利用していたところ、令和6年度は7名の方というところになっておるので、その分、金額が膨れ上がっているというふうに御理解いただければと思います。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 清水委員。

○清水義昭委員 同じところですけども、138ページの一番下ですね、17番の今の緊急一時保護のところですけど、あれ、おかしいな、去年の実績報告のところでは自分では2人で3件というふうにメモがしてあるんですけど、令和5年度は4名ということでいいのかという確認と、あと、これ、事業者、委託の事業者のところ、ほかというふうになってますので、もし事業者名出せれば出していただきたいですし、出せないようだったら、何者あるかというのを教えていただければと思います。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） ごめんなさい、昨年度の数字との確認については、今しばらく

くお待ちください。

ほかなんですけれども、どこかというのは差し控えさせていただくんですが、実績としては、もう一施設、別のところでありました。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 今の一時の数字のほうは、後から答え出るんですね。今枝課長、数のほう、何件。先ほど清水委員が、前々年度でしたっけ、で聞いた数は。

○長寿課長（今枝 翼君） 前年度は、今、確認してます。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） いいですね。

副委員長。いいですよ、副委員長。

○郷右近 修委員 先に回答してもらって。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） いいです。

今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） 申し訳ございません、私が4名とお伝えしたんですが、委員の御指摘のとおり、2名、3件が正しかったです。申し訳ございませんでした。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） じゃ、合ってるんだね。

（ありがとうございますの声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

副委員長。

○郷右近 修委員 決算書195ページ、先ほどと似たような話になるかもしれないですけど、高額介護サービス費の金額の伸びが顕著かなと思うんですけど、これは、調定額なんかと比較したっていう単純な自分の認識ではあるんですけど、これは、何か理由や背景があるのか、本当、偶然たまたまみたいの、何かそういう分析みたいなものっていうのは何かありますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） 高額介護サービス費の伸びでございますが、こちらは、給付費が伸びておるところで、介護報酬改定により、サービス平均なんですけれども、2パー、2.59%、全体として伸びておるところに加え、豊明市の事業所の利用者に限るんですけれども、令和6年度から、地域区分6%、5年度までは6%だったものが、6年度からは10%になっており、その分も伸びておるところからすると、利用者負担額がやはりその分増えているというところになります。そうすると、高額介護サービス費の基準については変わらないものですから、超えた分が、その分、多くなるので、支出が増えて

おるといふふうに御理解いただければと思います。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書の138ページの先ほどの主要委託の事務ですけど、上から5段目の高齢者の健康寿命延伸の外出支援ですけども、これ、結構金額大きいんですけども、これ、どのような内容を実施して、しかも、それがどういうふうに効果として出てきているのかをお願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） こちらの事業は、老人福祉センターにおいて行っておる、らくらすになります。らくらすの延べ利用者数が令和6年度だと3,477名、大変好評をいただいております。こちらのほうに参加していただき、介護予防につなげていただいておりますというふうに理解をしております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほどの交付金と関係してくるような気がするんですけども、これによつての、その介護度がどれぐらい抑えられたかとか、そういう効果測定というのはされてるんですか、どうなんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 今枝課長。

○長寿課長（今枝 翼君） その効果測定についてですが、先ほどのインセンティブ交付金と申しますか保険者努力支援交付金だとかそういったものなんですけれども、そちらの成果指標が、要介護一、二の方に対するものだったりとか、なので、ちょっとアンマッチなところがあるというところがあったので、ここの分の増については、そのままその大きな減の要因になったところに連動はしないものにはなっております。ただ、それ以外の、そもそもやっているところでは評価は取れておるので、大きく反映しない理由は、そういったからくりというか、そういう仕組みになっておるといふふうに御理解頂戴できればと思います。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） よろしいでしょうか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） これにて認定議案第5号の質疑を終わります。

続いて、認定議案第6号、後期高齢者医療特別会計について説明をお願いします。

近藤保険医療課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） それでは、後期高齢者医療特別会計の令和6年度決算につきまして、歳出から説明いたしますので、実績報告書の141ページを御覧ください。

初めに、1款 総務費でございます。

1項 総務管理費、決算額は965万4,824円です。会計年度任用職員報酬や保険証更新に係る事務費でございます。

2項 徴収費の決算額については、690万8,757円ございました。

3項 保健費、決算額は599万5,225円となっておりますが、前年度より4,528万円余の減額となっております。こちらにつきましては、はつらつ健診及び保健事業と介護予防の一体的実施事業に関する歳出について、一般会計に移行したことによるものでございます。

次に、2款 後期高齢者医療広域連合納付金でございます。決算額13億4,999万1,669円は、前年度より1億8,647万円余の増額となっておりますが、こちらにつきましては、隔年で行われます料率改定と被保険者数の増による保険料の増額によるものでございます。

続きまして、歳入を御説明いたします。

決算書の213ページを御覧ください。

1款 後期高齢者医療保険料でございます。収入済額につきましては、合計で11億6,151万7,639円でございます。前年度より1億6,511万余の増額となっておりますが、こちらも先ほど説明させていただきましたとおり、隔年で行われます料率改定と被保険者数の増によるものでございます。

続きまして、2款1項 一般会計繰入金でございます。

こちらの1目 事務費繰入金につきましては2,089万3,473円で、前年度より248万円余の減額、2目 保険基盤安定繰入金につきましては、保険料の低所得者軽減分を繰り入れるもので、1億8,803万2,891円、前年度より2,071万円余の増額となっております。

続きまして、214ページをお願いいたします。

上から2段目、4款3項 後期高齢者医療広域連合支出金が69万4,000円と前年度比4,260万円余の大幅な減額となっておりますが、こちらにつきましても、先ほどと同様、はつらつ健診及び保健事業と介護予防の一体的実施事業の受託金を一般会計に移行したことによるものです。

以上で説明を終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） よろしいですね。

説明は終わりました。

認定議案第6号について質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

副委員長。

○郷右近 修委員 さっきの話と……。実績報告書のページが140ページの保険料の調定と収納率で、さっきと同じように、その普通徴収で見て、保険の対象者が被保険者が増加して、また、金額的にも1人当たりが伸びれば調定額が高くなり、収納率が落ちるかと思うと、そうではなく、なおかつ、ただ、滞納の繰越分のほうを見ると、これは当たり前といえは当たり前なんですけど、過年度よりも現年度に近いほうが収納率低いというのは当たり前かもしれないんですが、この辺の傾向としては、もう少し分かりやすく下がるものかなと思っていたんですけど、6年度を締めた段階で評価というか見解っていうのは、どんなものでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 後期高齢者医療につきましては、ほとんどの方が特別徴収となります。特別徴収の方の割合が78%ほどとなっておりますので、保険料の改定に合わせて収納率が下がらないというのも、その辺りが一番大きな要因かと思えます。

ただ、滞納につきましては、低所得、年金額が非常に少なくて年金特徴ができないような方が普通徴収となるような形が多くなっておりますので、そういったことで、なかなか一旦滞納になると、その後の解消がなかなか難しい状況なのだと考えております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 副委員長。

○郷右近 修委員 そういう意味では、近年の、近年もしくは令和6年でいいんですけど、同じ方が滞納になるというか、固定化されるような実態がもしあるようなら答弁いただきたいんですけど、傾向としてどんなあんばいか、お願いします。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 具体的にどういった背景がとかいうところまでは難しいですが、そういった傾向は、一定程度あると考えております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） ほかにございませんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 今のところの特別徴収と普通徴収の先ほどパーセンテージ言われたんですけど、人数と、令和5年度と比較したいんですけど。

○決算特別委員長（中堀りゅういち議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 全体の人数がそもそも変わってまいりますので、全体

の人数から申し上げますと……。どれだろう、ごめんなさい……。

まず、特別徴収の人数について、令和5年度、令和6年度についてお伝えします。令和5年度につきましては8,407、令和6年度については8,476でございます。全体の被保険数につきましては……。今の納付人数をそのまま当てはめた人数でなくて申し訳ありませんが、参考程度にになります。被保険者数は、年度平均で令和5年度が1万553、令和6年度は1万855になります。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 普通徴収も聞いていましたっけかね。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 普通徴収。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） はい。

近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 普通徴収、足していただければと思うんですが、令和5年度が口座振替が1,959、納付書によるものが824、令和6年度は、口座振替が2,123、納付書によるものが911でございます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございせんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今のところの件で、この後期高齢のほうも、まず債権のほうで収納コールセンターが対応しているのかっていうことと、あと、ここも差押え等があったのであれば、どれぐらいあったのかお願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 後期高齢については、コールセンターは対応しておりません。

それから、差押えについては、特に、そういったケースはございませんでした。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございせんか。

ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 すみませんでした。これも毎年お聞きしているかな、1割負担、2割負担、3割負担の人数、お願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） 1割負担から順番に申し上げます。1割負担が7,174、2割負担が2,884、3割負担につきましては945でございます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 先ほど、最初の説明の中で、はつらつ健診の健康……。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） どこか。

○林 ゆきひろ委員 これ、どこっていうんだらう……。実績の141の1款3項 保健費のところですかね。はつらつ健診が一般会計に抜けたというところですけども、まず、その抜けた要因は、理由は何かということと、実績の142ページの中で委託ではつらつ健診の、これ、データ委託があるんですね、100万。これは、これだけ何でこの特会で残って、で、実際の健診のほうは一般会計になったのかっていうところも、ちょっと説明、お願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） はつらつ健診と介護予防と保健事業の一体的実施事業に関しても同様なんですけど、令和5年度に広域連合のほうから受託を受けているこうした事業に関しまして、愛知県だけでなく、全国的にも行われているんですけど、国のほうから消費税の該当事業に当たるということで指摘の通知がございまして、特会のほうから一般会計に歳入歳出合わせて令和6年度より移したことによるものでございます。こちらにつきましては、保険者が特定健診とか一体的実施は保健事業として行っているもので、やるよう定めがされているものでございます。広域連合のほうがその主体となるものでございまして、市町村がそれを受けるものということで、特別会計でやらねばならないということではないということに移させていただいております。

先ほどのデータ委託と分けている理由につきましては、受託事業の外でやっている入力等の事務事業になりますので、そちらについては、特別会計のほうに残したということになっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 ごめんなさい、受託事業の外でやってるってところがちょっと分からなかったんですけども、同じのはつらつ健診の内容ですよ。データ処理だけ、この特会に残ってるのはなぜか、ちょっとそこが分からない。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 近藤課長。

○保険医療課長（近藤有紀子君） もちろん広域連合のほうからは、はつらつ健診を行っ

たことと、その報告等も含めて受託となっているものでございますが、その入力とかその事務に関しましては独自で集計等を行っている部分もございますので、一般会計に残したものでございます。

以上です。

(発言する者あり)

○決算特別委員長(中堀りゆういち議員) もうちょっと……。何かちょっと分かりやすく頼みます。お願いします。

○保険医療課長(近藤有紀子君) まず、1つ修正をさせていただきます。先ほどの回答の中で、データ入力については特別会計に残したものでございますという点を1点修正させていただきます。

受託事業となっているものの項目の受託メニューの中から外れる内容であるため、特別会計にそちらのほうは残したということでございます。

○決算特別委員長(中堀りゆういち議員) 項目があつて、それじゃないってこと。よく分からんけど。

ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 あとは、実績の141ページの真ん中の納付金ですけども、これ、増えて、毎年増えてきてるんですけども、これは、やっぱり給付費というか保険が必要な方が増えてるからかということと、あと、その県内の割合、負担割合っていうんですかね、保険料率というのか、その辺もやっぱり増えてきてるんでしょうか。

○決算特別委員長(中堀りゆういち議員) 近藤課長。

○保険医療課長(近藤有紀子君) 納付金につきましては、徴収した保険料と、あと、基盤安定で繰り入れた額につきまして納付金として県に納めるものでございます。ですので、こちらにつきましては、保険料率の改定と被保険者数の増加とで増えているものでございます。

県内でということでございますが、後期高齢者の保険料につきましては、県下一斉の改定となりますので、これに関しましては、その実績について納めるものとなっております。

以上です。

○決算特別委員長(中堀りゆういち議員) ほかにございませんか。

(進行の声あり)

○決算特別委員長(中堀りゆういち議員) これにて認定議案第6号の質疑を終わります。

それでは、ここで会議の途中ではありますが、10分間の休憩といたします。

午後5時54分休憩

午後6時4分再開

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

続いて、認定議案第7号、水上太陽光発電事業特別会計について説明をお願いします。

松本課長。

○環境課長（松本裕介君） それでは、水上太陽光発電事業特別会計の令和6年度決算の説明をいたします。

歳出より説明いたしますので、実績報告書の145ページを御覧ください。

1款1項1目 一般管理費です。ケーブル盗難事案に伴う幹線復旧工事により、前年度比756万9,343円増の3,174万6,737円となっております。主な事務事業としては、保守管理委託、施設の保険料、土地借上料及び消費税です。

次に、2款1項1目 太陽光発電建設費です。営繕工事が主な事業でございます。

次に、3款1項1目 公債費、元金及び2目 利子です。施設整備に係る元金及び長期債利子の償還をしております。

146ページを御覧ください。

4款1項1目 他会計繰出金です。これは、一般会計の繰出しになるものです。前年度比829万1,000円減の10万円となっております。

以上、歳出合計6,124万1,889円でございます。

続きまして、歳入の説明をいたします。

歳入歳出決算書の227ページを御覧ください。

上段の1款1項1目 売電収入です。当初の売電見込み約6,069万円に対して、約12%減の約5,325万円となっております。

続きまして、3款1項1目 繰越金です。決算額は、約1,614万円となっております。

以上、歳入合計7,021万486円でございます。

以上で水上太陽光発電事業特別会計の説明を終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 説明は終わりました。

認定議案第7号について質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 148ページの防犯設備設置工事なんですけど、具体的にどのような

な防犯対策の工事をしましたか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 盗難事案を受けまして、防犯カメラを2基、設置をしております。池を映すカメラと、池の周りの通路であるとかそういったところを映すカメラになります。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 147ページの保守管理委託をしてると思うんですけど、この保守管理の内容をお願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 保守管理委託の内容につきまして御説明いたします。保守管理委託は、まず、太陽光パネルの除草、年10回、遠隔監視業務、こちら、24時間365日対応しております。発電所の点検及びパネルの洗浄、発電設備の保守、変電設備の保守、点検等のメンテナンス業務を行っておるものです。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 この委託業者との契約は、いつからなんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） まず、年度委託ですので、1年間になります。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 じゃ、入札ってということなんですかね。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） この事業者とは、入札ではなく、随意契約で契約をしております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） こんどう委員。

○こんどうのぶお委員 随意契約でやる、する理由っていうの、どうなるんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） まず、この24時間365日、夜間であるとかそういったものの対応ができる事業者が、ほかにないということになります。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 清水委員。

○清水義昭委員 同じとこ、147ページですけども、先ほど答弁の中で24時間の遠隔監視っていうようなことが聞こえたんですけども、この令和6年度でケーブルを盗難されていますけども、そういうのは、じゃ、すぐに分かったということでもいいですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 24時間の遠隔監視というのは、電気の設備に異状が発生したときの遠隔監視という形になります。盗難の事案については別の事案になりますので、になります。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 清水委員。

○清水義昭委員 じゃ、すぐに分からなかったというふうに今は理解はしたんですけども、電気の異状というか、そのケーブルを電気が流れてこなかった、それは異状だと思うんですけども、それは、どういうことなんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） ケーブルの電気が流れてこないという異状はですね、確かにございました。ただ、これ、事案的に、早朝より前、明け方に発生しておるということで、メールのほうで電気が切れているという連絡のほうは来ております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 清水委員。

○清水義昭委員 結局のところ、盗難されたのが何時ぐらいで、それが分かったのが何時ぐらいかというのが分かれば、日付も、できれば併せてお願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） まず、盗難の被害です。あったのが令和6年の6月の17日の月曜日の早朝というか明け方になります。遠隔監視しておりますので、電気が切れているというメールは、市役所の代表のメールには来ておりましたけれども、それについては、すみません、確認ができませんでしたので、早朝、若王子池は、朝の散歩であるとかそういったことをやってみえる方いらっしゃいますので、そういう方から警察経由で御連絡をいただいたという形になります。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

副委員長。

○郷右近 修委員 上手に聞くか。決算書227ページ、1款1項1目 売電収入に関わるよ

うに上手に聞きたいと思います。もう5年、もっとですかね、発電と消費のバランスが合わなくて、特に大規模なこういう太陽光に対して、九州が多いですけど、計画的にお前のところから買わねえぞというのをやられるのの対象になりやすいかなとか前々から思ってたんですが、6年度では、そういう予告というかそういうものというのは、何かあったんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 恐らく、出力制御のお話をさせていただいていると思います。
（それです、それですの声あり）

○環境課長（松本裕介君） 7日間、出力制御がございました。

以上です。

（あったのかの声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） そういうのがあるんですって。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 実績報告書の145ページのこの営繕工事66万あるんですけど、これは何の費用でしたっけ。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） こちら、動線のケーブルがむき出しになっておる部分があったものですから、復旧の工事に合わせて、その部分を切られないように囲うという工事になります。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 復旧とは関係ないというか、ちょっと違う部分っていうことですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 復旧は、あくまでも盗難に遭った幹線ケーブルの入替えになります。この営繕工事というのは、復旧と併せて頑丈にするという工事になります。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 それと、決算書227の一番下に雑入があるんですけども、この収入は、何の雑入ですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） こちら、水上太陽光の保険ですね、こちらを盗難を対応する保険に変更しました。ですので、その旧の保険は解約をしましたので、そちらの返金とい

う形になります。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 なので、これまでの保険では今回の盗難には対応できずに、今後、対応できるように切り替えた。あと、以前のやつは、利かなかった、今回の盗難はというふうでいいですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） 委員のおっしゃるとおりです。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 あと、発電量が令和6年度、どれぐらいあったのかということと、実際、発電していない期間は、いつからいつなのかをお願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 松本課長。

○環境課長（松本裕介君） まず、発電できなかった期間は、6月の17日から43日間は発電できない期間でした。

発電量でよかったですか。発電量ですか、売電量、発電量。

発電量につきましては、キロワットアワーでお答えしますと、17万8,837キロワットアワーです。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） これにて認定議案第7号の質疑を終わります。

続いて、認定議案第8号、下水道事業会計について説明願います。

青山下水道課長。

○下水道課長（青山康徳君） それでは、決算書233ページをお開きください。

認定議案第8号 令和6年度愛知県豊明市下水道事業会計の利益処分及び決算認定です。

本認定議案につきましては、地方公営企業法第32条第2項の規定により、剰余金処分計算書に記載のとおり利益を処分することについて、議会に諮る必要がございますので、議決を求めるとともに、同法第30条第4項の規定により豊明市下水道事業会計決算を認定に付するものでございます。

それでは、決算書237ページを御覧ください。決算報告書です。

収益的収入及び支出です。

上段の収入につきまして、下水道事業収益の決算額は、13億5,648万4,124円です。その内訳は、営業収益は、下水道使用料などです。営業外収益は、他会計負担金などです。

次に、下段の支出です。

下水道事業費用の決算額は、11億6,691万5,472円です。その内訳は、営業費用は、流域下水道負担金などです。営業外費用は、企業債利息などです。

ページを1枚おめくりいただき、238ページを御覧ください。

資本的収入及び支出です。

上段の収入につきまして、資本的収入の決算額は、3億9,290万8,400円です。その内訳は、企業債、他会計出資金、他会計負担金などです。

次に、下段の支出です。

資本的支出の決算額は、6億4,578万3,984円です。その内訳は、建設改良費、企業債償還金などです。

なお、欄外におきまして、資本的収入が資本的支出に不足する額について補填する財源の内訳を記載しております。

続きまして、次のページ、239ページを御覧ください。

損益計算書です。

当年度純利益は、1億7,837万313円です。その他未処分利益剰余金に変動額を加算した合計2億4,280万4,826円が当年度未処分利益剰余金となります。

続いて、240ページです。

剰余金計算書です。

資本金、剰余金それぞれに当年度変動額を加算した当年度末残高は、表のとおりとなり、当年度の未処分利益剰余金が2億4,280万4,826円となったことを表しております。

次のページ、241ページです。

剰余金処分計算書（案）を御覧ください。

当年度末の未処分利益剰余金の処分につきまして、当年度純利益1億7,837万313円を減債積立金に積み立て、昨年度減債積立金に積み立てられ、今年度取り崩された6,443万4,513円は資本金に組み入れる案としております。冒頭で申し上げましたとおり、地方公営企業法第32条第2項の規定により議決が必要でございますので、お認めいただきますようお願いいたします。

この減債積立金につきましては、企業債元金償還金に充てるための補填財源として、次年度以降の内部留保資金となります。

続いて、決算書の242ページを御覧ください。

令和7年3月31日時点における貸借対照表です。

ページの左側の資産の部でございますが、資産合計は、148億7,175万2,742円となります。

次に、右側上段の負債の部です。負債合計は、100億2,924万6,833円となります。

下段、資本の部ですが、資本の合計は、48億4,250万5,909円で、負債と資本を合わせた負債資本合計が148億7,175万2,742円となり、左側の資産合計と一致します。

245ページ以降は決算附属書類となりますが、その中で257ページを御覧ください。

キャッシュ・フロー計算書です。

現金のみの動きを示しており、資金増加額は4,066万8,404円で、期末残高は5億5,586万1,934円となりました。

以上で説明を終わります。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 説明は終わりました。

認定議案第8号について質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 決算書251ページの業務量というところですけど、まずは、これ、汚水処理量が前年と比べて減少しているんですけど、下水道料金の対象となる有水量が増えてるんですけども、この減少は、なぜ起こるんでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

ちょっとマイク、あれか。いいな、復活した。

もう一度、青山課長。

○下水道課長（青山康徳君） 汚水処理量が減っているにもかかわらず有収水量が増えてる要因ということがございますけれども、そちらにつきまして、有収水量が昨年度と比べまして1.1%増加しているためでございます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 有収率がってことなんですよね。だけど、その割合よりも、もつと汚水の処理量って減ってるんですけど。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 減ってるのはなぜか。

○林 ゆきひろ委員 なぜですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 答弁願います。

青山課長。

○下水道課長（青山康徳君） 有収水量、有収率は、汚水処理量に対する有収水量の割合ですので、有収率が上昇したことによって有収水量が上昇してるっていう理解になりますが、よろしいでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 要は、パーセントと水量は、ちゃんと比例してるから、そのままですよってことです。

よろしいですか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 じゃ、ちょっと別の観点で聞きますけど、汚水処理量が減ってる、減少してる理由は、人口の減少とかそういうことかなと思うんですけども、もっと前の4年度とか3年度からの傾向で見ると、それ以上に、これ、汚水処理量が減少してるんですけども、その理由は何ですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 青山課長。

○下水道課長（青山康徳君） 汚水処理量の減少の要因につきましては、処理区域内人口の減少によるものです。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 処理費が減少するから汚水処理量が減るのも分かるんですけど、その汚水処理区域内の人口の減少、今までの減少よりも、大幅に、今回、汚水処理量が減ってるので、それはなぜかってことを聞きたいんですけど。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 大丈夫でしょうか。

青山課長。

○下水道課長（青山康徳君） 汚水処理量の減少ですね……。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） もう一度、聞きますか。

○下水道課長（青山康徳君） もう一度、お願いします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員、いま一度、このあれ、汚水処理量の件で、その場所、その汚水処理の施設っていうか、それが減ってるのは分かった上で、その率が減ってるってことを言ってると思うんですが、もう一度ちょっと青山課長に言ってください。

○林 ゆきひろ委員 もう一度ですか。

処理区域内の人口が減ってるから汚水処理は減るのは分かるんですけど、今までのもっと前から傾向を見ると、その人口の減りよりも、かなり大幅に、今回、汚水処理量は減

ったので、それはなぜかっていうことを聞いてるんです。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） まず、分かるかどうか。

青山課長。

○下水道課長（青山康徳君） 皆さん、お一人お一人が使う量の減少に伴うものでございます。節水傾向が反映されてる状況でございます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 鵜飼委員。

鵜飼委員、聞かれますか。

○鵜飼貞雄委員 関連して。

（いいですよ、点減しても多少は生きるんでの声あり）

○鵜飼貞雄委員 生きるよね。

今の先ほどの話でいうと、加速度的にその処理量が減ってるっていうのは、実際、今、例えば、例としてトイレだとすると、その流れる水量とかも昔に比べて減ってますよね。そういったものも要因であるんですかね。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 青山課長。

○下水道課長（青山康徳君） 委員のおっしゃる。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 次のページの252ページの下水道の使用料を見ますと、増えてるんです。これは、汚水処理量が減ってて収入が増えるということは、結構、大手があれですかね、節水してるとかそういう状況だっていうことなんですかね。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 大丈夫ですか。

青山課長。

○下水道課長（青山康徳君） 今、お話しいただいているのは、下水道使用料が昨年度と比べて増えているということかと思えますけれども、先ほどと同様の答えにはなってしまうんですけれども、有収水量が増えます、増えておりますということでございます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかに。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 もう一つ、253ページの今度のほうの流域下水の負担金ですけども、これまでの説明ですと、そういった負担金が上がっているというふうな説明を聞いてたんですけど、これ、減少してるんですけども、これはなぜですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 青山課長。

○下水道課長（青山康徳君） 令和6年度の単価につきましては、5年度と同じ単価となっておりまして、7年度から単価が上がるという形になっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） いいですか。

ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 すみません、ちょっと待ってくださいね……。

流域下水の管理負担金が減ってるのはなぜかっていうところは、どうでしょうか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 要は、7年じゃなくて、令和5年と6年で、今、比べてのお話されてます。お願いします。

青山課長。

○下水道課長（青山康徳君） 先ほど申し上げたとおり単価に変わりはありませんが、流入水量が5年度と比べると減少していることによるものでございます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 流入が減ったんだね。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 じゃ、そうすると、248ページに戻りますけども、今回、5年度、6年度と比較して、経常収支比率とか経費回収率が向上してるのは、先ほどのその下水道料金がそういうふうで有収率で上がって、汚水の処理量が減って負担金が下がっているからっていう、そうすると、こういうふうに変わってきてるってことですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 大丈夫ですか、意味は。もう一度聞きますか。要は、もうがたがた、反対なんですよ。利用は減ってるけど金額上がってるとか、金額上がってりゃ減ってるけど、おかしくないかかっていう話です。よろしいですか。

青山課長。

○下水道課長（青山康徳君） そうですね、経常収支比率の部分でお話しいただいておりまして、この部分でお答えいたしますと、令和5年度、105%だったのが、令和6年度、115%になっております。こちらの経常収支比率の10%、約10%ですね、増える要因としましては、主に営業外収益が増えております。そちらのほうが要因となります。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 その営業外収益が増えているのは何が増えているんですか、営業外収益というのは。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 青山課長。

○下水道課長（青山康徳君） 営業外収益としましては、他会計補助金が増えているという原因となります。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 他会計と、もう一つ、じゃ、ごめんなさい、経費回収率が増えているというのは、それは、あれですか、他会計負担金が増えると変わるんですか、それは。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 青山課長。

○下水道課長（青山康徳君） 経費回収率につきましては、他会計負担金の影響は受けておりませんで……。はい、受けておりません。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） じゃ、まだある、林委員。

○林 ゆきひろ委員 そうそうそう。なので、じゃ、なぜそれは上がっているのかということになるんですけど、なので、他会計負担金だけじゃないと思うんですね、要因は。そこを説明していただきたいです。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 青山課長。

○下水道課長（青山康徳君） 経費回収率の前年度と比べてる増えている要因としましては、汚水処理費用が、前年度、令和5年度と比べて減少しているからでございます。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 なので、もう一回確認しますが、先ほど言ったように下水道料金が増えて、汚水処理が減って、負担金が減ってるから、経費回収率は上がっているというふうで理解していいですかということですけど。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 大丈夫ですか。

○下水道課長（青山康徳君） もう一度、お願いできますか、恐れ入ります。

○林 ゆきひろ委員 なので、下水道料金が先ほどの質問の中で上がっていて、汚水処理量が減ってるから負担金が減ったと、そういうことがあるから、経費回収率がこんなにも上がったんですよねっていう、そういう確認ですけど、それでいいですね。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） それは、林委員、言いたいのは、技術革新が進んでよくなってきたから、その分、経費が上がったんじゃないかっていうことですか。

○林 ゆきひろ委員 違う違う違う違う。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 違う。

○林 ゆきひろ委員 違う違う違う。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員、分かりやすく。

○林 ゆきひろ委員 最初に、下水道使用料が上がってる理由をお尋ねしました。それは、有収率が上がってるからということで御説明がありましたよね。今度は、汚水処理量が下がってるから、流域下水の負担金が下がってますよってという説明も受けました。だから、何で下水道使用料の収入が上がって負担金のほうが下がってるから、さっきの経費回収率は、こんなに上がってると、そういうことなんですかねってということなんですけど。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 青山課長。

○下水道課長（青山康徳君） そうですね、経費回収率、汚水処理費用が昨年度と比べて減少してるってところも申しあげましたけれども、おっしゃるとおりで流域下水道の負担金が前年度と比べると370万円ほど減っておりますので、その分も経費回収率の向上にはつながっております。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 あと、その不明水対策で、今回どういう、この6年度でどういうことをやってきたかということをお尋ねしたいんですけども。有収率が先ほど上がったということで、251ページで1.1%、不明水の対策が1.1%進んだということですけど、その中でも農排のほうはかなり不明水があったと思うんですけど、農排の地区に関して不明水対策は、どのぐらい実施できたのか。この工事内容、250ページで幾つかあるんですけど、あまりこの中だと調整区域のところは、このマンホールポンプぐらいですかね、しか見られないのかな、あとは柿ノ木か、ぐらいですけども、農排地区の不明水対策がどれぐらいやったのかということ、幾らかけてやったのか聞きたいです。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 青山課長。

○下水道課長（青山康徳君） 令和6年の農排地区に不明水対策の工事は実施しておりません。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

手挙げてませんでした。

（後で聞くの声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 あとは、261ページの企業債のところですけども、これは、ちょっと

一般質問でも聞きましたけども、過去、その下水道管を敷いたときに減耗分を差し引かずに企業団に補償していたということで、かなり高額な補償費を企業団に払っていたということですけども、これ、過去の本会議の答弁を見ると、平成5年から平成17年の下水道の工事に関して、補償金を減耗分を差し引かずに多く企業団に払っていたということになる。この企業債の明細を見ますと、この平成5年から17年のものって、結構まだ今も残っているんですけども、これ、今年度、令和6年度で、その減耗分を差し引かずに補償していた分というのは、どれぐらい償還であるのか分かりますか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 青山課長。

○下水道課長（青山康徳君） そのような数字は持ち合わせておりません。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 質問でもしましたけど、それがどれぐらいあるのか、どれがそうなのかっていうのは、確認をされてるんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 青山課長。

○下水道課長（青山康徳君） そのような確認はしておりません。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 企業団のほうに確認したっていうふうに本会議で部長がおっしゃってたんですけど、どれを確認したんですか。それ、ちゃんと分かって確認したんですよね。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） まず、聞いている意味、分かりますか。大丈夫ですか。

令和6年度で償却分がいいんですか、終わり分の、その債権を。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 いや、平成5年から17年分の起債の部分全部です。それが、多めに減耗分を差し引かずに多く補償費を払ったところになりますので、それを企業団のほうに確認をしたっていうことだったんですけども、それ、どれを確認したのかっていうのは分かってるんですか。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 令和6年に係る部分で、その多めに払ってる部分……。

○林 ゆきひろ委員 そうそう。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ないですね。

じゃ、次。はい。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 で、かかっている部分で聞いてるんです。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ないんですよね。

答弁願います。

星子部長。

○経済建設部長（星子恭士君） 減耗分について企業団に確認ということは行っておりません。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） そこで、何か部長が、それ、お答えになって確認したってということが言われてたんで、どうなってるんですかという質問らしいです。

部長。

○経済建設部長（星子恭士君） 減耗分の確認、その費用の確認ではなくて、その他の市町村との減耗分をどうするかということの協議を行ったという回答はいたしました。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 林委員。

○林 ゆきひろ委員 私が聞いたのは、そういう、今は、こういった払い過ぎている分をどういうふうにするかっていうことを、これ、この間、一般質問でも言いましたけど、これ、気づいて5年以内だったら請求できるんですけども、そういうことを確認したのかっていうことを聞いてるんですけど。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 星子部長。

○経済建設部長（星子恭士君） そういった確認はしておりません。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） ほかにございますか。

（進行の声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） これにて認定議案第8号の質疑を終わります。

以上で各認定議案の質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

討論は一括して行っていただきますが、本会議でも当然討論ができ、重複することにもなりますので、できれば簡潔にお願いいたします。

なお、認定議案第8号は、利益処分についてと決算認定についてのそれぞれの討論をお願いいたします。

また、各会派で取りまとめも必要と思いますので、今より5分休憩で……。

(5分無理の声あり)

○決算特別委員長(中堀りゆういち議員) 10分でいい。じゃ、10分の休憩といたします。

午後6時38分休憩

午後6時48分再開

○決算特別委員長(中堀りゆういち議員) 休憩を解き、休憩前に引き続き会議を進めます。

それでは、今までのこの討論のある方は挙手を願います。

青木さん、青木委員。大変失礼しました。

○青木けんじ委員 認定議案第1号、豊明市一般会計歳入歳出決算認定、2号から7号までの特別会計の歳入歳出決算認定及び第8号の下水道事業会計の利益処分及び決算認定について、賛成の立場で討論させていただきます。

詳しい討論内容につきましては、議場にて会派のいずれかの人がさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

○決算特別委員長(中堀りゆういち議員) それでは、指名のほうで、皆様、今から、じゃ、お聞きしていきたいと思えますんで。

まず、市民派の会さん、どなたが。

浅井委員。

○浅井たかお委員 まず、賛否のほうを先に言っていいでしょうか。

○決算特別委員長(中堀りゆういち議員) お願いします。

○浅井たかお委員 賛成の部分は、3号と7号で、反対は、1、2、4、5、6、8が反対です。

それで、討論……。

○決算特別委員長(中堀りゆういち議員) 討論は。

○浅井たかお委員 1号について、一般会計の件について、市民ファーストじゃない業者ファーストと感じているし、効果検証をしていないということが感じられて、当局側の準備不足もあって反対で、2号と、それから、5号と8号……。

○決算特別委員長(中堀りゆういち議員) 8号がですね……。

○浅井たかお委員 8号は違いますね。すみません。

○決算特別委員長(中堀りゆういち議員) 利益と決算ございますが、これ、2つともでもよろしいですか。

○浅井たかお委員 ちょっと待ってくださいね。先に、国保と介護のほうと後期高齢のことを伝えます。

国保と後期高齢は、生活に困っている人に配慮なく、国の方針で、それに従うばかりで引き上げて、介護は、基金をため込むだけで介護度を下げる、成果が出ていないという、それから、あと、墓園のほうは、民間活用をしているが成果が出ていないということ、それから、下水の8号ですね、8号は、下水は、今後、値上げを考えていて、いますが、その不明水の対策と減耗分の請求ができたのにしてなくて下水道料金に跳ね返っているということで、これが、利益処分と決算の認定について、両方とも反対です。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） よろしいですね。

○浅井たかお委員 はい。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） では、次、公明党さん、お願いいたします。

○一色美智子委員 私たち公明党は、認定議案第1号から認定議案第8号について、全て賛成といたします。

詳しくは、本会議場で鈴木委員が討論を行います。もう示しといたでね。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） すみません、一色委員、今、怒られました、副委員長に。

○一色美智子委員 そうでしょう。

（8号もあれですよねの声あり）

（でも全だがねの声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） では、よろしいですね。

では、次、未来クラブさん。

（未来クラブを代表しまして。よろしいですかの声あり）

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 武谷委員。

○武谷としお委員 未来クラブを代表いたしまして、認定議案第1号の一般会計、歳入歳出決算認定及び認定議案第2号から7号、特別会計歳入歳出決算認定において、賛成でございます。

認定議案第8号の豊明市下水道事業の利益処分及び決算についても、賛成いたします。

詳しくは、本会議場にて討論いたします。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 次、共産党さん、郷右近委員。

○郷右近 修委員 認定議案1号、令和6年度一般会計決算について、賛成、それから、

令和……。認定議案 3 号、4 号、7 号についての決算について、賛成、令和……。違う、認定議案 8 号の下水道事業会計の利益処分及び決算認定について、両方とも賛成、その他の 2 号の国民健康保険、そして、5 号の介護保険、6 号の後期高齢者医療特別会計の決算については、反対の立場です。

一般会計について、全部ほかもそうなんですけど、審査の中でも言いましたけれども、その物価や人件費が上がり続ける中で市の人口やその規模としては少しずつ小さくなっていくというその要素の変動がばらばらですから、いろいろ考えるのは大変かなと思ったんですけど、そのような考えになりました。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 討論は。

○郷右近 修委員 本会議で詳細に行います。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 分かりました。

次、たんぽぽさん、ふじえ委員。

○ふじえ真理子委員 認定議案、ごめんなさいね、認定議案 1 号、2 号、4 号、6 号、8 号に反対、そのほかの 3 号、5、7 が、認定賛成の立場です。

詳しい討論は本会議場でするんですが、一般会計で幾つかあるんですが、温暖化対策のところの本腰があんまり感じられなかったことや、また、公園の工事関係とかいろいろありますが、詳しくは本会議場で討論します。

8 号は、利益処分も決算のほうともに、反対といたします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 反対ですね。

次は、清澄さん、清水委員。

○清水義昭委員 本委員会に所管付託されました案件について、全て賛成といたします。

詳しくは、多分、本会議で討論すると思います。

以上です。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） 次は、ひまわりさん、堀内委員。

○堀内ちほ委員 簡潔に言わせていただきます。認定議案第 1 号から認定議案第 8 号まで、賛成とさせていただきます。

詳しくは、本会議場で討論いたします。

○決算特別委員長（中堀りゆういち議員） それでは、これにて討論……。これにて討論を終結し、採決に入ります。

採決については認定議案の番号順に行います。

まず、認定議案 1 号、初めに、認定議案第 1 号について採決を行います。

認定議案第 1 号は認定すべきものと決することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○決算特別委員長(中堀りゆういち議員) 賛成多数です。よって、認定議案第1号は賛成多数により認定すべきものと決しました。

続きまして、認定議案第2号について採決を行います。

認定議案第2号は認定すべきものと決することに御異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

(発言する者あり)

○決算特別委員長(中堀りゆういち議員) ごめん、間違えました。

(反対の討論がの声あり)

○決算特別委員長(中堀りゆういち議員) 大変失礼いたしました。2号について、今のは間違いですんで、訂正いたします。

もう一度聞きます。認定議案第2号について採決を行います。

認定議案第2号は認定すべきものと決することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○決算特別委員長(中堀りゆういち議員) 賛成多数、賛成多数でございます。

(発言する者あり)

○決算特別委員長(中堀りゆういち議員) いや、駄目なんですよ、どっちもは。

それでは、賛成多数により認定すべきものと決しました。

続いて、認定議案第3号について採決を行います。

認定議案第3号は認定するべきものと決することに御異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

○決算特別委員長(中堀りゆういち議員) 御異議なしと認めます。よって、認定議案3号は全会一致により認定すべきものと決しました。

続きまして、認定議案第4号について採決を行います。

認定議案第4号は認定すべきものと決することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○決算特別委員長(中堀りゆういち議員) 賛成多数であります。よって、認定議案第4号は賛成多数により認定すべきものと決しました。

続きまして、認定議案第5号について採決を行います。

認定議案第5号は認定するべきものと決することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○決算特別委員長(中堀りゆういち議員) 賛成多数でございます。よって、認定議案第

5号は賛成多数により認定すべきものと決しました。

続きまして、認定議案第6号について採決を行います。

認定議案第6号は認定すべきものと決することに賛成の方の挙手を願います。

(賛成者挙手)

○決算特別委員長(中堀りゆういち議員) 賛成多数でございます。認定議案第6号は賛成多数により認定すべきものと決しました。

続きまして、認定議案第7号について採決を行います。

認定議案第7号は認定すべきものと決することに御異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

○決算特別委員長(中堀りゆういち議員) 異議なしと認めます。よって、認定議案第7号は全会一致により認定すべきものと決しました。

初めに、認定議案8号でございますが、まず、利益処分についてでございます。

この認定議案、利益処分について原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○決算特別委員長(中堀りゆういち議員) 賛成多数であります。よって、認定議案第8号のうち、利益処分について、賛成多数により可決すべきものと決しました。

続いて、認定議案第8号について、決算認定について、認定すべきものと決することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○決算特別委員長(中堀りゆういち議員) 賛成多数であります。よって、認定議案第8号のうち、決算認定について、賛成多数により認定すべきものと決しました。

以上で、本委員会に付託されました認定議案の審査は全て終了いたしました。

お諮りいたします。委員会報告書については私に一任いただけますか。

(異議なしの声あり)

○決算特別委員長(中堀りゆういち議員) ありがとうございます。委員会報告書については例に従い提出をさせていただきます。

2日間にわたり長時間御苦労さまでした。これにて決算特別委員会を閉会いたします。

午後7時閉会

豊明市議会委員会条例第29条の規定によりここに署名する。

決算特別委員会
委員長